

令和2年度  
秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査

調査報告書

令和3年3月19日

秋田市 観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

# 目次

1 アンケート調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 実施方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回答状況	1
(6) 報告書の見方	1
2 調査結果の概要	2
(1) あなたご自身について	2
(2) 健康について	2
(3) 運動やスポーツについて	2
(4) 秋田市にあるスポーツ施設について	3
(5) 秋田市等が主催するスポーツ・レクリエーション行事について	3
(6) スポーツクラブや同好会などについて	3
(7) スポーツボランティアについて	4
(8) トップスポーツクラブについて	4
(9) 障がい者スポーツについて	4
(10) スポーツ推進委員について	4
(11) 今後の本市のスポーツ振興策について	5
3 調査結果	6
(1) 回答者の属性	6
(2) 健康について	9
(3) 運動やスポーツについて	19
(4) 秋田市にあるスポーツ施設について	58
(5) 秋田市等が主催するスポーツ・レクリエーション行事について	65
(6) スポーツクラブや同好会などについて	73
(7) スポーツボランティアについて	78
(8) トップスポーツクラブについて	83
(9) 障がい者スポーツについて	89
(10) スポーツ推進委員について	94
(11) 今後の本市のスポーツ振興策について	99
4 これまでの取組と課題	113
(1) スポーツを『みずから』楽しむことができているか	113
(2) スポーツを『みて』楽しむことができているか	114
(3) スポーツを『みんなで』楽しむことができているか	115
資料	117
自由記述意見	119
秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査票	120

# 1 アンケート調査の概要

## (1) 調査の目的

本アンケート調査は、令和3年度に策定する「(仮称)第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン」の基礎資料として、「第3次秋田市スポーツ振興マスタープラン」の施策の状況および実施後の市民の意識等を把握するために実施した。

## (2) 調査対象

令和2年9月1日時点で、住民基本台帳から無作為抽出された20歳以上の男女3,000人

## (3) 実施方法

郵送およびインターネットによる無記名式アンケート

## (4) 調査期間

令和2年10月1日から令和2年10月19日

## (5) 回答状況

回答総数	1,304	
無効回答	1	
有効回答	1,303	(回答率 43.4%)

## (6) 報告書の見方

- ・ 調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数または属性分類別の回答者数を示している。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。単回答の設問の場合、回答割合の合計が100.0%になるよう、調整を行っている。調整方法は、回答比率が一番大きな選択肢 (回答比率が一番大きな選択肢が複数ある場合は、選択肢番号の若い方) で調整するものとする。
- ・ 複数回答 (複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式) の設問の場合、各設問の調査数を基数として回答比率を算出するため、全ての選択肢の回答比率の合計は100.0%を超える。
- ・ 調査票における設問や選択肢の語句等を短縮・簡略化して標記している場合がある。
- ・ 前回調査 (平成27年度実施)、前々回調査 (同20年度実施) と同様の設問があった場合には、全体回答について前回調査・前々回調査との比較を行っている。
- ・ 前回調査・前々回調査と同種の設問があっても、設問文章や選択肢の内容・数、選択肢の選択個数 (複数回答設問の場合) 等が異なる場合には、原則として比較は行わない。
- ・ 今回調査で新設された質問には質問番号の前に「**新**」印を、また、新設された選択肢 (変更を除く) にはグラフ中の選択肢に「○」印を、それぞれ表記している。

## 2 調査結果の概要

### (1) あなたご自身について

- ・ お住まいの地域は、北部地域と中央地域がそれぞれ全体の4分の1を占め、東部地域、西部地域、南部地域はそれぞれ1割台となっている。河辺地域と雄和地域はともに1割未満の極めて低い割合となっている。
- ・ 年齢は、60～69歳と50～59歳がともに2割台となっており、その他の年齢はいずれも1割台となっている。
- ・ 性別は、女性が6割近くと、男性に比べて高い割合となっている。
- ・ 職業は、会社員が4割近くで最も割合が高くなっている。

### (2) 健康について

- ・ 自身が“健康である”（「健康である」+「まあまあ健康である」と答えた方は8割強おり、この割合は前回調査結果に比べて上昇している。
- ・ 心身の状況への不安度については、「体力のおとろえについて」が70.7ポイントで最も高く、次いで「運動不足」が64.6ポイントとなっている。最も不安度が低いのは「体重や体脂肪率の増加について」で、25.4ポイントとなっている。
- ・ 健康を保つために心掛けていることでは、「睡眠・休養を十分とる」の割合が5割台で最も高くなっている。
- ・ 休日における1日の余暇時間は「8時間以上」の割合が3割台、「5時間以上8時間未満」の割合が2割台で、これらを合わせた“5時間以上”の割合は6割となっている。

### (3) 運動やスポーツについて

- ・ 運動やスポーツをすることが“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と答えた人の割合は7割台と高いものの、この割合は前回調査から低下している。
- ・ 運動やスポーツを観ることが“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と答えた人の割合は8割台と高いものの、この割合は前回調査から低下している。
- ・ この1年間に何らかの運動やスポーツをやったかについて「はい」と答えた人の割合は6割近くとなり、この割合は前回調査から上昇している。
- ・ どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをやっているかについては、「運動不足の解消」が6割台、「健康や体力の保持」が5割台となり、この2つが特に高い割合となっている。
- ・ この1年間にやった運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」が4割台で突出して高い割合となり、これに「軽い体操（ラジオ体操など）」、「ランニング・ジョギング」、「器具を使ったトレーニング」がいずれも1割台で続いている。
- ・ 運動やスポーツをどの時間帯にやっているかについては、平日は「夜間」の割合が3割近くで最も高く、休日では「午前」の割合が3割台で最も高くなっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度について変化が

「あった」と答えた方は4割強となっている。

変化の内容を自由記述意見からみると、「施設を利用しなかった・利用できなかった」の割合が2割台で最も高くなっている。

- ・ この1年間運動やスポーツをやらなかった理由でもっとも多いのは「機会がないから」で、回答割合は4割台となっている。
- ・ この1年間運動やスポーツをやっていない人のうち5割強の方は、条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたいと答えている。
- ・ 今後やってみたい運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」が3割台で突出して高い割合となり、これに「器具を使ったトレーニング」が2割強が続いている。

#### (4) 秋田市にあるスポーツ施設について

- ・ 運動やスポーツをする際に施設や場所を“確保できる”（「いつも確保できる」+「だいたい確保できる」）と答えた人の割合は7割台と高く、この割合は前回調査に比べて上昇している。
- ・ 身近な場所に運動やスポーツを気軽に楽しめる施設はあるかについては、「わからない」の割合が4割台で最も高く、「十分にある」と“不足”（「不足している」+「やや不足している」）はそれぞれ3割近くとなっている。  
また、“不足”と回答した人が不足していると思うスポーツ施設については、「屋内多目的運動場」の割合が4割強で最も高くなっている。
- ・ 身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望むかについては、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」の割合が6割台で最も高く、次いで「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」が5割台で続いており、この2つの割合が特に高くなっている。

#### (5) 秋田市等が主催するスポーツ・レクリエーション行事について

- ・ この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことが「ある」と答えた人は1割以下で、この割合は前回調査に比べて低下している。
- ・ スポーツ・レクリエーション行事に参加した人が参加した行事の内容で最も多いのは「運動会」で4割近くとなっている。
- ・ 「ない」と答えた人の参加しなかった理由では「そのような行事を知らなかった」の回答割合が4割台で最も高くなっている。
- ・ 「ない」と答えた人が今後どのような行事に参加したいかについては、「健康づくり的行事」の回答割合が3割近くで最も高くなっている。

#### (6) スポーツクラブや同好会などについて

- ・ スポーツクラブや同好会、サークルに「加入している」と答えた人は1割程度。
- ・ 「加入している」と答えた人の加入しているクラブや同好会、サークルの形式では、

「同好者でつくるクラブや同好会」が3割強、「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が3割近くと、この2つが3割前後で高い割合となっている。

- ・ 「加入していない」と答えた人の加入していない理由では、「時間がない（忙しい）から」と「自分のペースでやりたいから」がともに4割近くで高い割合となっている。

#### (7) スポーツボランティアについて

- ・ 過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティアを行ったことが「ある」と答えた人は1割未満で、この割合は前回調査結果に比べて低下している。
- ・ 「ある」と答えた人の行ったボランティアの内容については、「スポーツの審判・役員」、「その他の大会・イベントの手伝い」、「スポーツの指導・コーチ」、「団体・クラブ運営の手伝い」の4つがいずれも3割台でほぼ同様の割合となっている。
- ・ 「ない」と答えた人のうち、機会があれば行きたいと「思う」人の割合は1割台で、その8割近い人が「大会・イベントの手伝い」を行きたいと答えている。

#### (8) トップスポーツクラブについて

- ・ この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことが「ある」と答えた人は1割台で、この割合は前回調査結果に比べて上昇している。
- ・ 「ある」と答えた人の観戦したトップスポーツについては、「秋田ノーザンハピネッツ」が5割台で最も割合が高く、「ブラウブリッツ秋田」は3割台、「秋田ノーザンブレッツ」は1割台となっている。
- ・ 「ない」と答えた人の観戦しなかった理由については、「仕事や家事、学業が忙しいから」が3割台で最も高い割合となっている。

#### (9) 障がい者スポーツについて

- ・ 障がい者スポーツにどのような競技・種目があるかを“知っている”（「だいたい知っている」＋「少し知っている」）と答えた人の割合は7割近く。
- ・ 「知らない」と答えた人の知らない理由では、「興味がないから」の割合が5割強で最も高くなっている。
- ・ 障がい者スポーツをより多くの人に知ってもらうために必要な取り組みとしては、「秋田市で大きな大会を開催する」と「体験型のイベントを開催する」の割合が4割台で高くなっている。

#### (10) スポーツ推進委員について

- ・ スポーツ推進委員を各地域に配置していることを「知っていた」人は1割強で、この割合は前回調査に比べて低下している。
- ・ 「知っていた」と答えた人がどこで知ったかについては、「秋田市が主催や共催するイベント」が4割台で最も割合が高くなっている。
- ・ スポーツ推進委員に地域でどんな活動をしてほしいかについては、「教室・大会・イベ

ントなどの催しについて」に関するものが4割近くで最も割合が高くなっている。

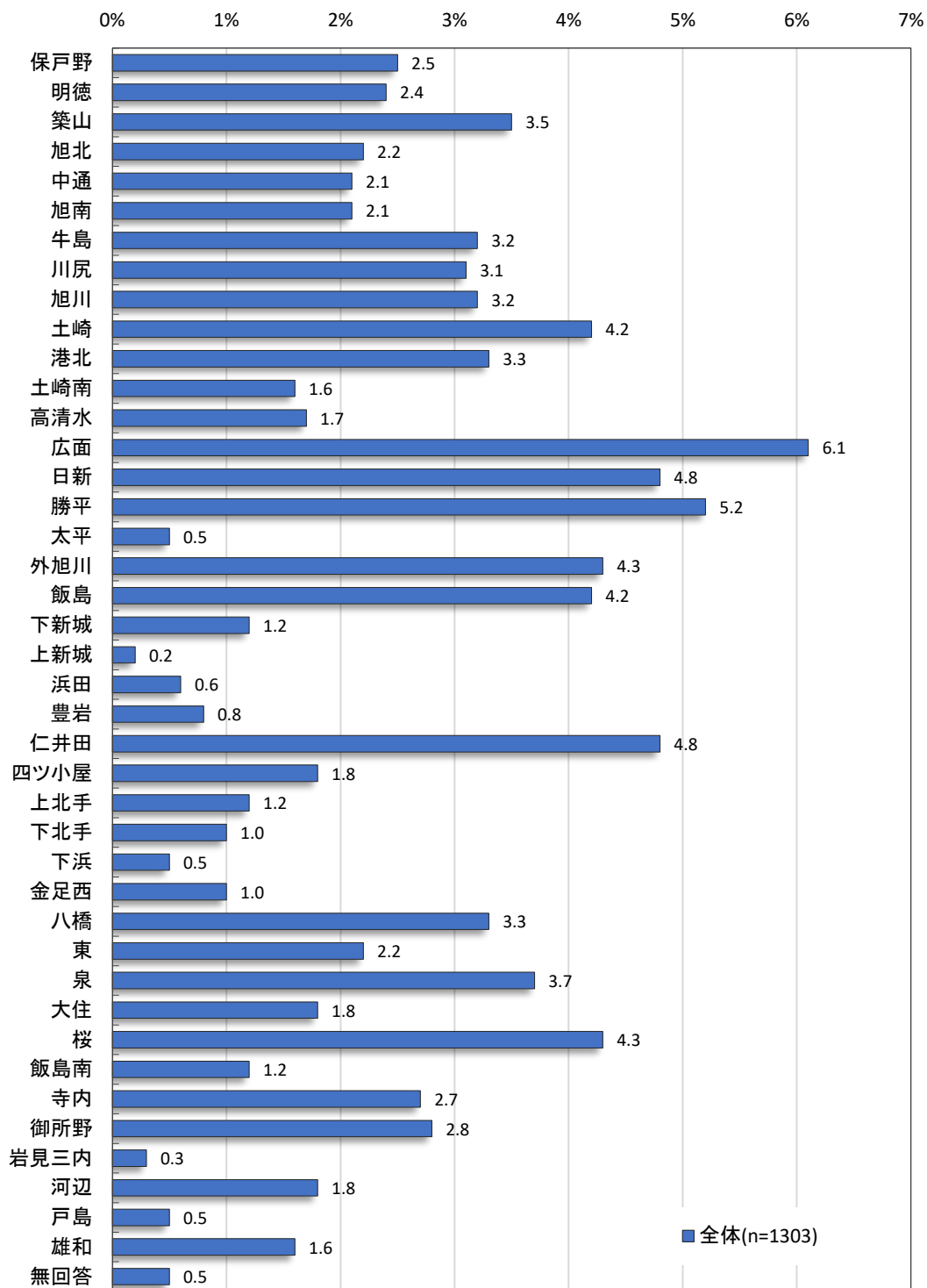
#### (11) 今後の本市のスポーツ振興策について

- ・ 今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の拡大や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思ふかについては、「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」が4割台で最も高い割合となっている。
- ・ 多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして具体的にどのようなイベントや大会などがあればについて自由記述意見を整理すると、「体験、教室」が2割台、「ウォーキング」、「無料」、「特典」、「マラソン、ジョギング」、「有名人、有名選手、プロ選手」がそれぞれ1割台となっており、多くの意見がこうした要素を複数個組み合わせた内容となっている。
- ・ 「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるために必要なことについては、「様々な運動ができる施設の整備」の割合が4割台で最も高くなっている。
- ・ これからのスポーツイベントや大会、教室などを開催するために必要なことについては、「消毒や検温、マスクの着用、参加者名簿の作成など参加者の管理を徹底していること」と「3密に配慮していること」がともに7割台と突出して高い割合となっている。
- ・ 秋田市におけるスポーツ振興に関する意見や要望については、「未就学児・小学生のスポーツについて」の意見が2割近くとなり最も件数が多いほか、「スポーツ施設について」と「高齢者のスポーツについて」も1割台となっている。

### 3 調査結果

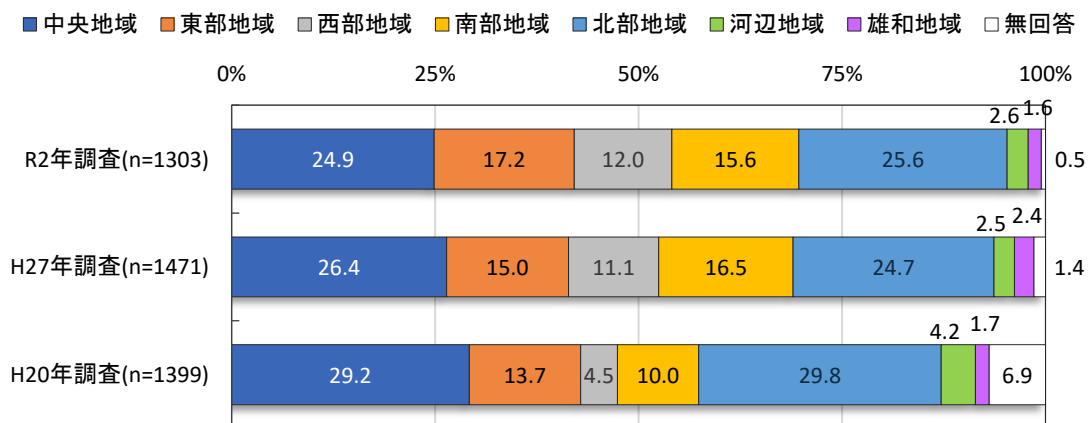
#### (1) 回答者の属性

##### ① お住まいの学区(小学校区)【問1】

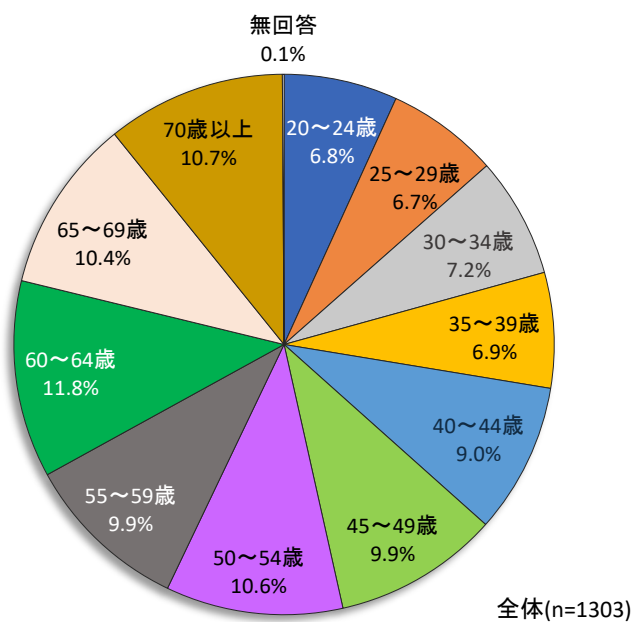




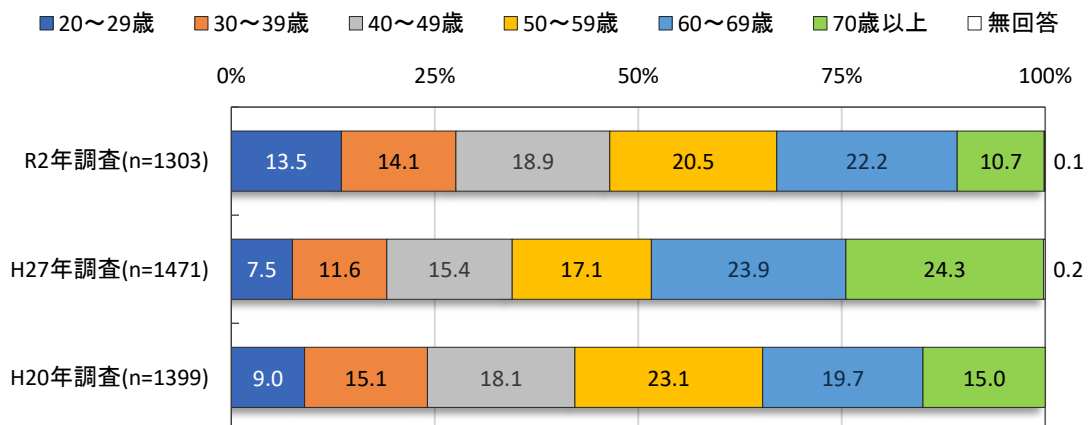
## ② お住まいの地域【①より分類】



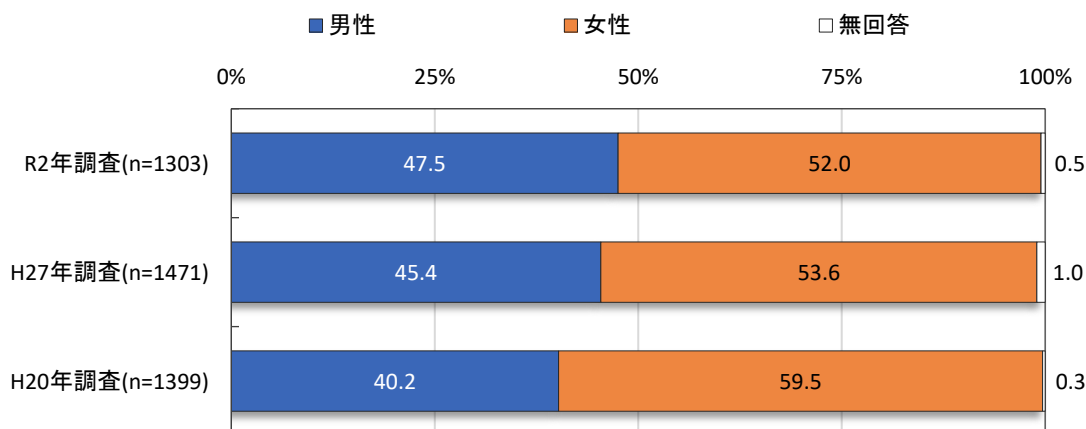
## ③ 年齢【問2】



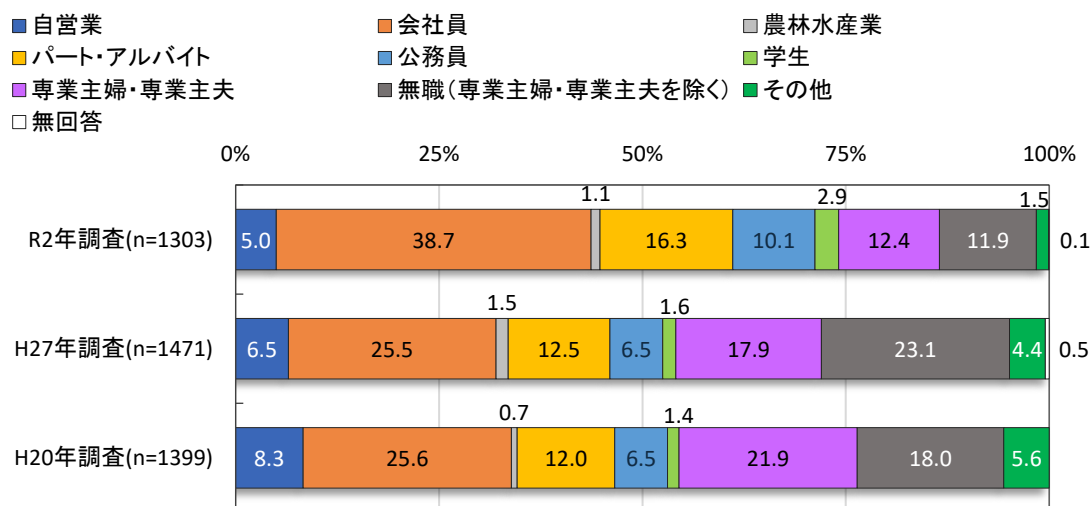
## ④ 年齢【③より分類】



## ⑤ 性別【問3】



## ⑥ 職業【問4】



----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

自営業：H20年調査では、「自営業（家族従事者も含む）」としていた。

会社員：H20年調査では、「会社員（店員・工員等を含む）」としていた。

専業主婦・専業主夫：H27およびH20年調査では、「専業主婦」としていた。

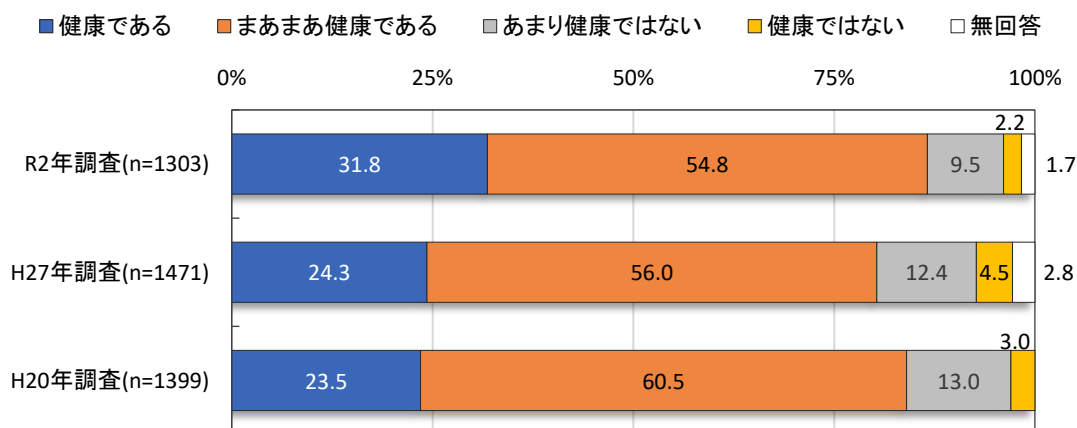
無職（専業主婦・専業主夫を除く）：H27およびH20年調査では、カッコ内の記載がなかった。

## (2) 健康について

問5 あなたは、ご自身の健康についてどのようにお考えですか？(当てはまる番号1つに○)

自身の健康については、「健康である」(31.8%)と「まあまあ健康である」(54.8%)を合わせた“健康である”の割合が86.6%と8割台を占めた。一方、「健康ではない」(2.2%)と「あまり健康ではない」(9.5%)を合わせた“健康ではない”の割合は11.7%と低い割合となった。

前回調査に比べて、“健康である”の割合が6.3ポイント上昇した一方、“健康ではない”の割合は5.2ポイント低下している。



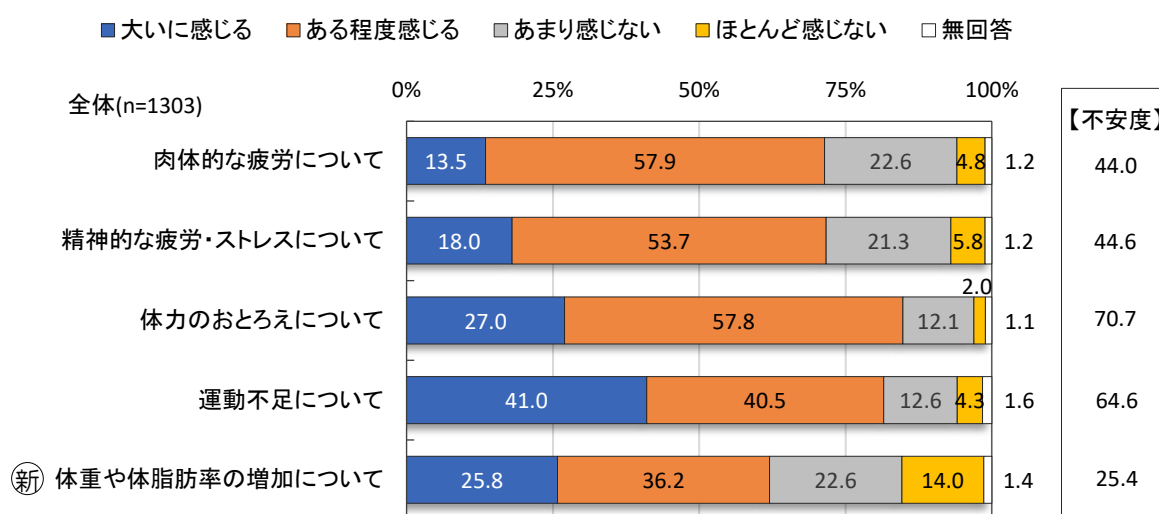
----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

まあまあ健康である：H20年調査では、「まずまず健康である」としていた。

問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

肉体的な疲労など5項目の実感については、「大いに感じる」と「ある程度感じる」を合わせた“感じる”（問6については以下も同じ）の割合は、「体力のおとろえについて」の割合が84.8%と8割台を占めて最も高く、次いで「運動不足について」が81.5%とほぼ同様の割合が続いている。以下については「精神的な疲労・ストレスについて」（71.7%）、「肉体的な疲労について」（71.4%）、「体重や体脂肪率の増加について」（62.0%）の順となり、いずれも6割以上と高い割合を占めている。

下記の方法で算出した《不安度》については、「体力のおとろえについて」が70.7ポイントと最も高く、一方、「体重や体脂肪率の増加について」では25.4ポイントと最も低くなっている。



※ 不安度の算出方法

不安度は、「大いに感じる」と「ある程度感じる」の割合の合計から、「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の割合の合計を引いて算出している。

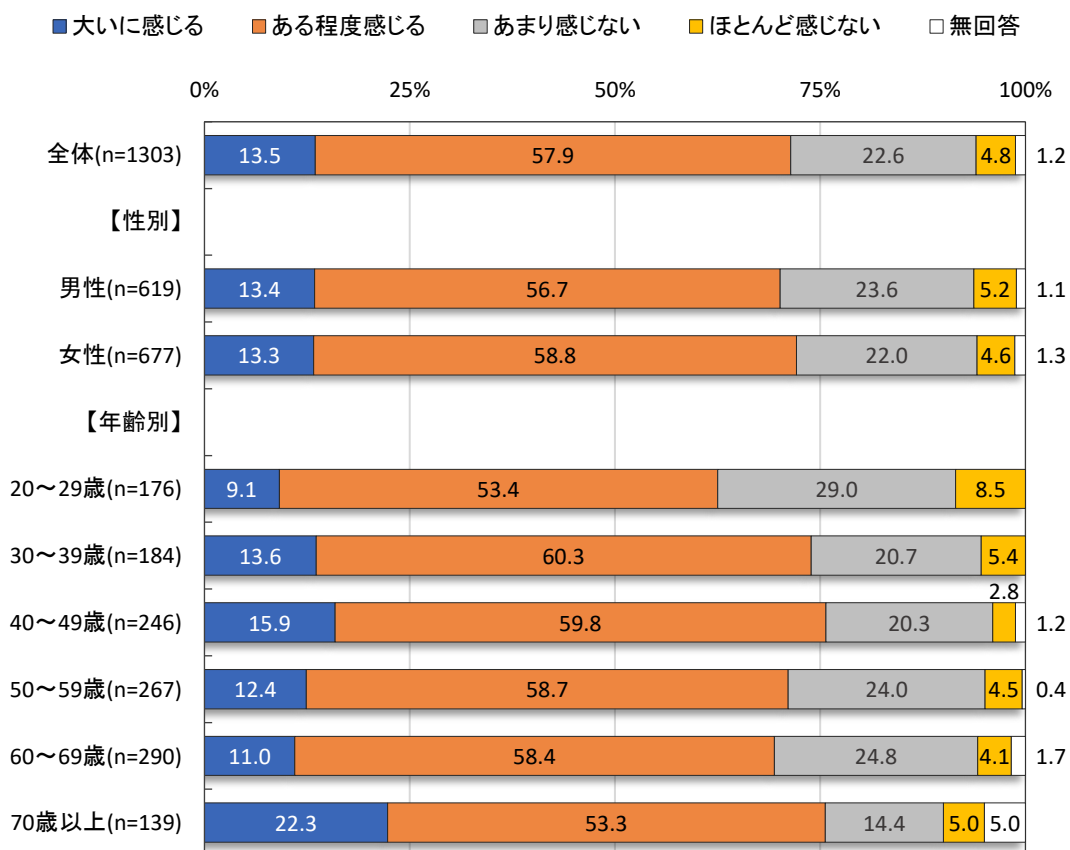
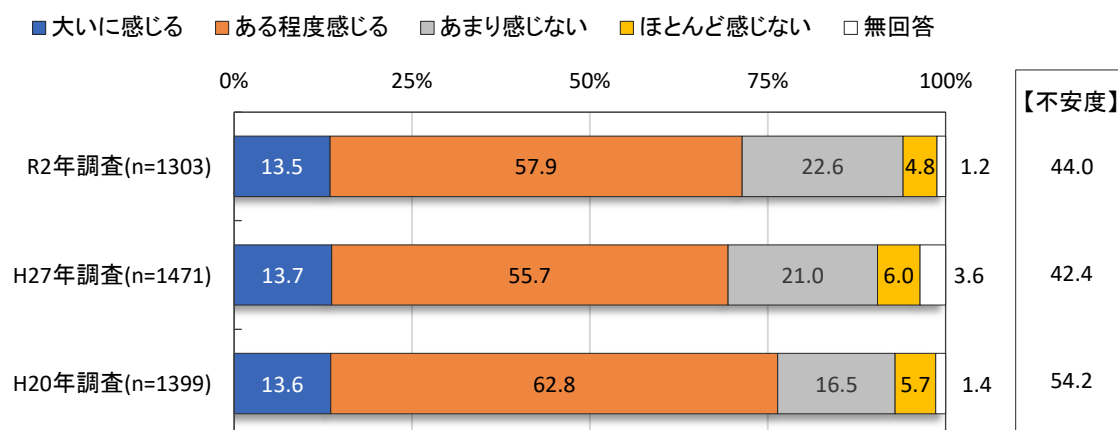
問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1)肉体的な疲労

肉体的な疲労を“感じる”の割合は71.4%で、この割合は前回調査（69.4%）に比べて2.0ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性70.1%、女性72.1%と、どちらも7割台と、ほぼ同様の割合となっている。

年齢別にみると、“感じる”の割合は40～49歳（75.7%）を始めとして、いずれの年代でも6割以上と高い割合となっている。



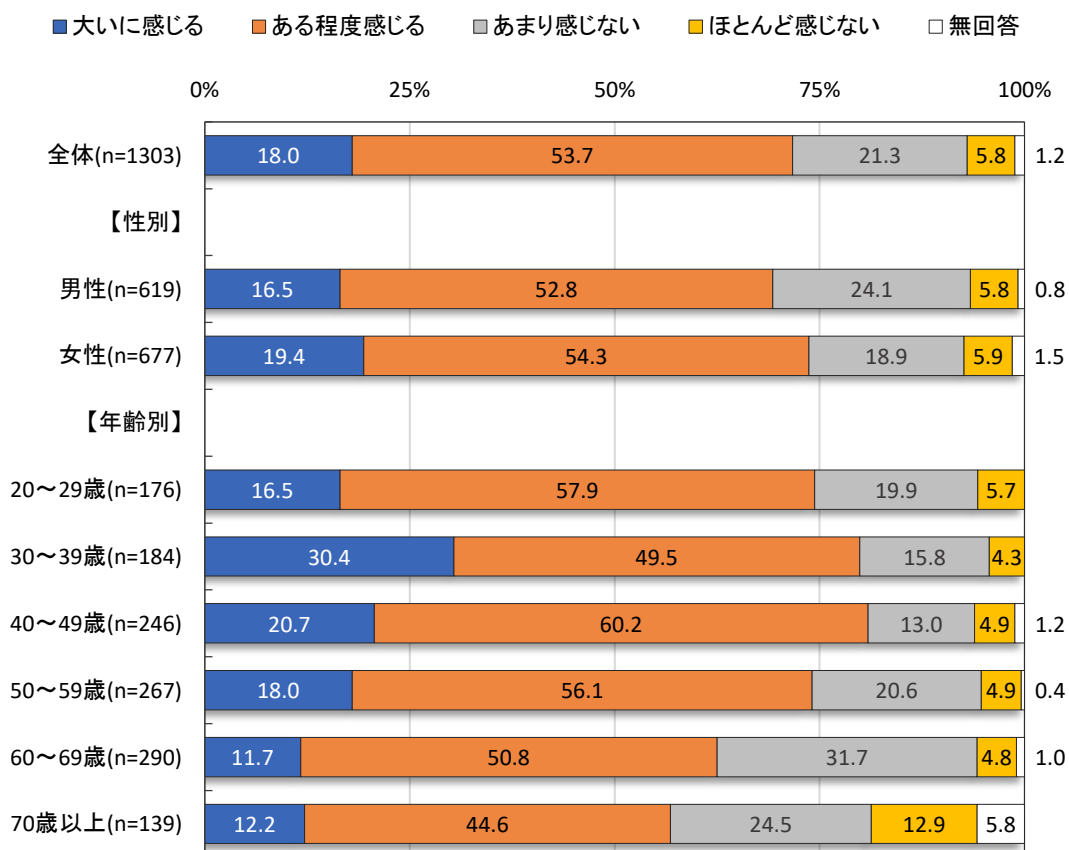
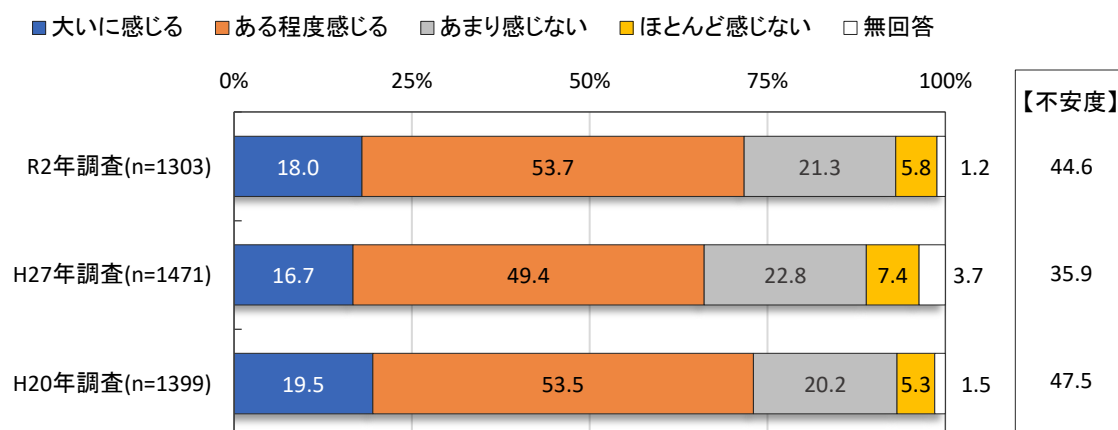
問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2)精神的な疲労・ストレス

精神的な疲労・ストレスを“感じる”の割合は71.7%で、この割合は前回調査(66.1%)に比べて5.6ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性で69.3%、女性では73.7%とともに高いものの、女性の方が幾分高くなっている。

年齢別にみると、“感じる”の割合は50～59歳までの各年代ではいずれも7割以上ながら、60～69歳は6割台、70歳以上では5割台と年代が上がるにつれて低下している。



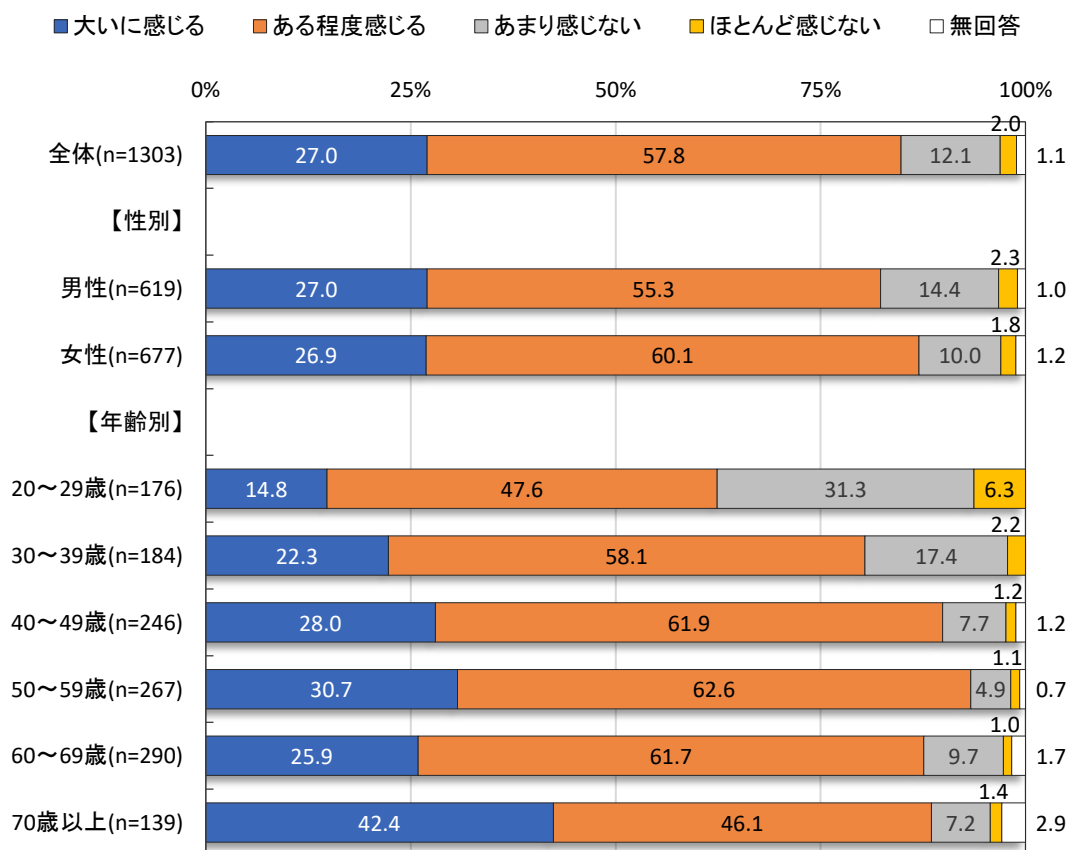
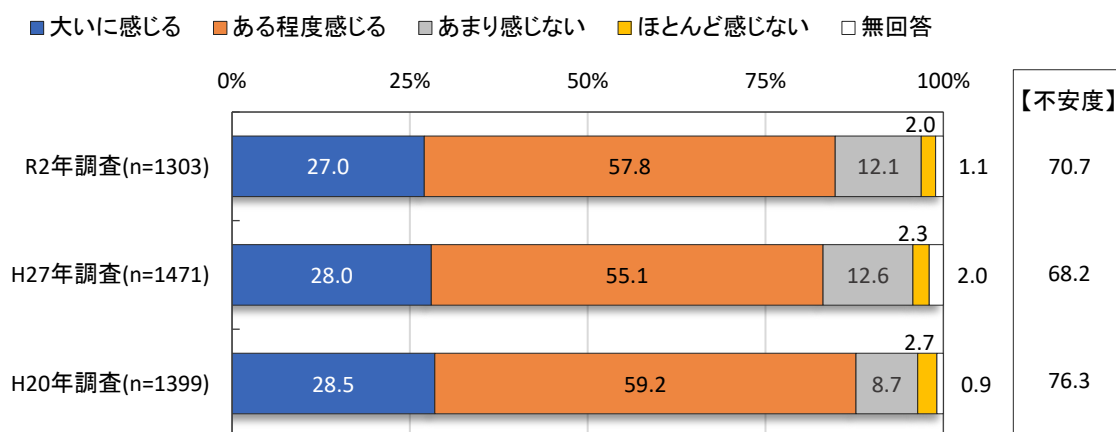
問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(3)体力のおとろえ

体力のおとろえを“感じる”の割合は84.8%で、この割合は前回調査（83.1%）に比べて1.7ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性82.3%、女性87.0%と、どちらも8割台とほぼ同様の割合となっている。

年齢別にみると、“感じる”の割合は50～59歳で9割台となるなど、30～39歳以降の各年代で8割以上と高い割合となっている。



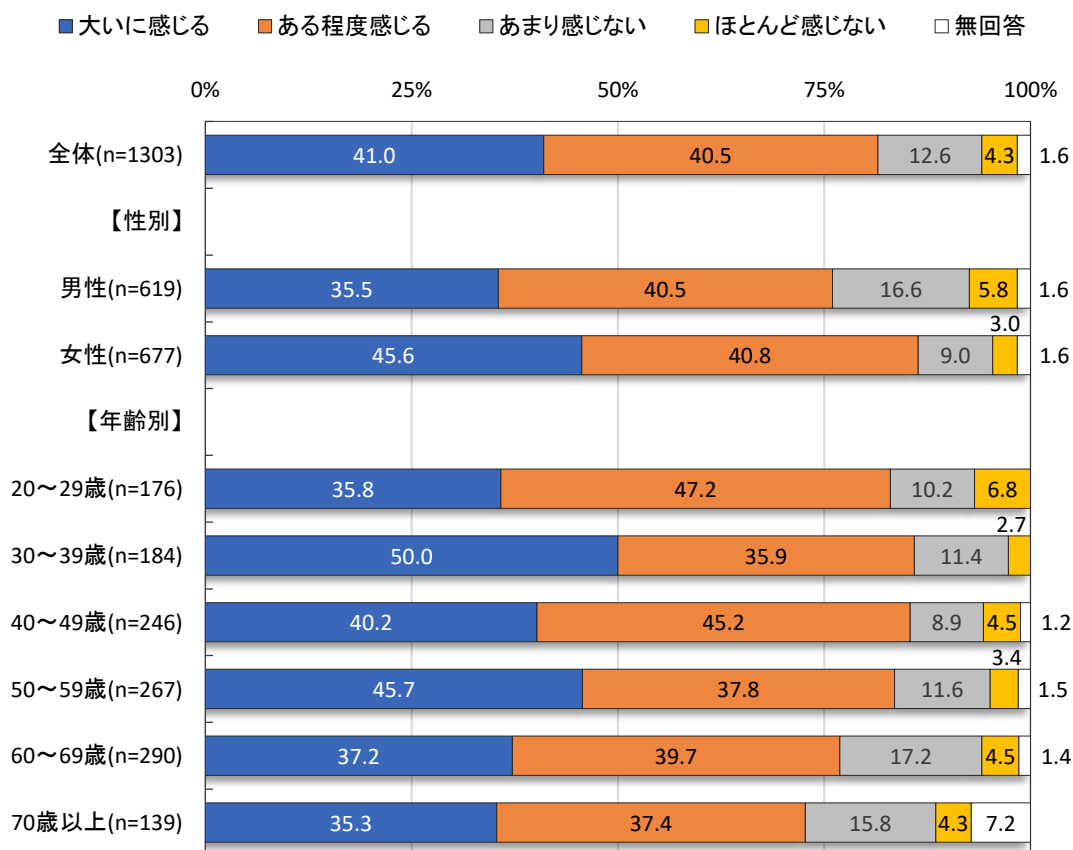
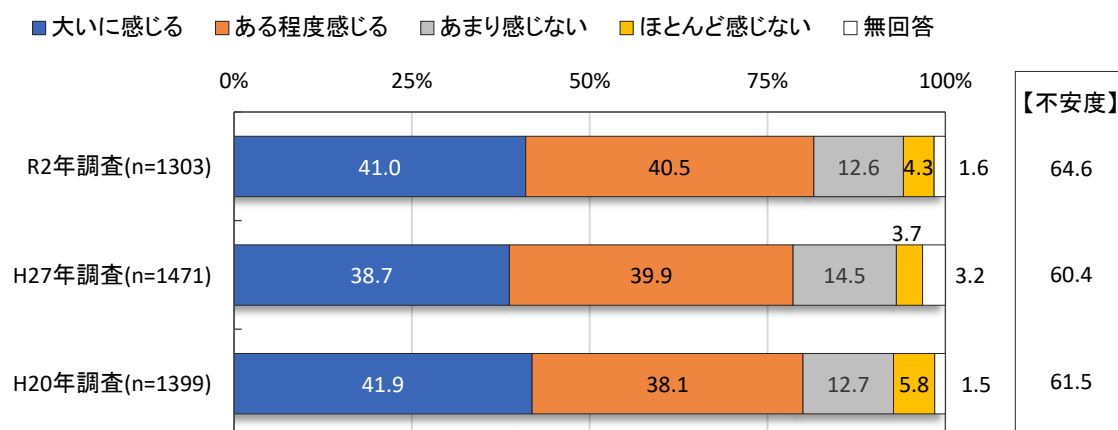
問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(4)運動不足

運動不足を“感じる”の割合は81.5%で、この割合は前回調査(78.6%)に比べて2.9ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は、男性で76.0%、女性では86.4%とともに高いものの、この割合は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、“感じる”の割合は50～59歳までの各年代ではいずれも8割以上ながら、60～69歳と70歳以上では7割台と、幾分低下している。





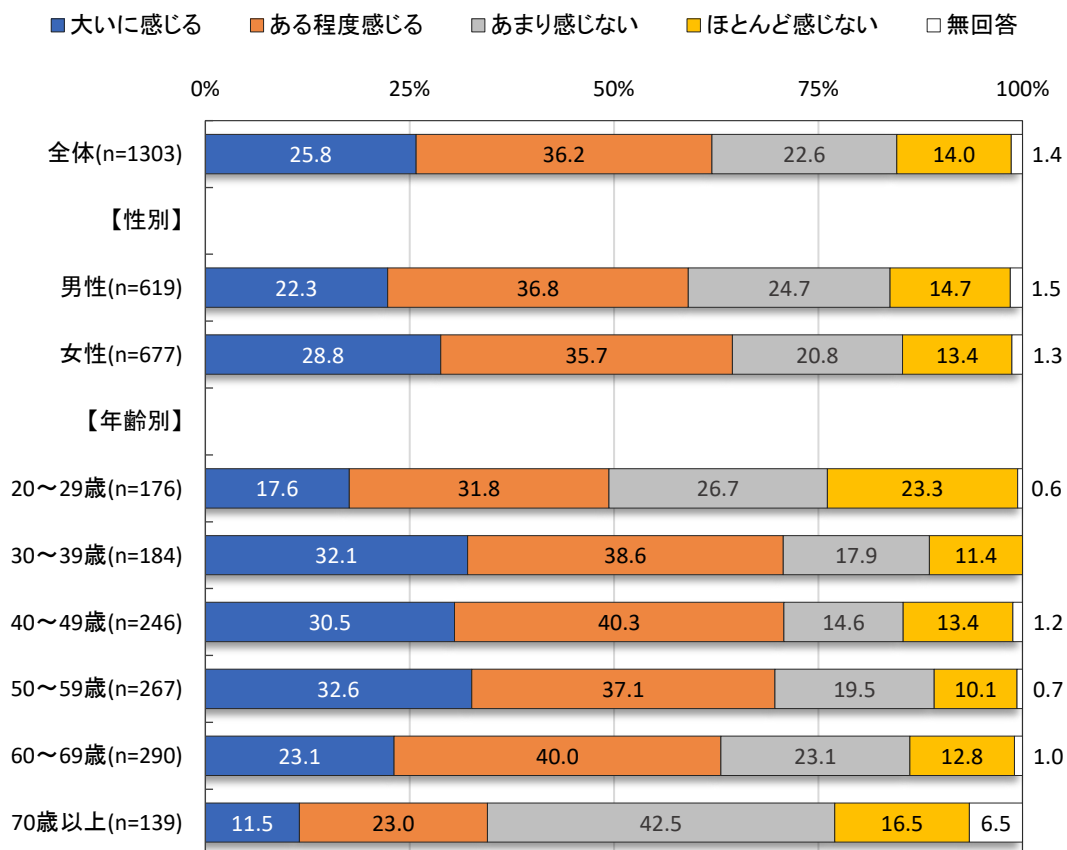
問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

⑤(5) 体重や体脂肪率の増加

体重や体脂肪率の増加を“感じる”の割合は62.0%と6割台を占めた。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性で59.1%、女性では64.5%とともに5割以上となっているものの、女性の方が幾分高くなっている。

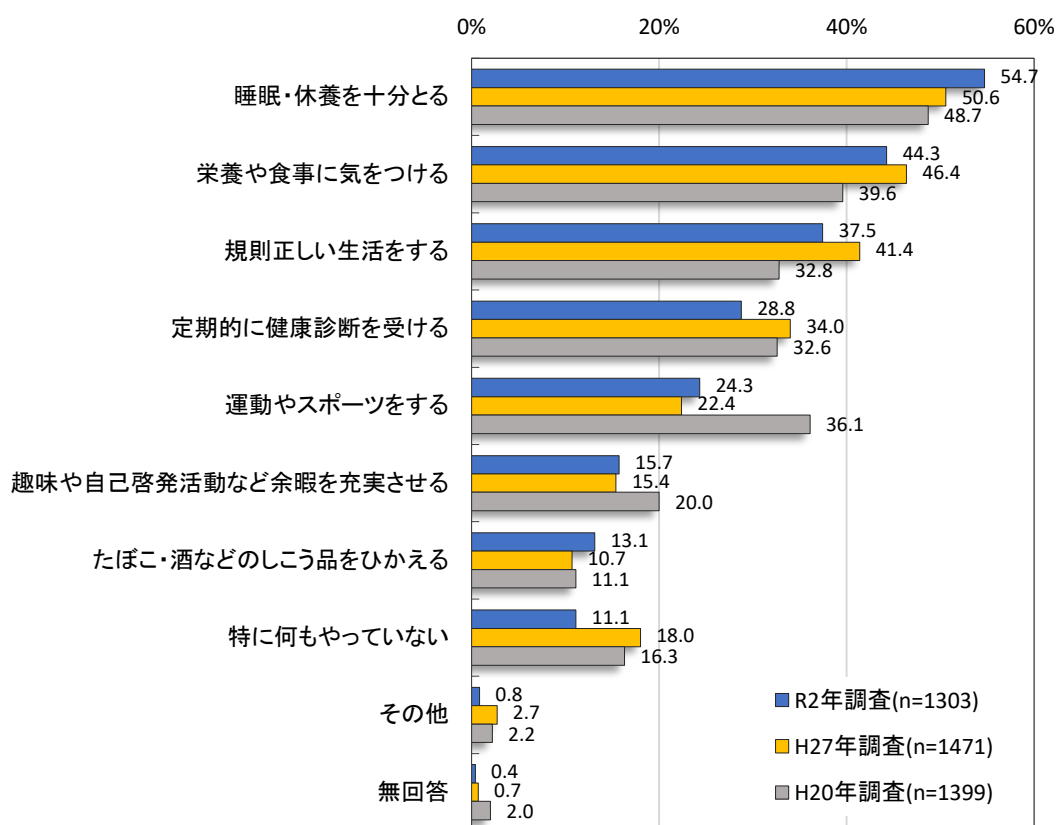
年齢別にみると、“感じる”の割合は30～39歳と40～49歳で7割台、50～59歳で7割近くなり、これらの年代では他の年代に比べて高くなっている。



問7 あなたは、健康を保つために心がけていることはありますか？(主なもの3つまでに○)

健康を保つために心がけていることについては、「睡眠・休養を十分とる」の割合が54.7%と5割以上で最も高く、次いで「栄養や食事に気をつける」(44.3%)が4割台で続き、以下は「規則正しい生活をする」(37.5%)、「定期的に健康診断を受ける」(28.8%)、「運動やスポーツをする」(24.3%)などの順となった。

前回調査に比べて、「睡眠・休養を十分とる」と「運動やスポーツをする」の割合が上昇した一方、「栄養や食事に気をつける」、「規則正しい生活をする」、「定期的に健康診断を受ける」の割合は低下している。



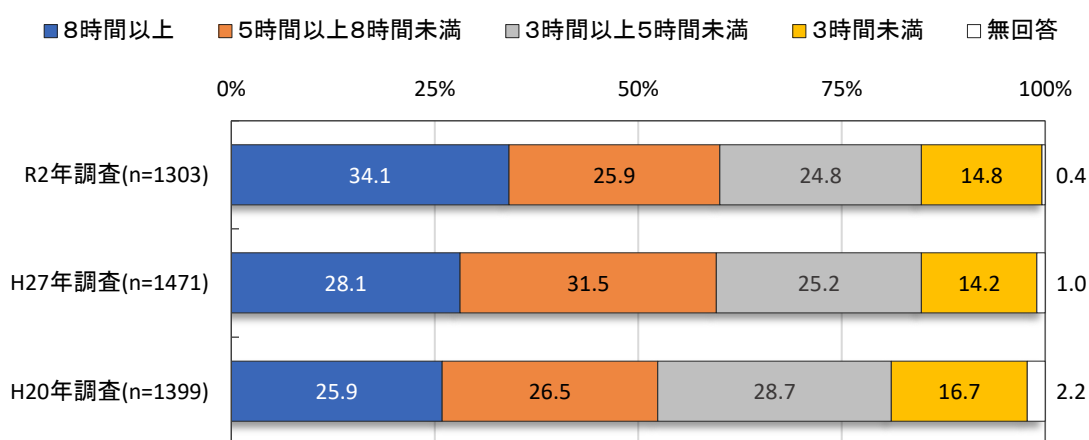
----- 過去調査と比較する上での注意点 -----  
 運動やスポーツをする：H20年調査では、「スポーツや運動（ウォーキングや体操など）をする」としていた。  
 -----

問8 あなたの休日における1日の余暇時間(自由に使える時間)は通常どのくらいありますか？  
(当てはまる番号1つに○)

休日における1日の余暇時間については、「8時間以上」の割合が34.1%で最も高く、次いで「5時間以上8時間未満」が25.9%で続き、以下は「3時間以上5時間未満」(24.8%)、「3時間未満」(14.8%)の順となっている。

男女別にみると、いずれも「8時間以上」(男性39.0%、女性29.9%)が最も高い割合ながら、この割合は男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、30～39歳では「3時間未満」(32.6%)、40～49歳では「3時間以上5時間未満」(30.4%)の割合が最も高く、その他の年代では「8時間以上」が3割以上を占め最も高い割合となった。



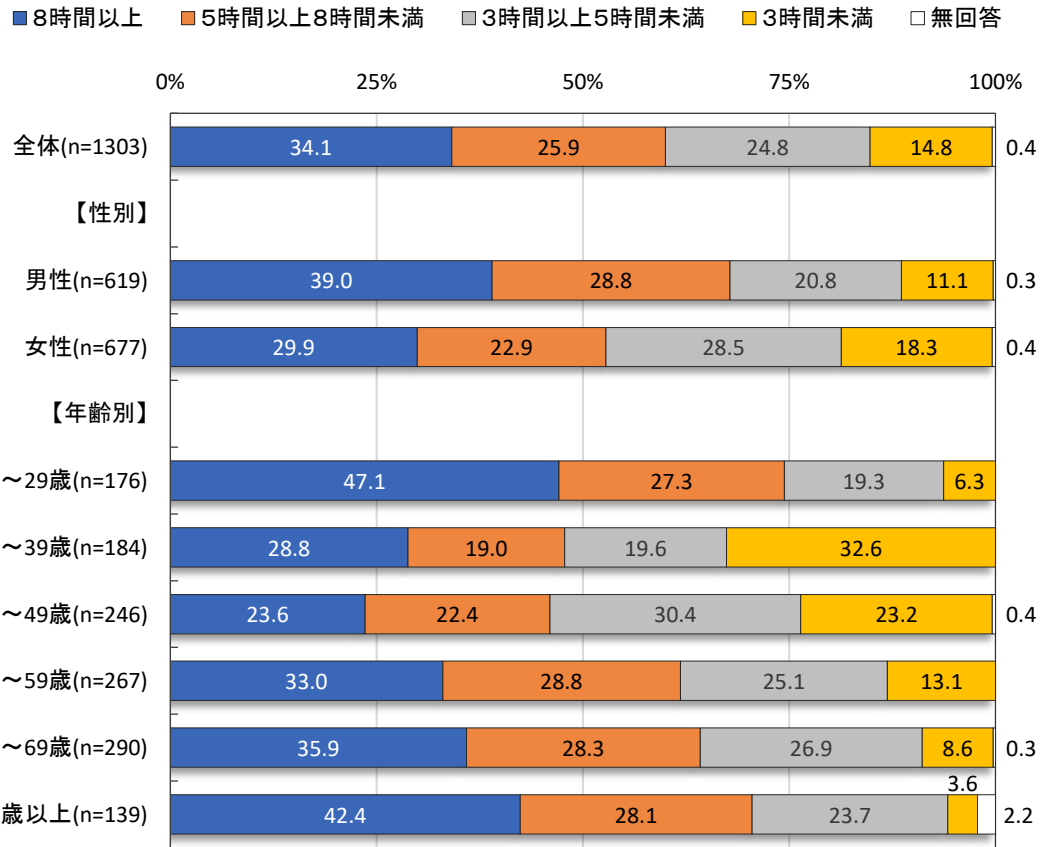
--- 過去調査と比較する上での注意点 ---

5時間以上8時間未満：H27およびH20年調査では、「5～8時間」としていた。

3時間以上5時間未満：H27およびH20年調査では、「3～5時間」としていた。

3時間未満：H27およびH20年調査では、「3時間以下」としていた。

⇒ グラフは次頁に続きます



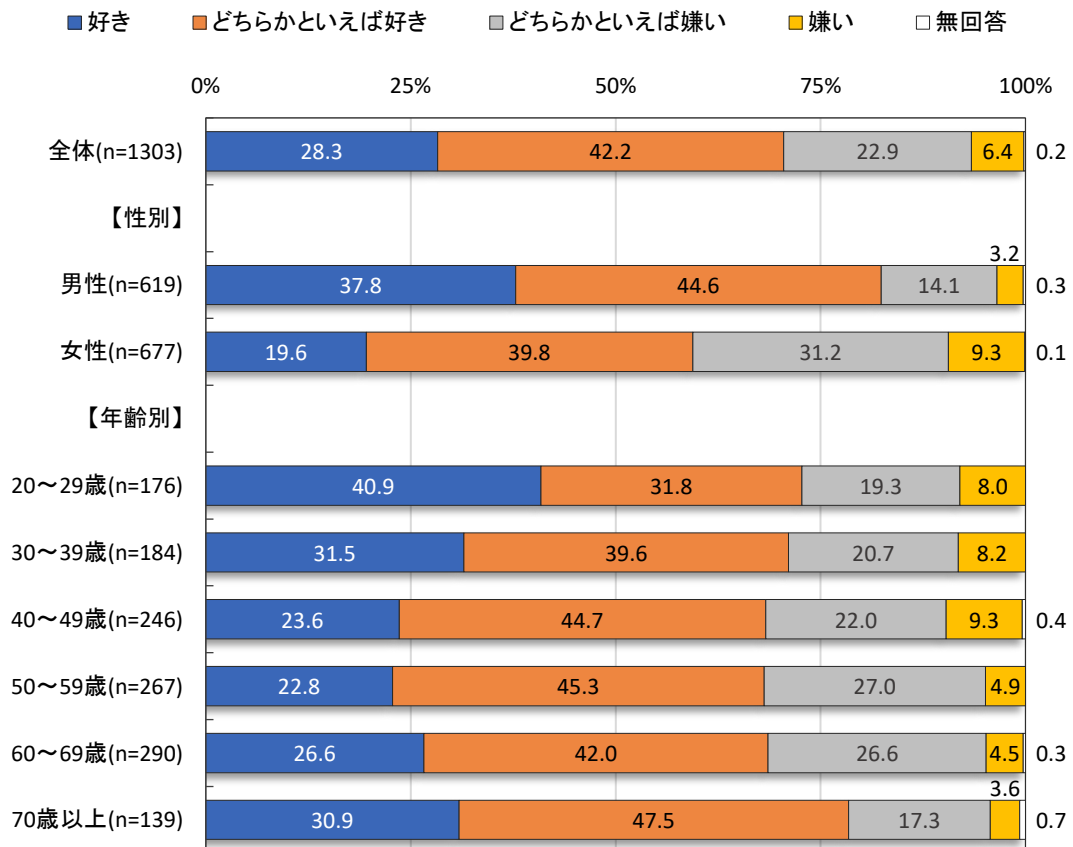
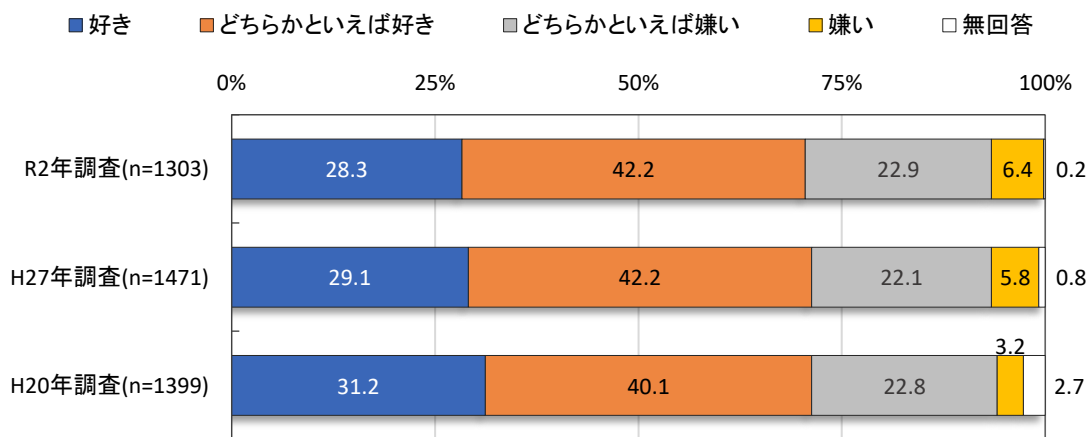
### (3) 運動やスポーツについて

問9 あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか？(当てはまる番号1つに○)

運動やスポーツをすることが好きかについては、「好き」(28.3%)と「どちらかといえば好き」(42.2%)を合わせた“好き”の割合は70.5%で、この割合は前回調査(71.3%)から0.8ポイント低下している。

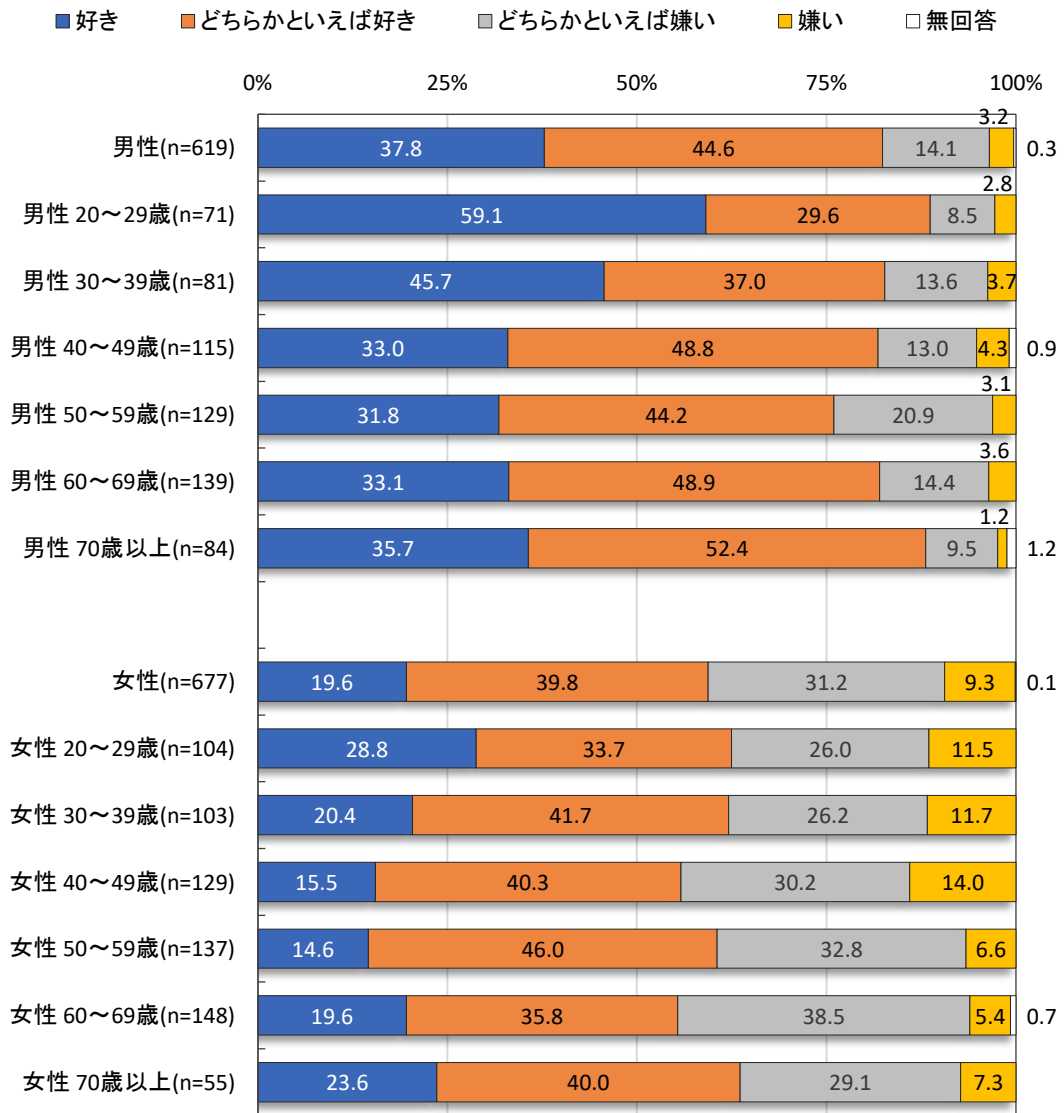
男女別にみると、“好き”の割合は男性で82.4%、女性では59.4%と、男性が女性を23.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、“好き”の割合はすべての年代で7割近くから7割台と高くなっている。



⇒ 参考として、性別年齢別の回答割合を次頁に掲載しています

《参考 性別年齢別の回答割合》

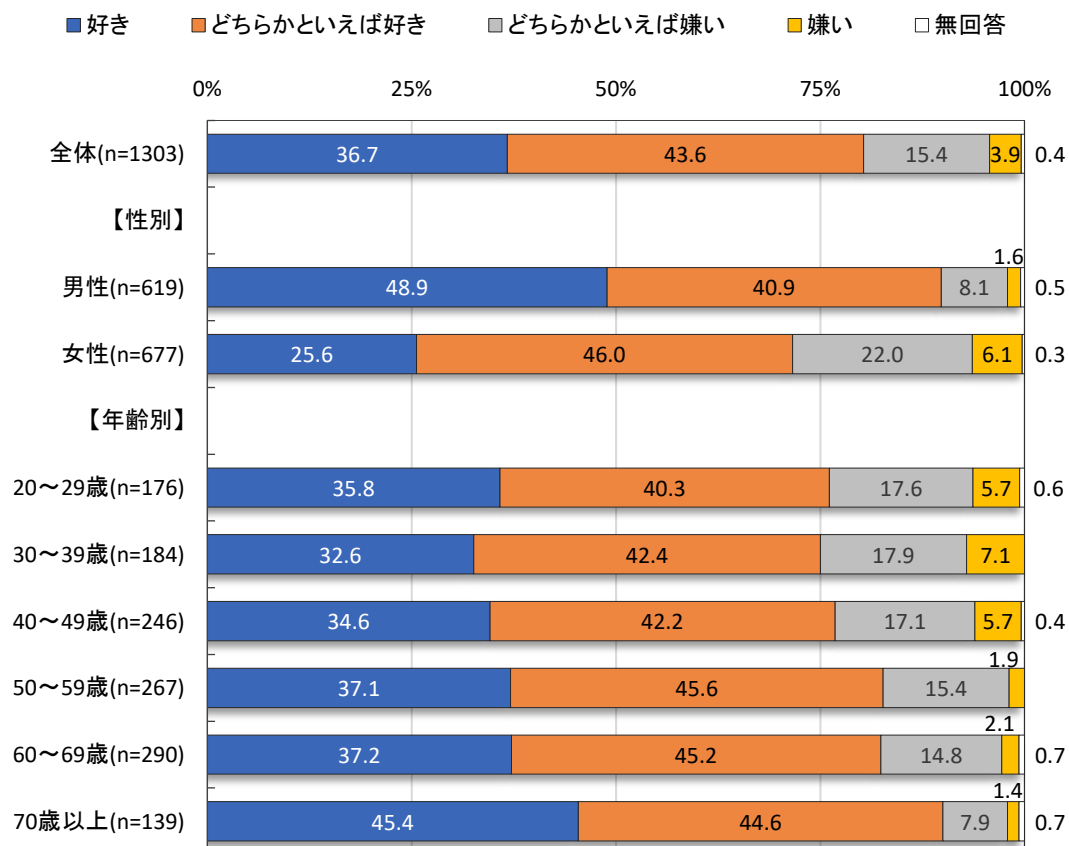
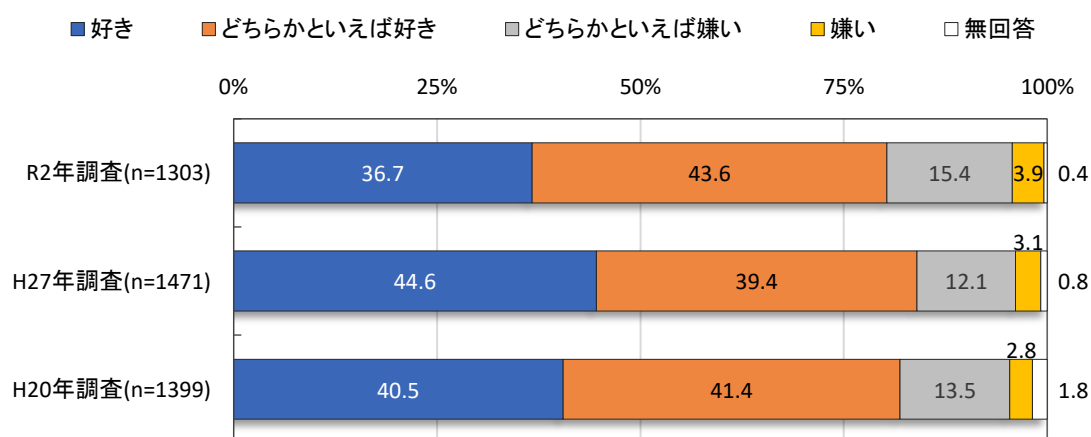


問 10 あなたは、運動やスポーツを観ることが好きですか？(テレビやビデオなどの鑑賞を含みます。)(当てはまる番号1つに○)

運動やスポーツを観ることが好きかについては、「好き」(36.7%)と「どちらかといえば好き」(43.6%)を合わせた“好き”の割合は80.3%で、この割合は前回調査(84.0%)から3.7ポイント低下している。

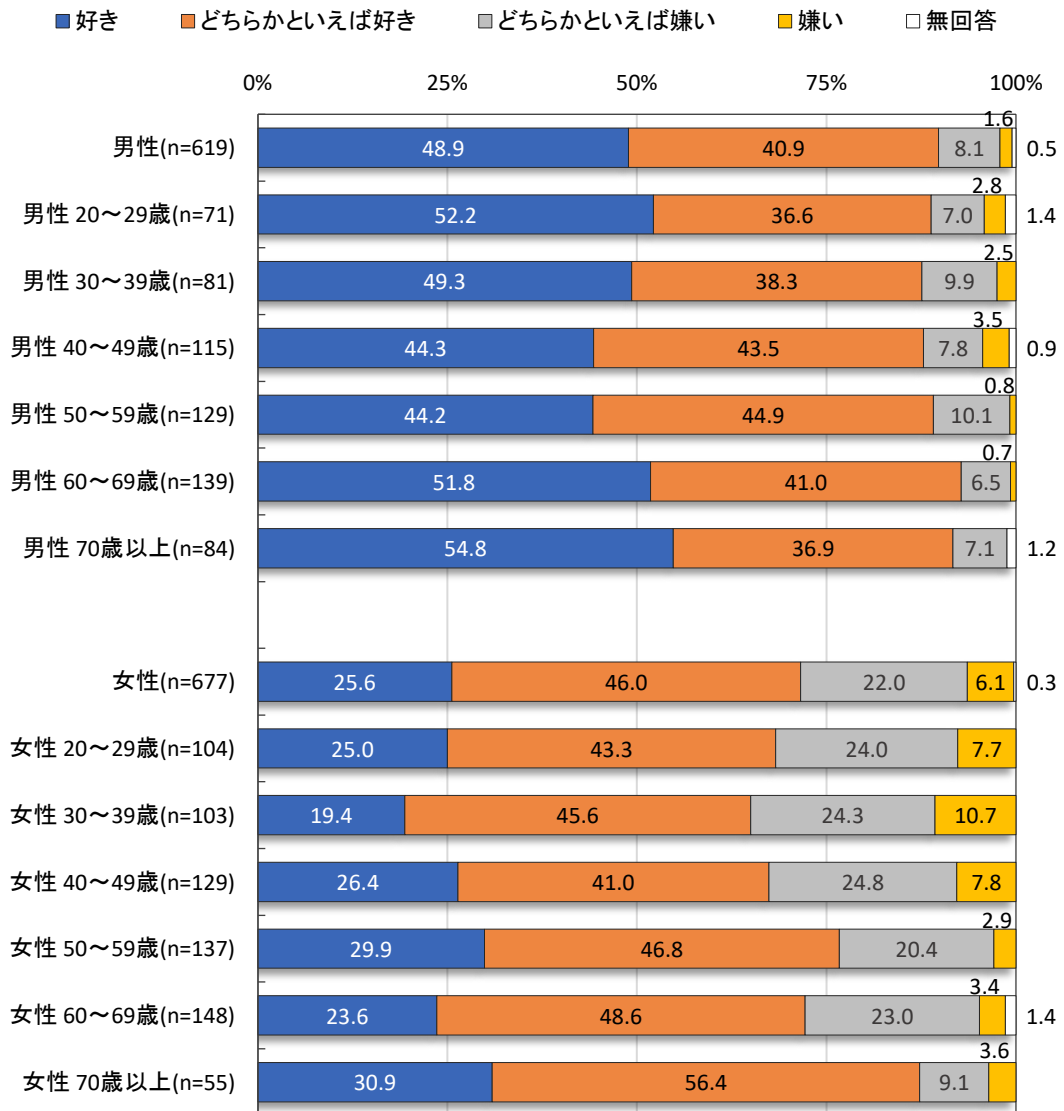
男女別にみると、“好き”の割合は男性で89.8%、女性では71.6%とともに高いものの、この割合は男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、“好き”の割合は、すべての年代で7割以上と高く、中でも70歳以上では9割台と、特に高い割合となっている。



⇒ 参考として、性別年齢別の回答割合を次頁に掲載しています

《参考 性別年齢別の回答割合》



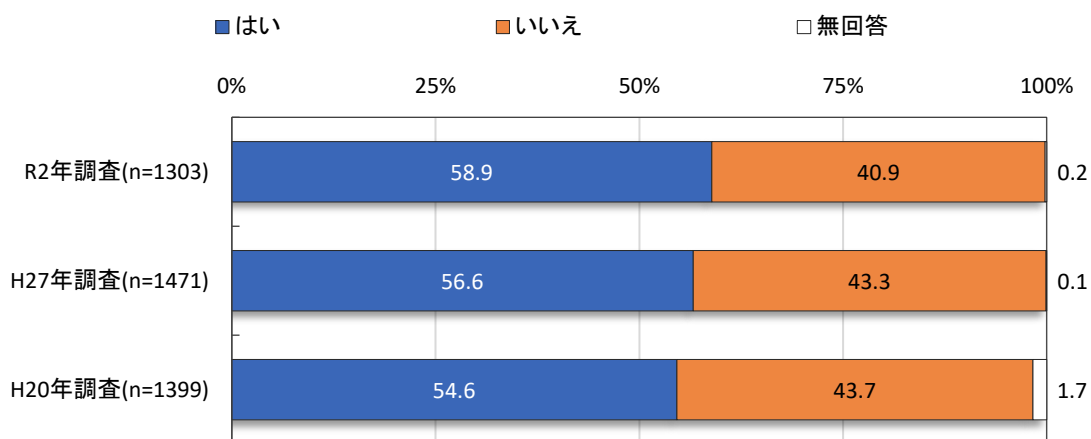


問 11 あなたは、この1年間(平成 31 年4月～現在までの期間。以下同様。)何らかの運動やスポーツをやりましたか？(当てはまる番号1つに○)  
 ※15 分間以上の運動(散歩やラジオ体操などを含む)

この1年間に何らかの運動やスポーツをやったかについては、「はい」の割合が 58.9%と5割以上を占めた一方、「いいえ」(40.9%)の割合は4割台となっている。「はい」の割合は前回調査(56.6%)に比べて2.3ポイント上昇している。

男女別にみると、「はい」の割合が男性で65.8%、女性では53.1%とともに5割以上ながら、この割合は男性の方が高くなっている。

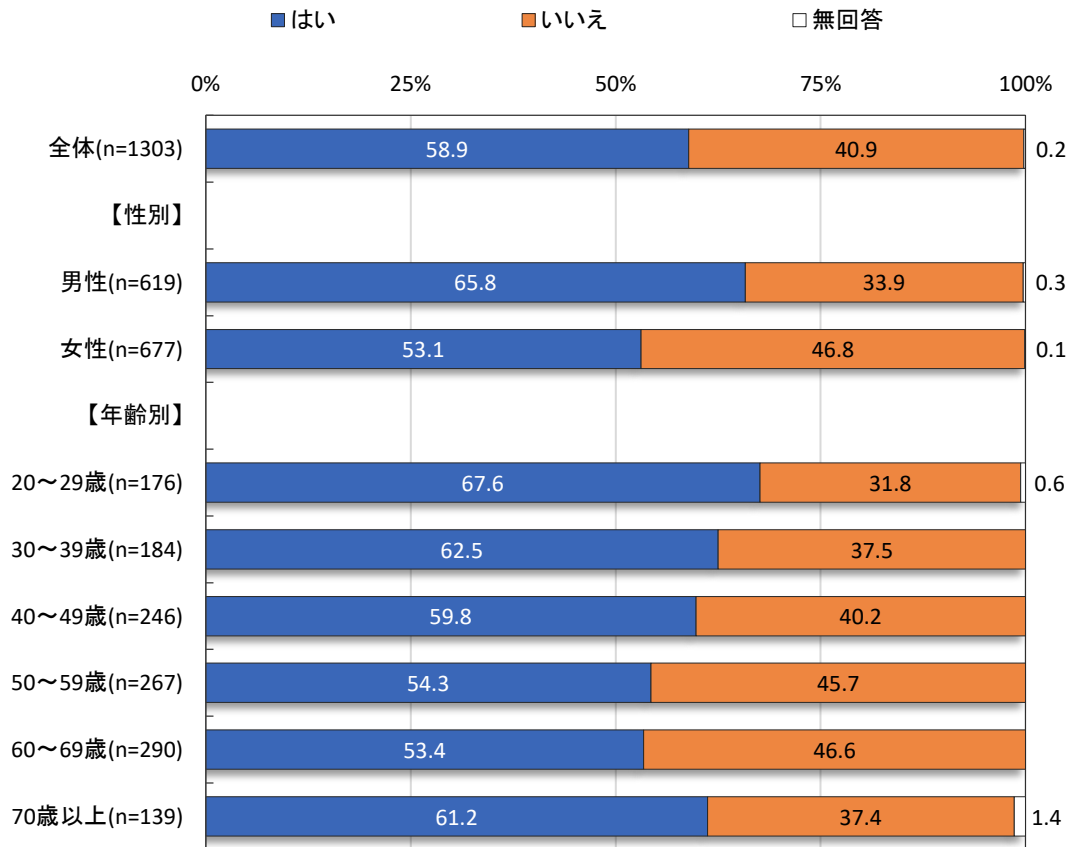
年齢別にみると、「はい」の割合はすべての年代で5割以上となっている。



----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

設問文章：H27 および H20 年調査では、「あなたは、この1年間、何らかの運動やスポーツを行いましたか。」となっており、※印以下に示される説明は記載されていなかった。

⇒ グラフは次頁に続きます

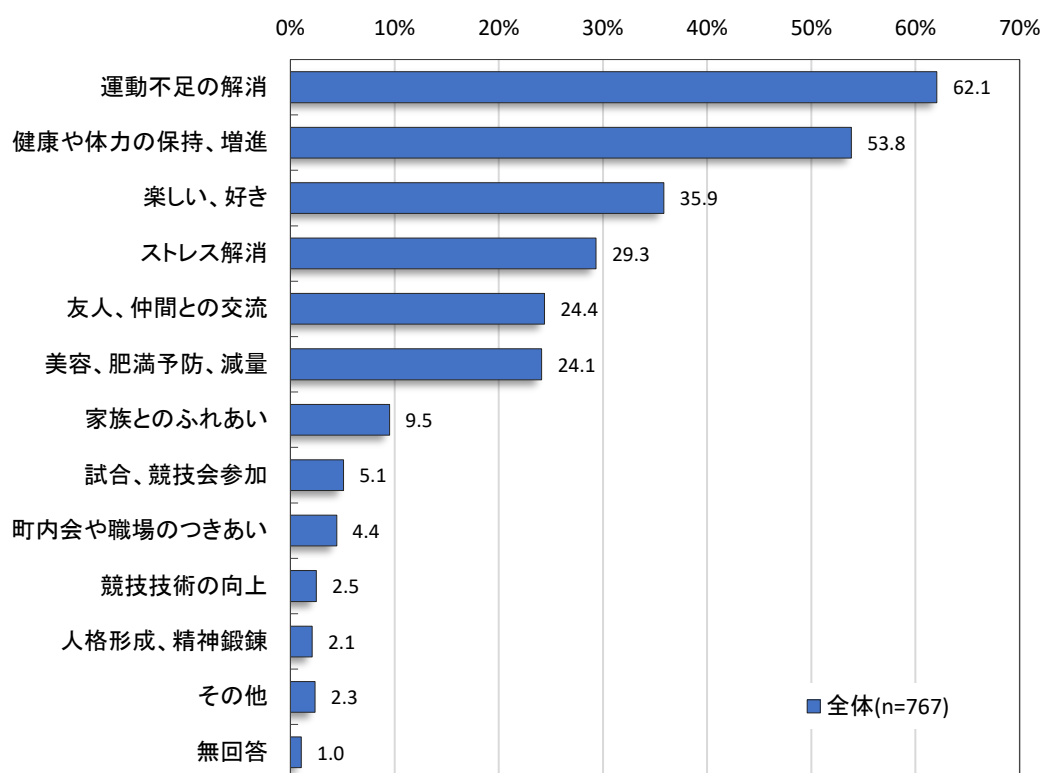


<問 12 から問 16 は、問 11 で「1 はい」に○をつけた方に伺います。>

問 12 あなたは、どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをしていますか？（主なもの3つまでに○）

どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをやっているかについては、「運動不足の解消」の割合が62.1%と6割以上で最も高く、次いで「健康や体力の保持、増進」(53.8%)が5割台で続き、以下は「楽しい、好き」(35.9%)、「ストレス解消」(29.3%)、「友人、仲間との交流」(24.4%)、「美容、肥満予防、減量」(24.1%)などの順となった。

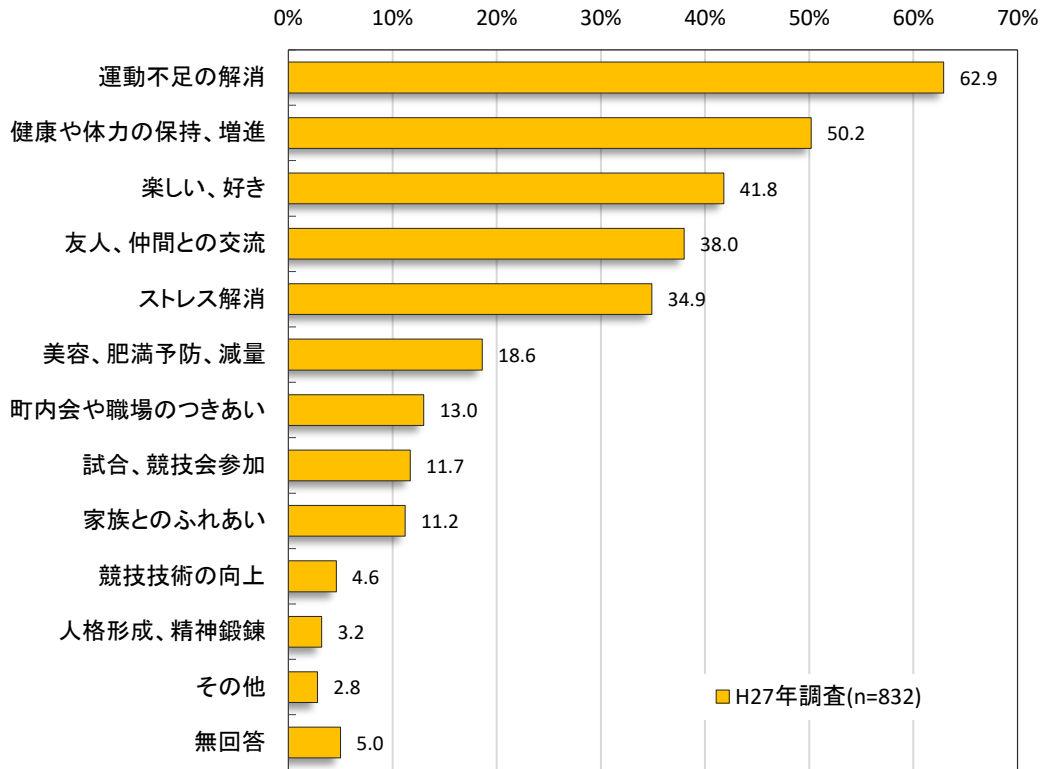
なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位3項目は前回（「運動不足の解消」62.9%、「健康や体力の保持、増進」50.2%、「楽しい、好き」41.8%）と同様の順位となっている。



----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
H27年調査と今回調査では、回答個数が異なるため。  
-----

⇒ 参考として、前回調査結果を次頁に掲載しています

《参考 前回調査結果》

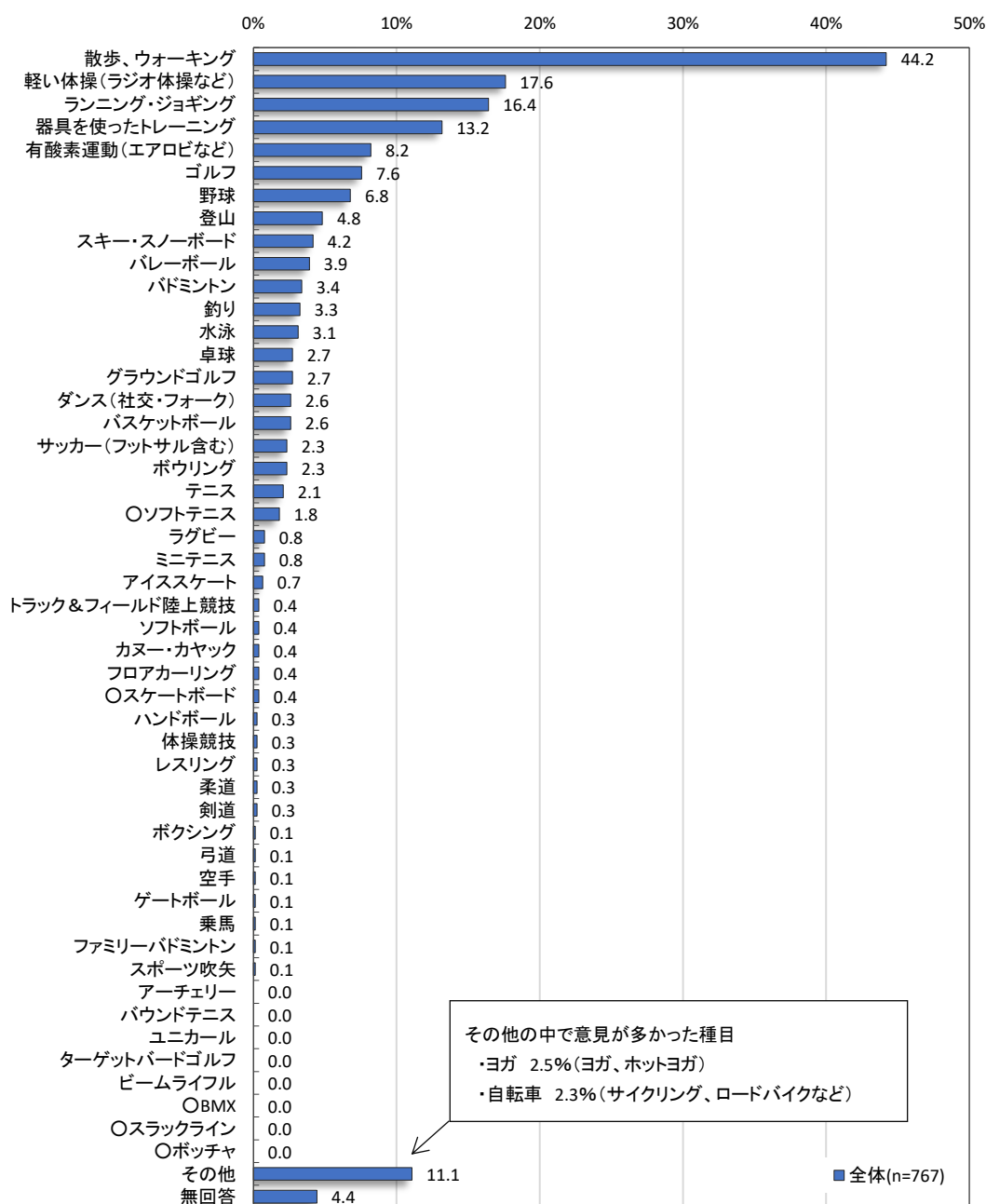


問 13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。

(1)実施した種目(主なもの3つまで)

この1年間にやった運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」(44.2%)が4割台で突出して高い割合となり、これに「軽い体操(ラジオ体操など)」(17.6%)、「ランニング・ジョギング」(16.4%)、「器具を使ったトレーニング」(13.2%)が1割台で続いている。

なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位3項目は前回(「散歩、ウォーキング」40.3%、「軽い体操(ラジオ体操など)」22.1%、「ランニング・ジョギング」14.4%)と同様の順位となっている。



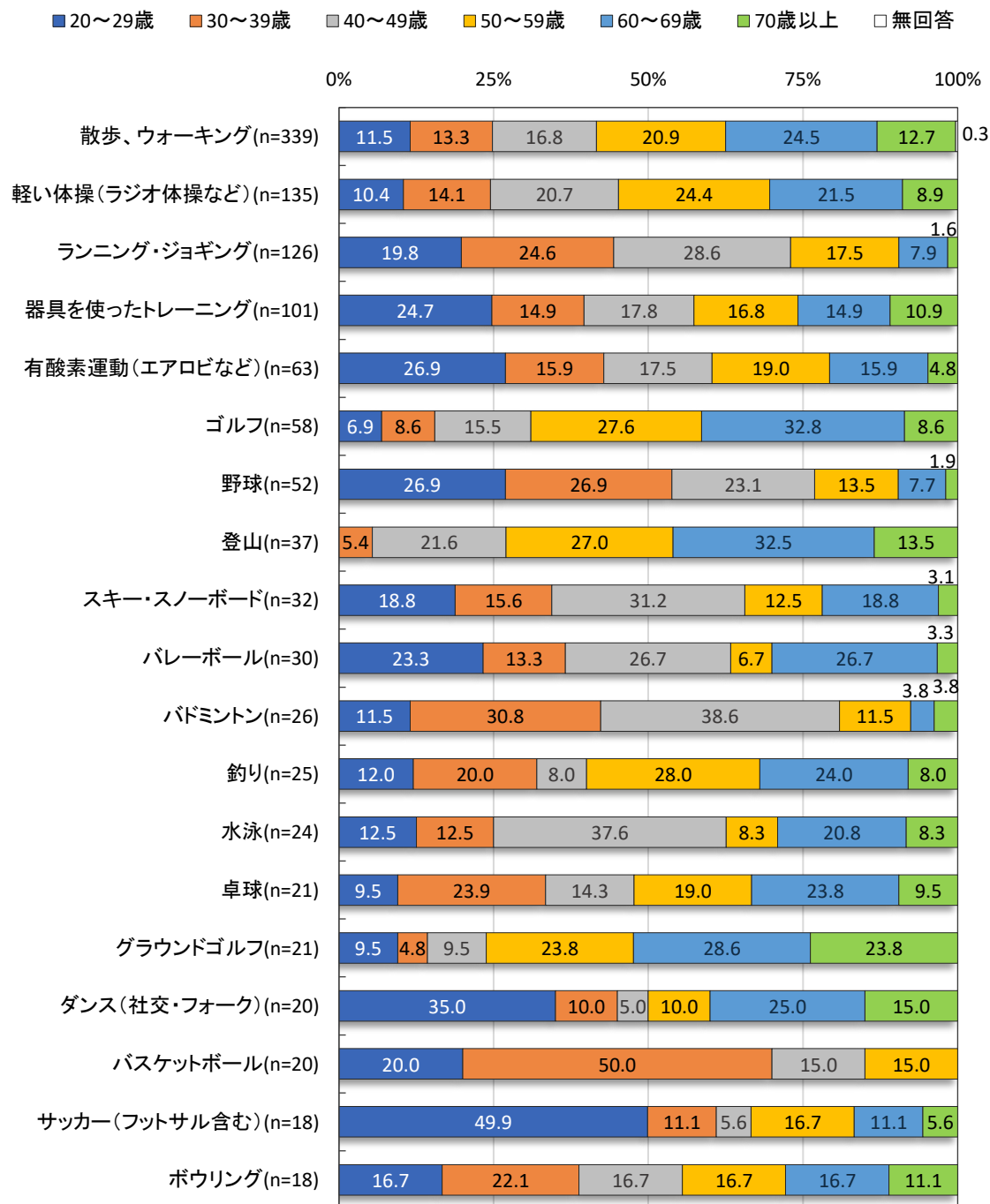
----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

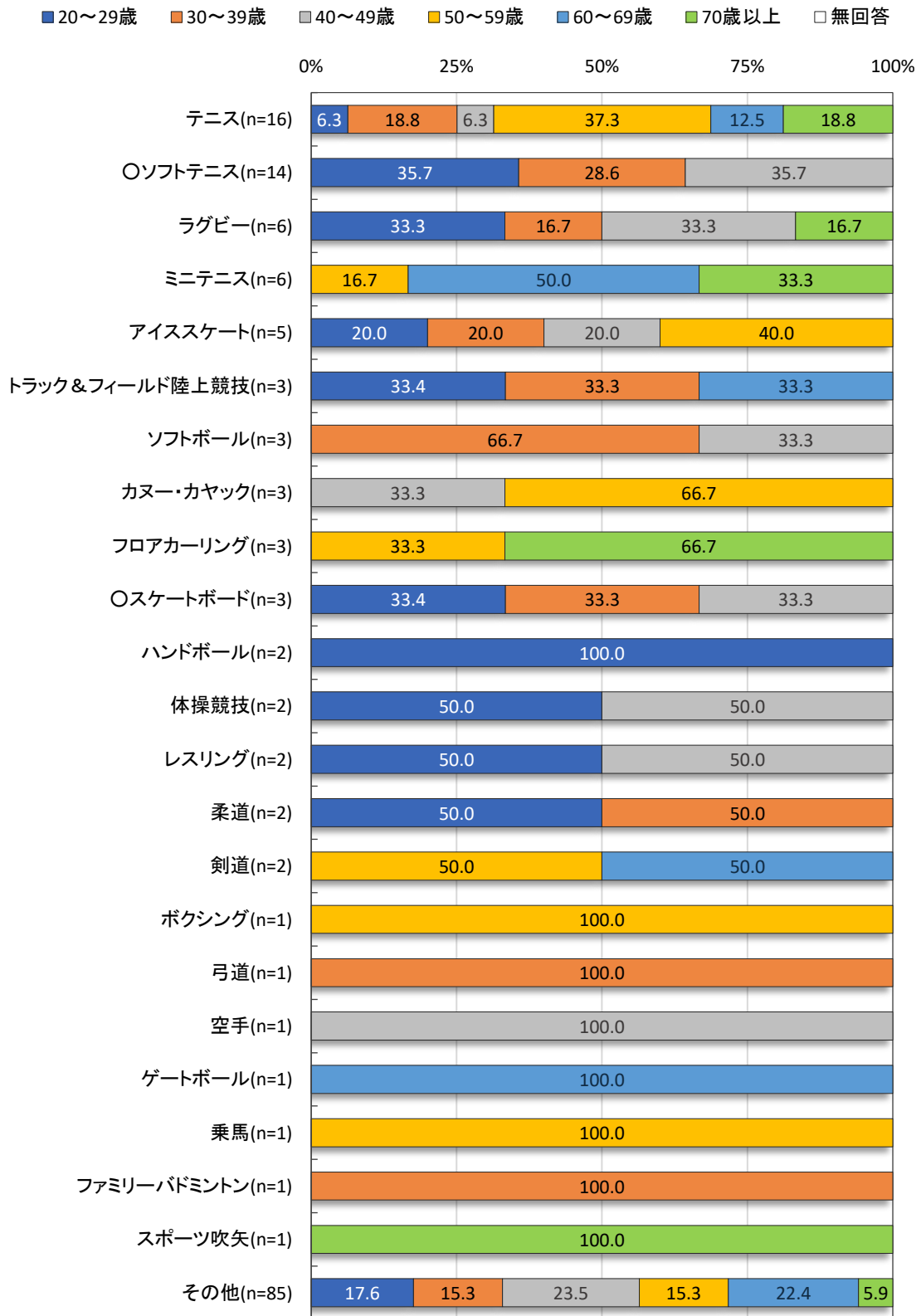
問 13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。

(1)実施した種目(主なもの3つまで)より、種目別競技者年齢

この1年間にやった運動やスポーツの種目別に競技者の年齢をみると、競技者数が最も多い「散歩、ウォーキング」では、「60～69歳」の割合が24.5%で最も高く、これに「50～59歳」が20.9%で続き、以下は各年代で1割台とほぼ同様の割合となっている。



⇒ グラフは次頁に続きます

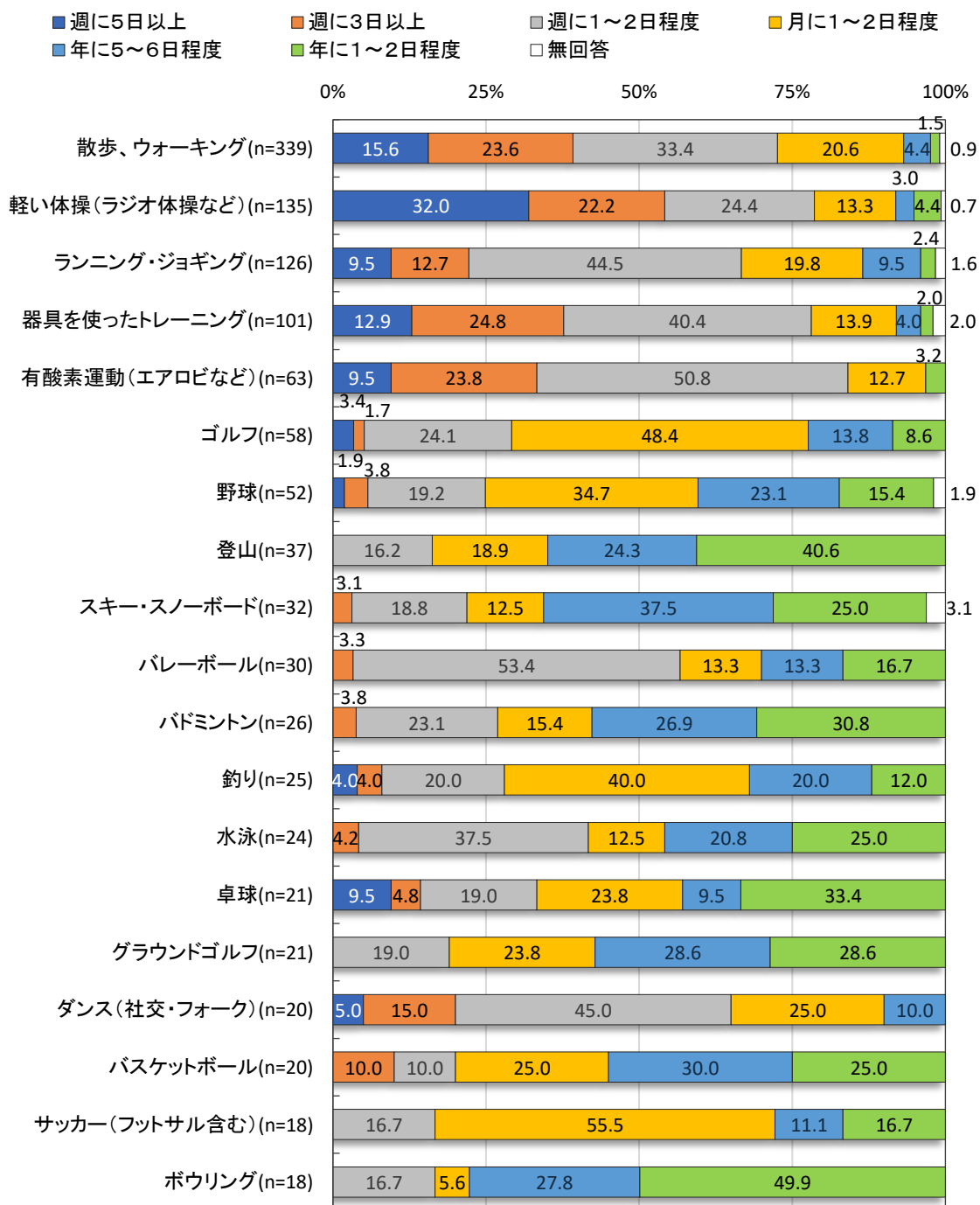


----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

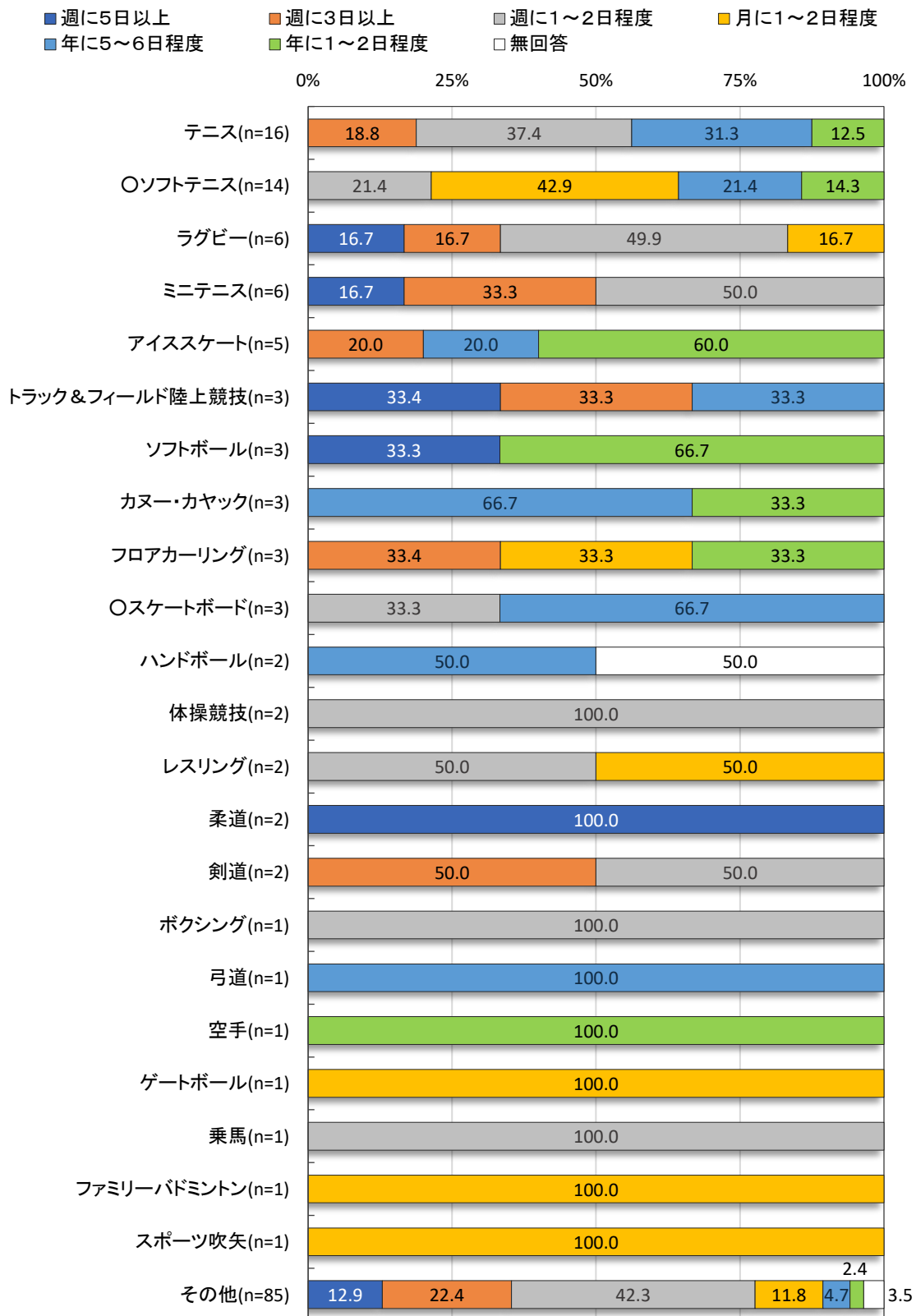
問 13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。  
 (2)どのくらい実施したか ((1)で回答した種目ごとに、おおよその実施回数に1つ〇)

この1年間にやった運動やスポーツをどのくらい実施したかについては、「散歩、ウォーキング」では「週に1～2日程度」が33.4%で最も割合が高くなったほか、「軽い体操（ラジオ体操など）」では「週に5日以上」（32.0%）、「ランニング・ジョギング」では「週に1～2日程度」（44.5%）の割合が最も高くなっており、実施回数については種目により違いが見られた。



⇒ グラフは次頁に続きます

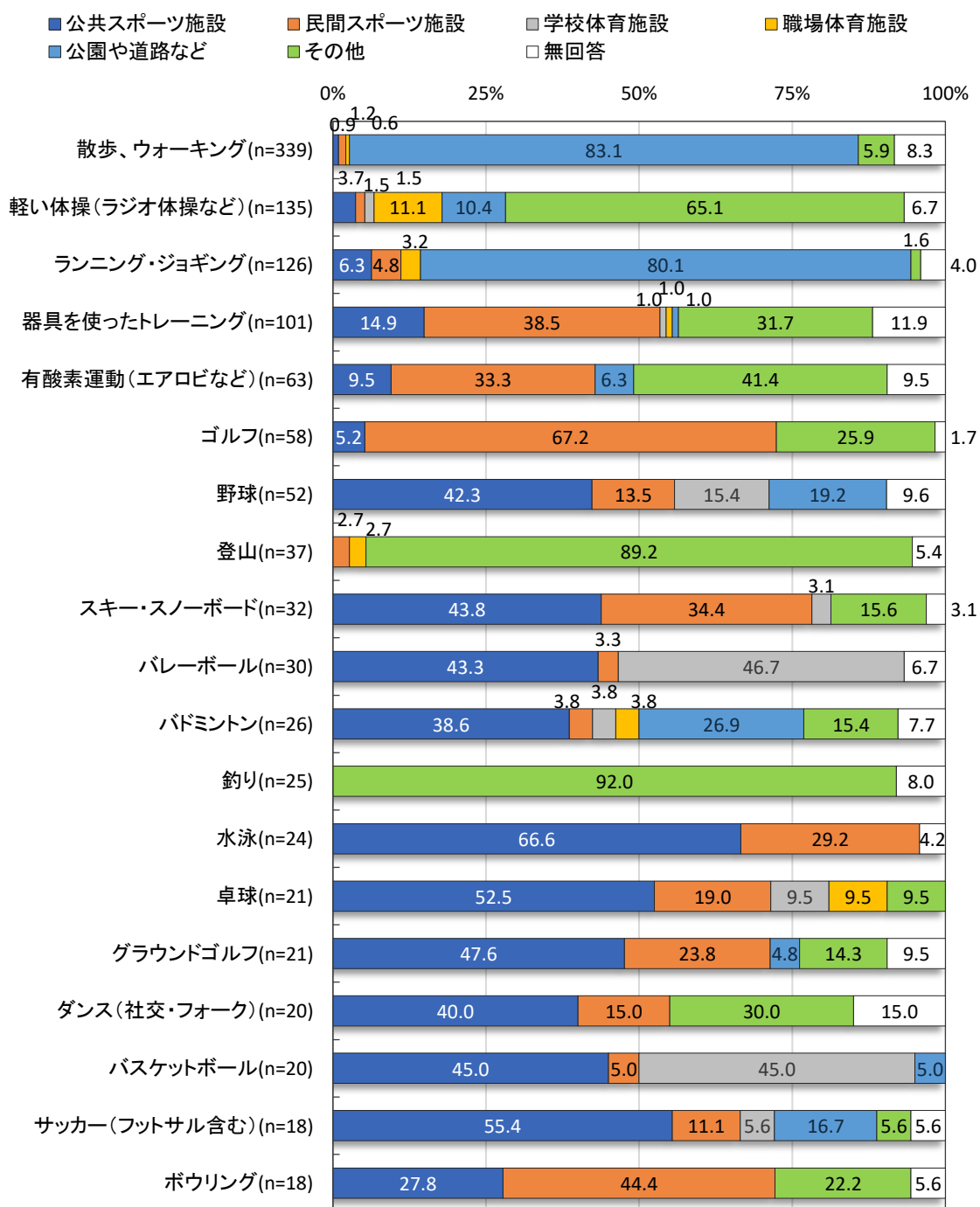




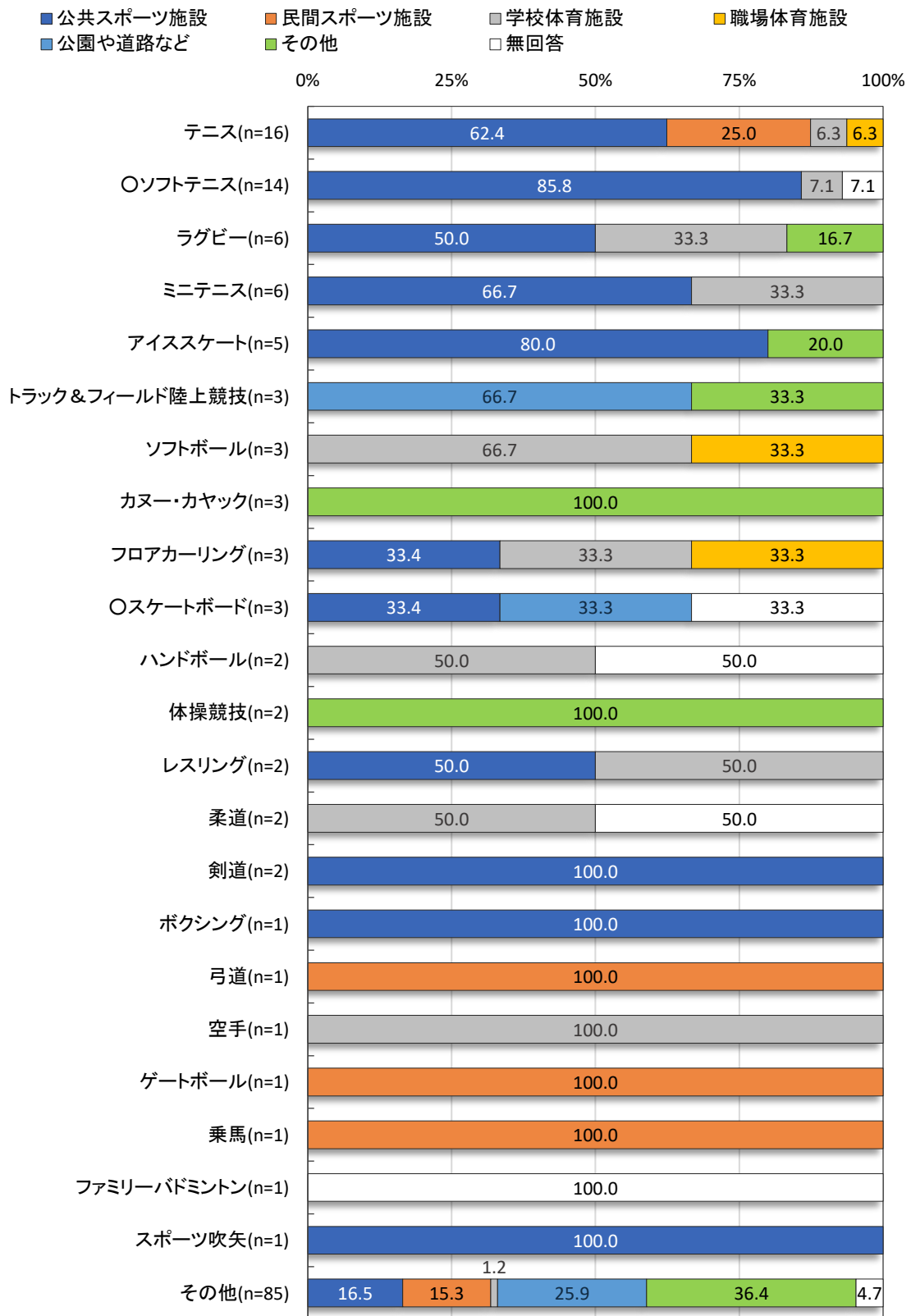
----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
 H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。  
 -----

問 13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。  
 (3)どこで実施したか ((1)で回答した種目ごとに、主な実施場所に1つ〇)

この1年間にやった運動やスポーツをどこで実施したかについては、「散歩、ウォーキング」では「公園や道路など」が83.1%で最も割合が高くなったほか、「軽い体操（ラジオ体操など）」では「その他」（65.1%）、「ランニング・ジョギング」では「公園や道路など」（80.1%）の割合が最も高くなっており、実施場所については種目により違いが見られた。



⇒ グラフは次頁に続きます

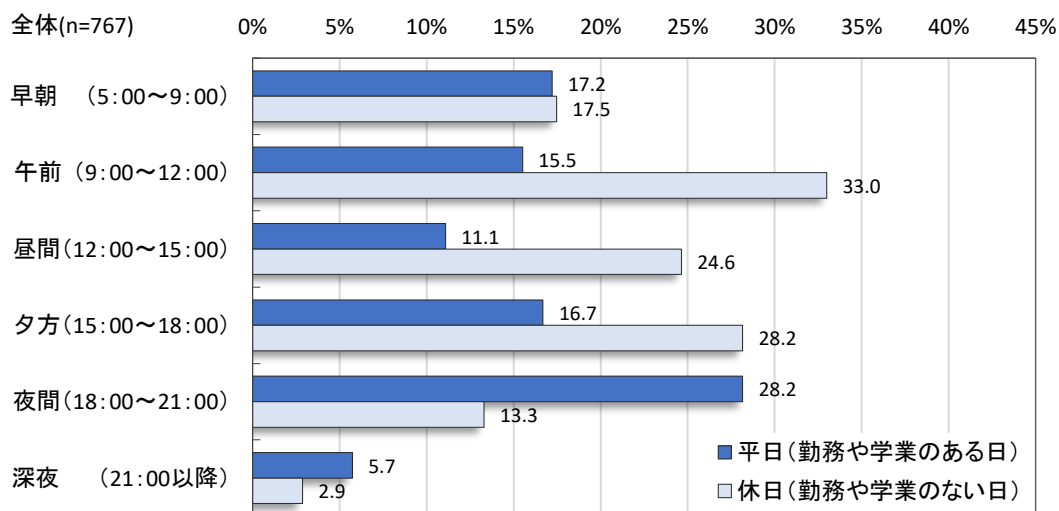


----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

⑨ 問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよその時間帯にやっていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

運動やスポーツをおおよその時間帯にやっているかについては、平日は「夜間」(28.2%)の割合が最も高く、これに「早朝」(17.2%)、「夕方」(16.7%)などが続いたのに対して、休日では「午前」(33.0%)の割合が最も高く、以下は「夕方」(28.2%)、「昼間」(24.6%)などの順となっている。



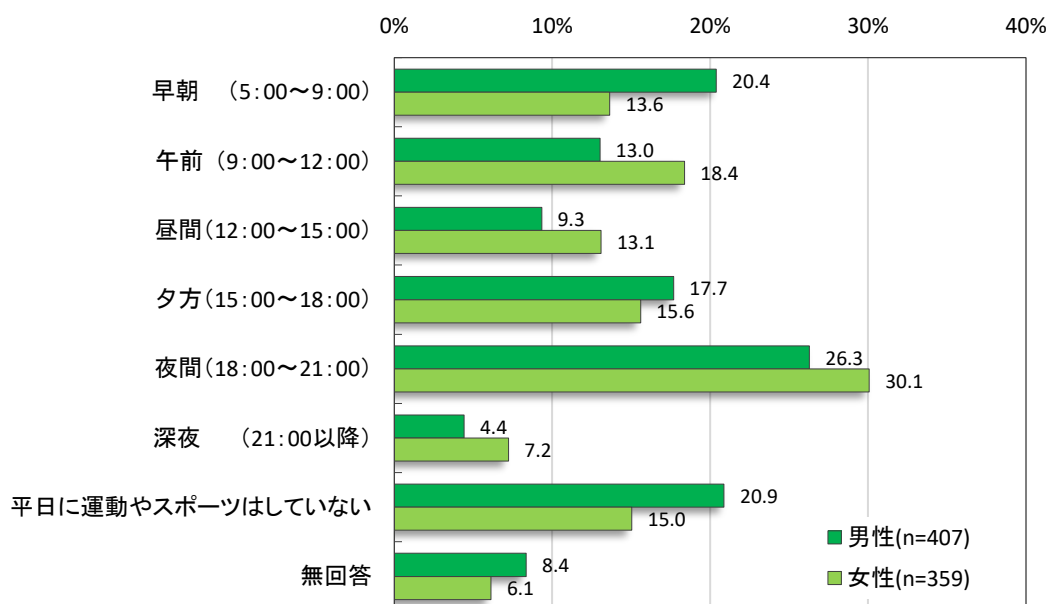
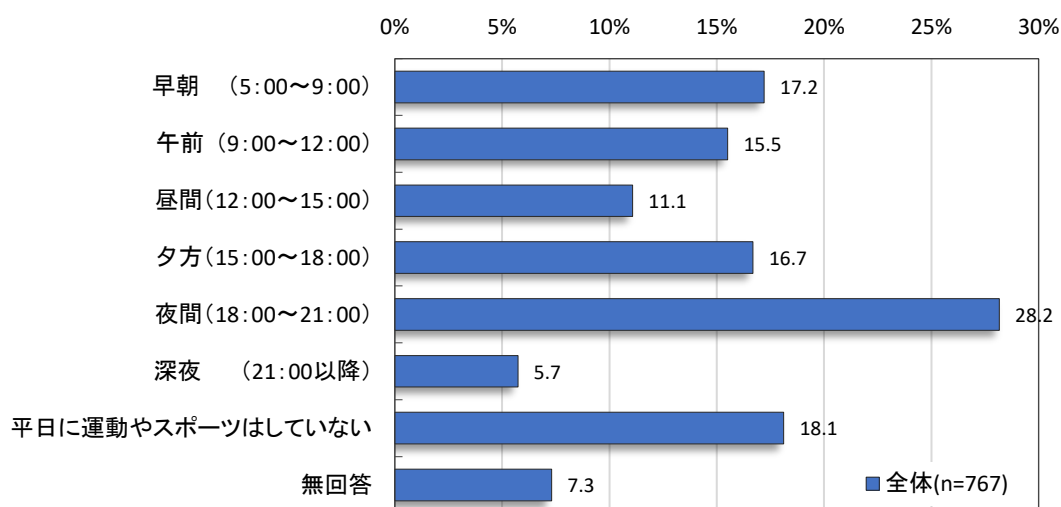
⑨ 問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよその時間帯にやっていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 平日(勤務や学業のある日)

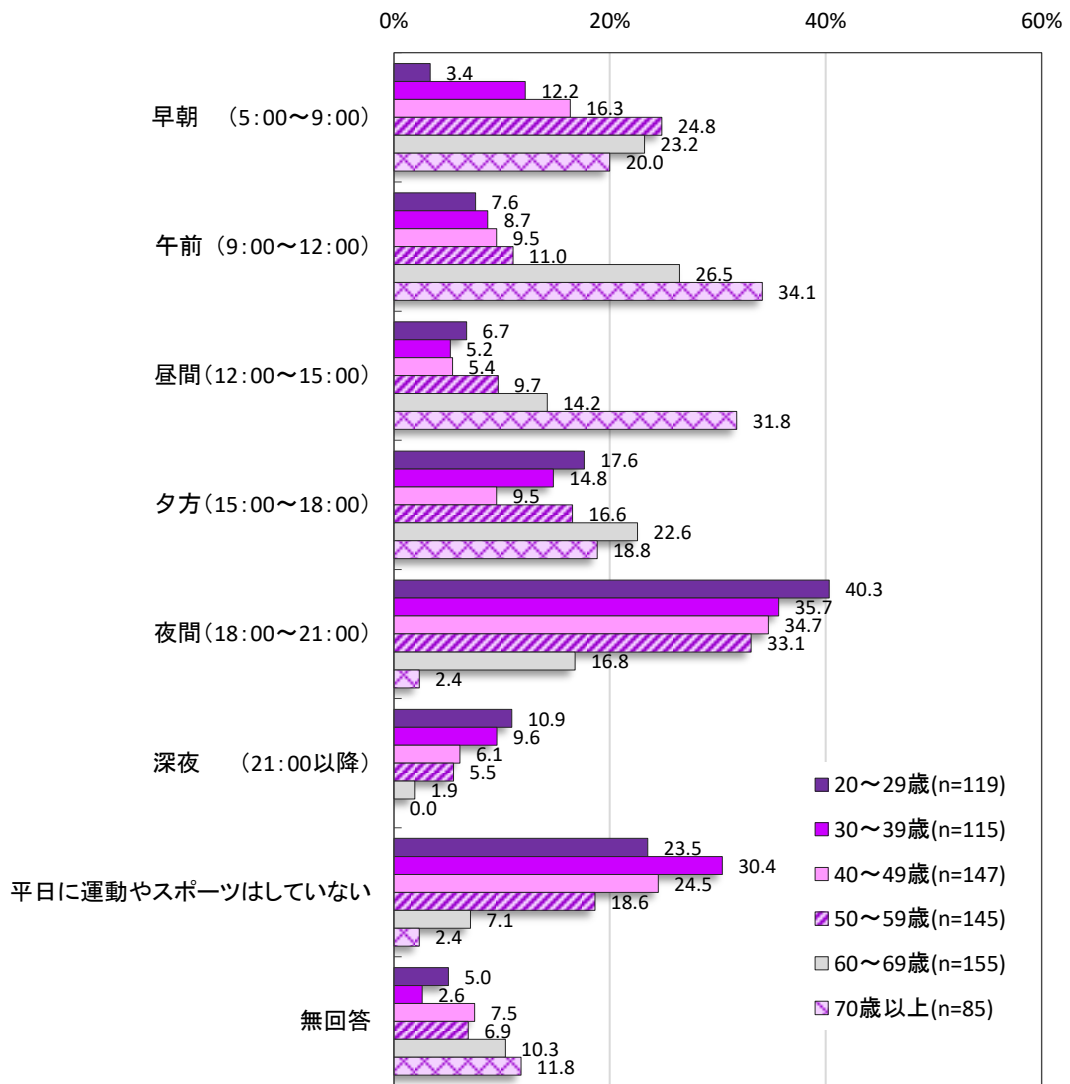
運動やスポーツを平日のおおよその時間帯にやっているかについては、「夜間」の割合が28.2%で最も高くなっている。また、「平日に運動やスポーツはしていない」の割合は18.1%となっている。

男女別にみると、いずれも「夜間」(男性26.3%、女性30.1%)の割合が最も高くなっており、この割合は女性の方が幾分高くなっている。

年齢別にみると、50～59歳までの各年代では「夜間」の割合が最も高く、60～69歳と70歳以上では「午前」の割合が最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



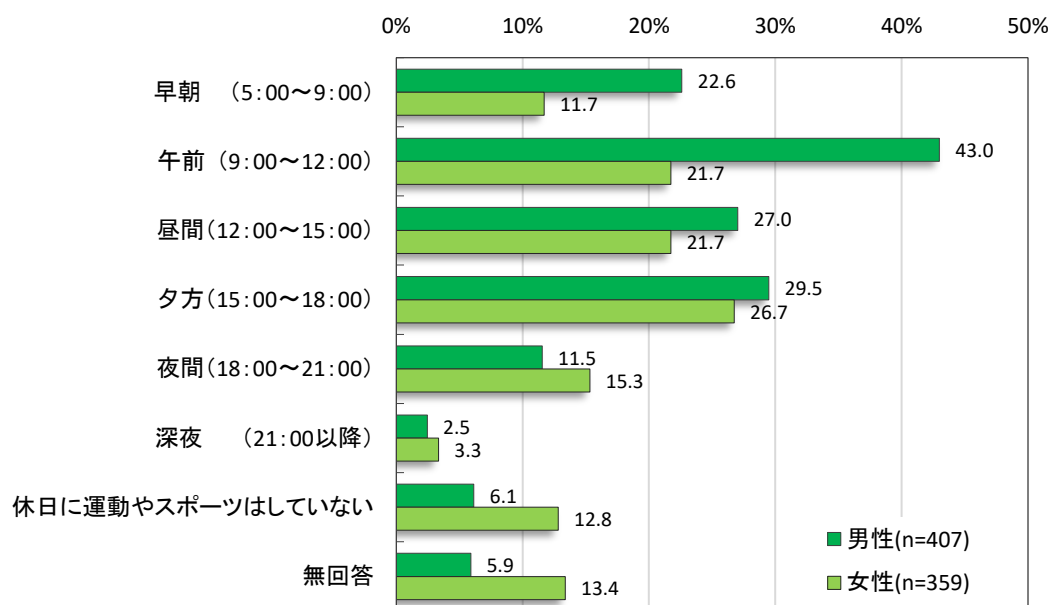
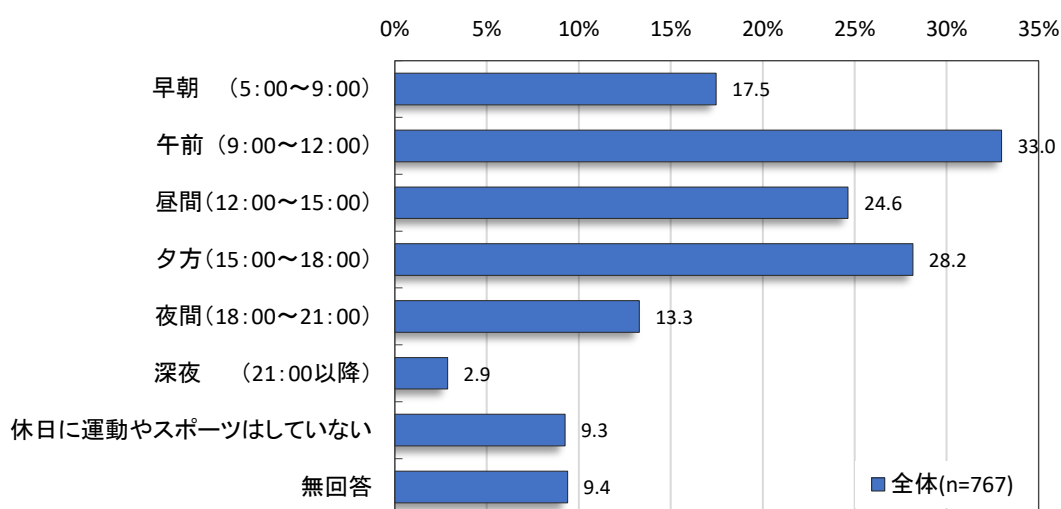
⑨ 問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよその時間帯にやっていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(2)休日(勤務や学業のない日)

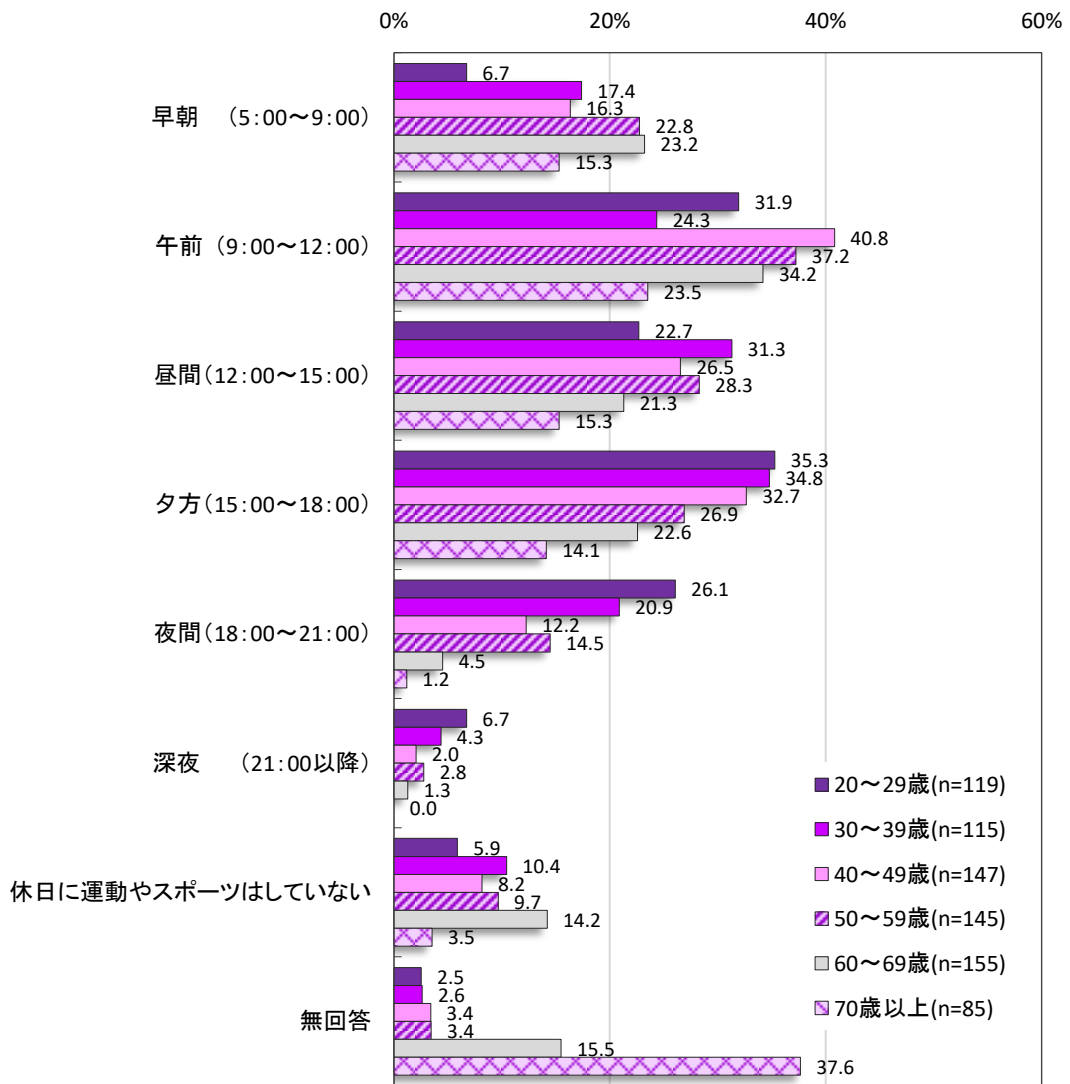
運動やスポーツを休日のおおよその時間帯にやっているかについては、「午前」の割合が 33.0%で最も高くなっている。また、「休日に運動やスポーツはしていない」の割合は 9.3%となっている。

男女別にみると、男性では「午前」(43.0%)の割合が最も高くなった一方、女性では「夕方」(26.7%)の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、20～29歳と30～39歳では「夕方」の割合が最も高く、それ以外の年代ではいずれも「午前」の割合が最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



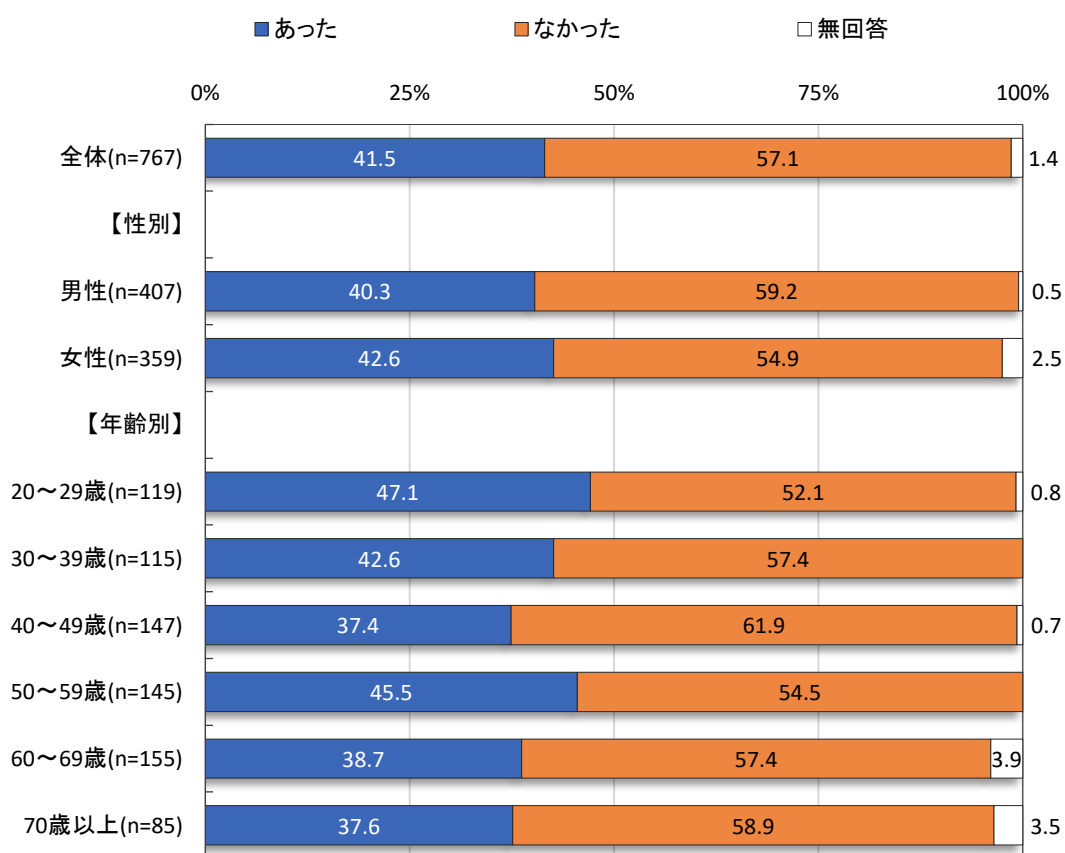


⑨ 問 15 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度について変化はありましたか？（当てはまる番号1つに○）

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度について変化はあったかについては、「なかった」の割合が57.1%と5割以上を占めた一方、「あった」(41.5%)の割合は4割台となっている。

男女別にみると、「あった」の割合は男性40.3%、女性42.6%と、どちらも4割台と、ほぼ同様の割合となっている。

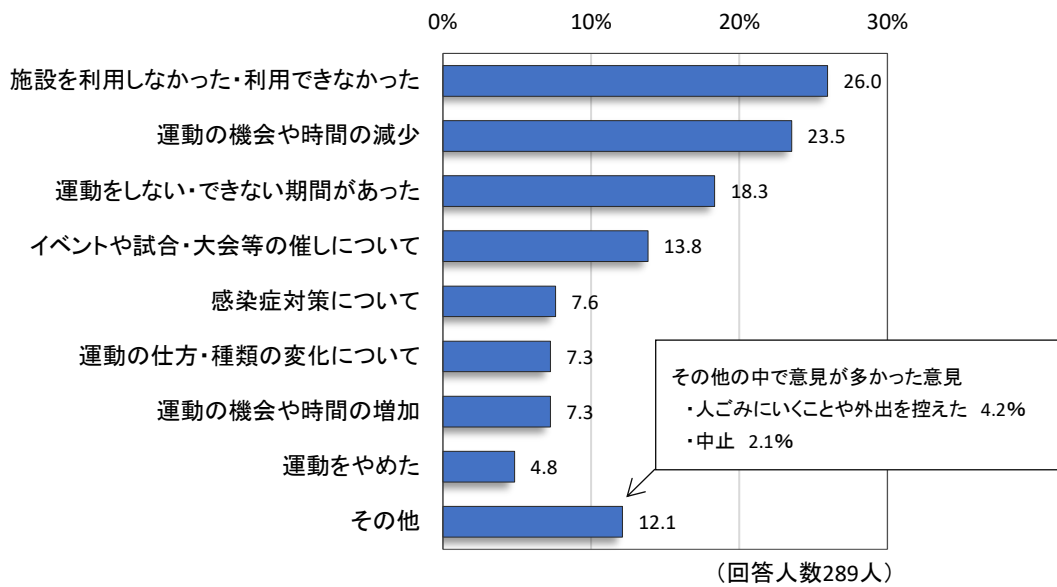
年齢別にみると、「あった」の割合は20～29歳、30～39歳、50～59歳で4割台、その他の世代では3割台となっている。



⑨ 問 15 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度について変化はありましたか？「1 あった」に○をつけた方はどんな変化がありましたか？(自由記述)

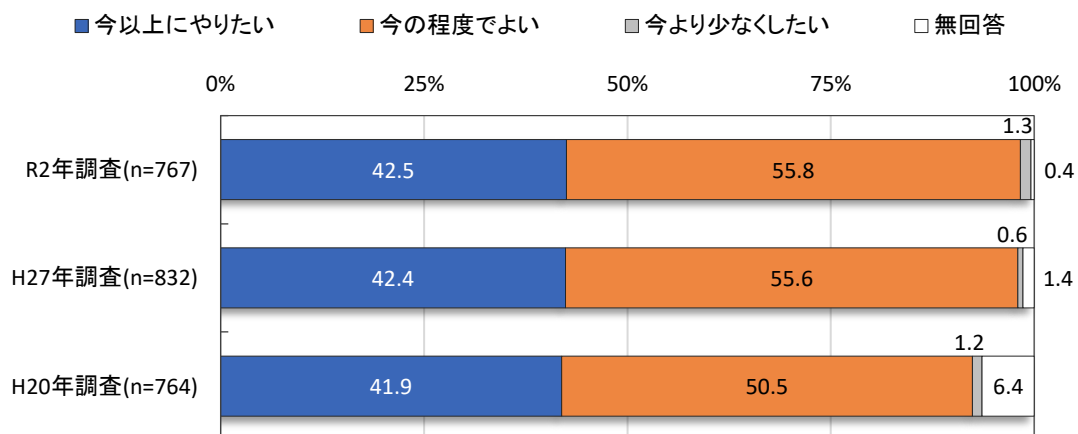
新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度にどのような変化があったかについて、本設問の調査対象者 767 人のうち 289 人から回答が寄せられた。

最も多かった意見は「施設を利用しなかった・利用できなかった」といった内容で 26.0% となっており、次いで「運動の機会や時間の減少」が 23.5% で続き、以下は「運動をしない・できない期間があった」(18.3%)、「イベントや試合・大会等の催しについて」(13.8%)、などの順となった。



問 16 あなたは、今後の運動やスポーツについてどの程度やりたいですか？(当てはまる番号 1 つに○)

今後の運動やスポーツについてどの程度やりたいかについては、「今の程度でよい」の割合が 55.8%と 5 割以上を占め、これに「今以上にやりたい」が 42.5%で続いており、これらの割合は、前回調査とほぼ同様の割合となっている。



--- 過去調査と比較する上での注意点 ---

今以上にやりたい：H27 および H20 年調査では、「今以上に行いたい」としていた。

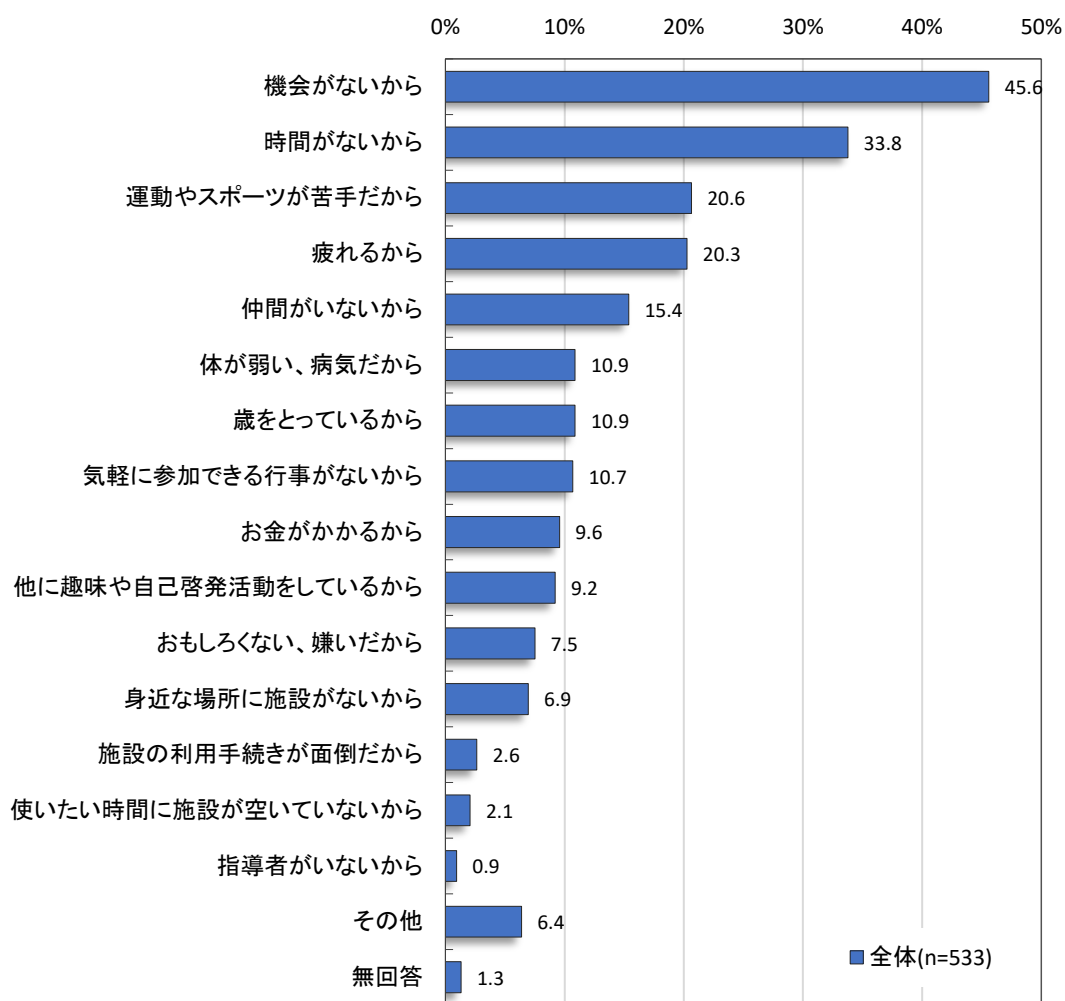
今より少なくしたい：H27 および H20 年調査では、「もっと少なくしたい」としていた。

<問 17 と問 18 は、問 11 で「2 いいえ」に○をつけた方に伺います。>

問 17 この1年間運動やスポーツをやらなかった理由は何ですか？(主なものを3つまでに○)

この1年間運動やスポーツをやらなかった理由については、「機会がないから」の割合が45.6%で最も高く、次いで「時間がないから」(33.8%)が続き、以下は「運動やスポーツが苦手だから」(20.6%)、「疲れるから」(20.3%)、「仲間がいないから」(15.4%)などの順となった。

なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位2項目は前回(「機会がない」45.4%、「時間がない」27.5%)と同様の順位となっている。

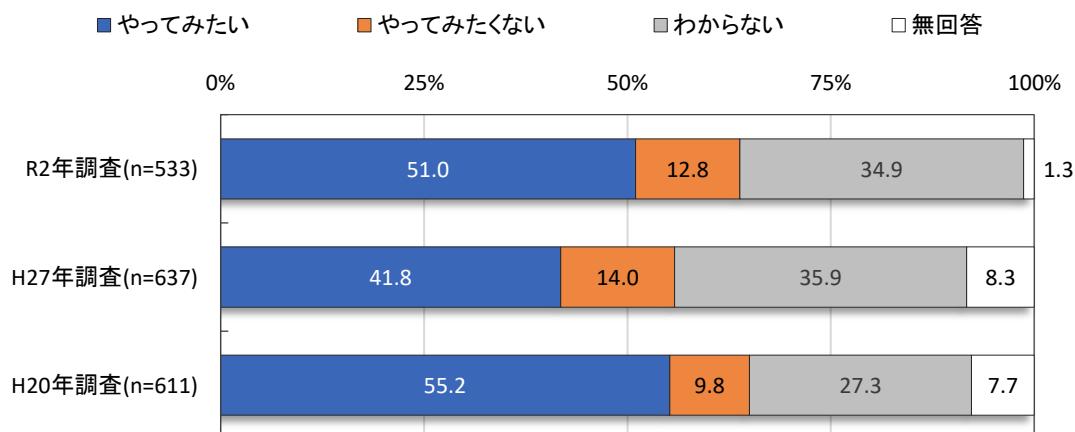


----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、回答個数が異なるため。

問 18 あなたは、条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたいですか？(当てはまる番号1つに○)

条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたいかについては、「やってみたい」の割合が51.0%と5割以上を占めた一方、「やってみたくない」(12.8%)の割合は1割台となっている。「やってみたい」の割合は前回調査(41.8%)に比べて9.2ポイント上昇している。



--- 過去調査と比較する上での注意点 ---

やってみたい：H27 および H20 年調査では、「行いたい」としていた。

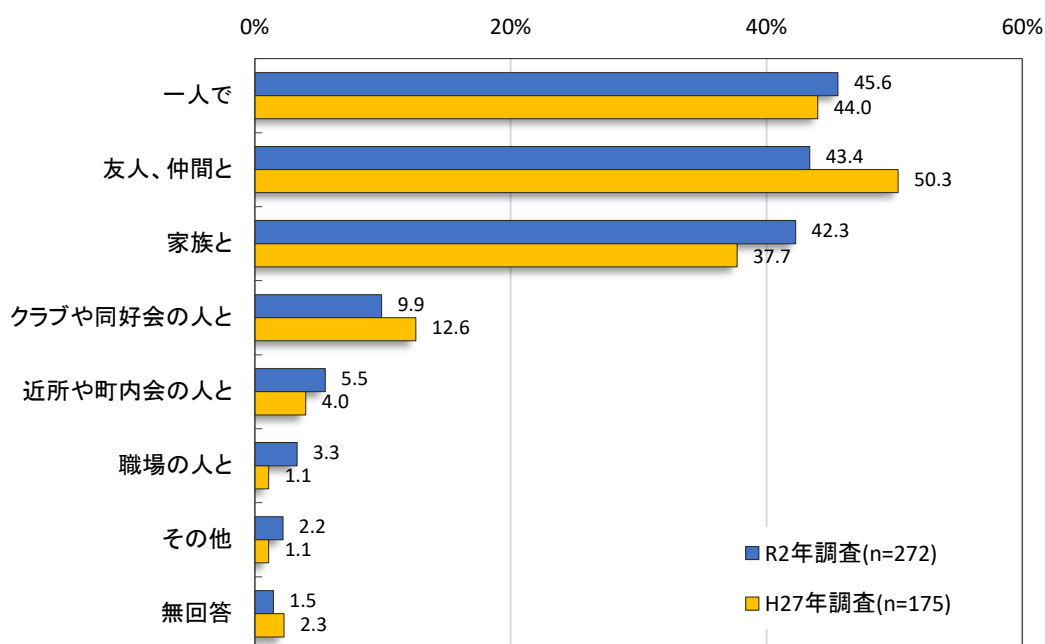
やってみたくない：H27 および H20 年調査では、「行いたくない」としていた。

<問 19 から問 21 は、問 18 で「1 やってみたい」に○をつけた方に伺います。>

問 19 今後やってみたい運動やスポーツは、主に誰とやりたいですか？(主なもの2つまでに○)

今後やってみたい運動やスポーツは、主に誰とやりたいかについては、「一人で」の割合が 45.6%で最も高く、これに続く「友人、仲間と」(43.4%)、「家族と」(42.3%) とともに、上位 3 項目が 4 割台と高い割合となった。以下は「クラブや同好会の人と」(9.9%)、「近所や町内会の人と」(5.5%) などが 1 割未満の低い割合で続いている。

前回調査に比べて、「友人、仲間と」と「クラブや同好会の人と」の割合が低下した一方、その他の項目では割合が上昇している。



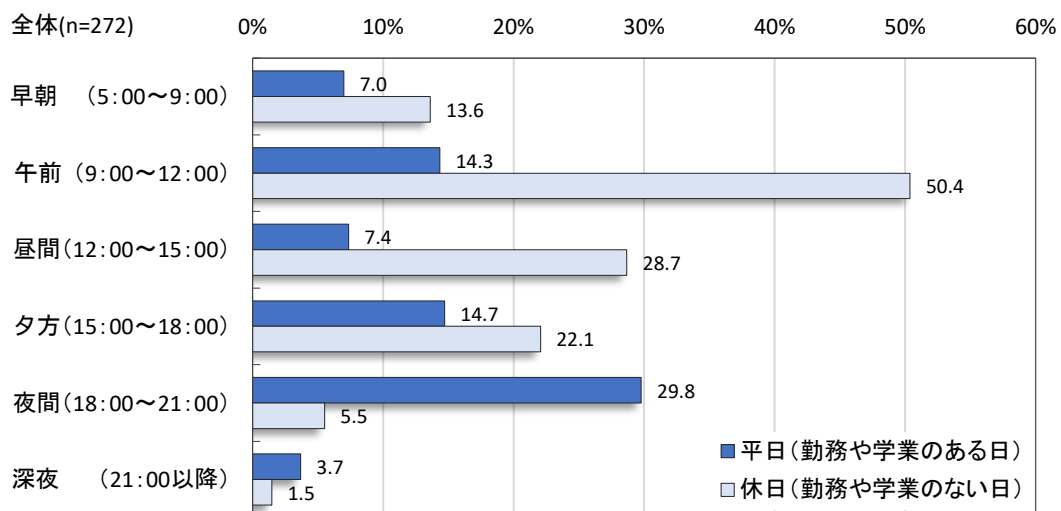
----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

R2年調査では、「条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたい」と回答した方すべてが回答する質問となっているが、H27年調査では、「条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたい」と回答し、かつ、行いたいと希望する競技名を答えた人のみが回答者となっており、回答者の限定方法が異なっている。

なお、H20年調査においては、R2年調査において回答者から外される人(この1年間に何らかの運動やスポーツを行った人)も回答者に含んでいることから、ここでの比較は行わない。

⑨ 問 20 今後やってみたい運動やスポーツは、おおよそどの時間帯にやりたいですか？ 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

今後やってみたい運動やスポーツは、おおよそどの時間帯にやりたいかについては、平日は「夜間」(29.8%)の割合が最も高く、これに「夕方」(14.7%)、「午前」(14.3%)などが続いたのに対して、休日では「午前」(50.4%)の割合が5割台と突出して高く、以下は「昼間」(28.7%)、「夕方」(22.1%)などの順となっている。



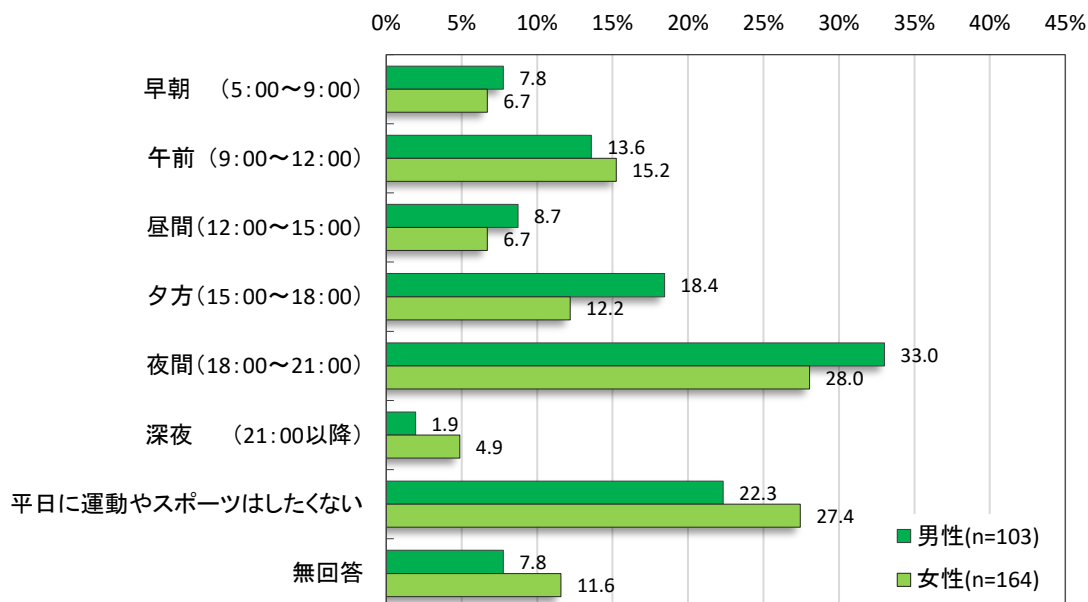
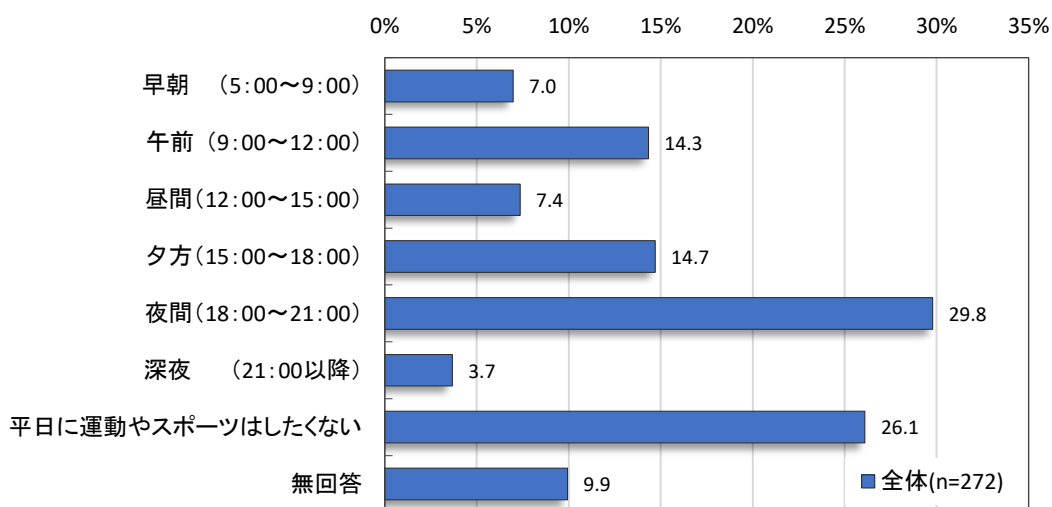
⑨ 問 20 今後やってみたい運動やスポーツは、おおよそどの時間帯にやりたいですか？ 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 平日(勤務や学業のある日)

今後やってみたい運動やスポーツは平日のおおよそどの時間帯にやりたいかについては、「夜間」の割合が 29.8% で最も高くなっている。また、「平日に運動やスポーツはしたくない」の割合は 26.1% となっている。

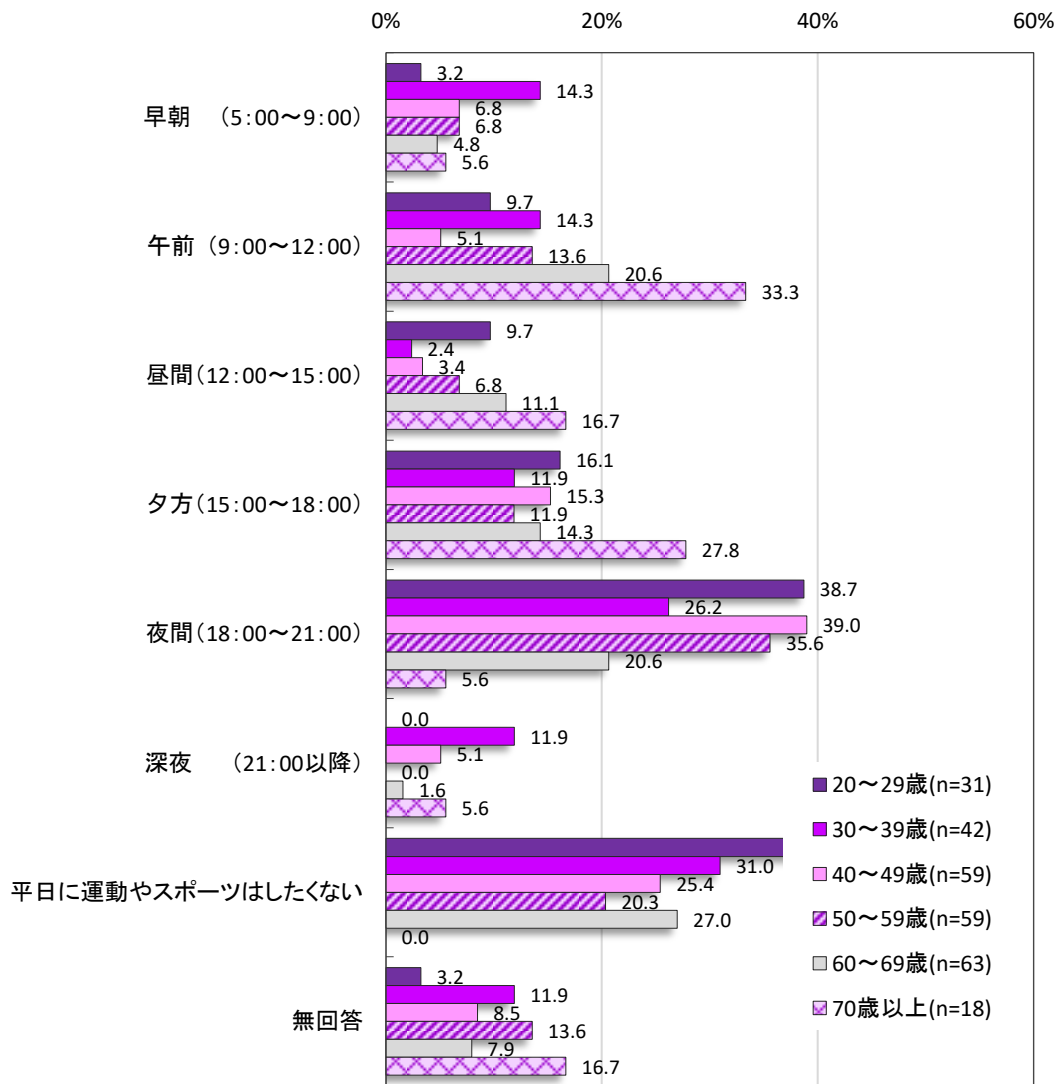
男女別にみると、いずれも「夜間」(男性 33.0%、女性 28.0%) の割合が最も高くなっており、この割合は男性の方が幾分高くなっている。

年齢別にみると、50～59 歳までの各年代では「夜間」の割合が最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます





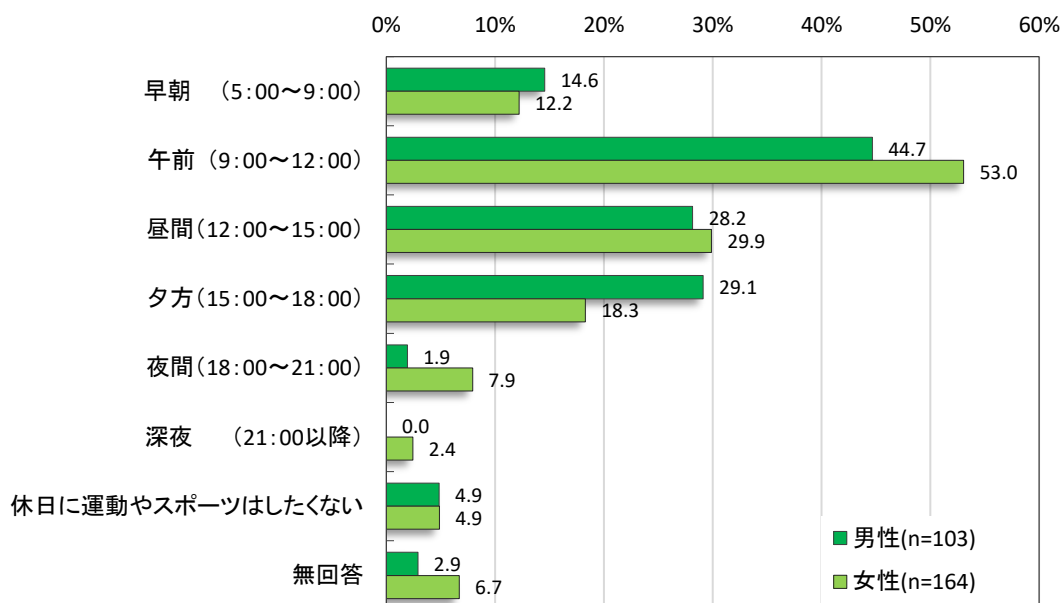
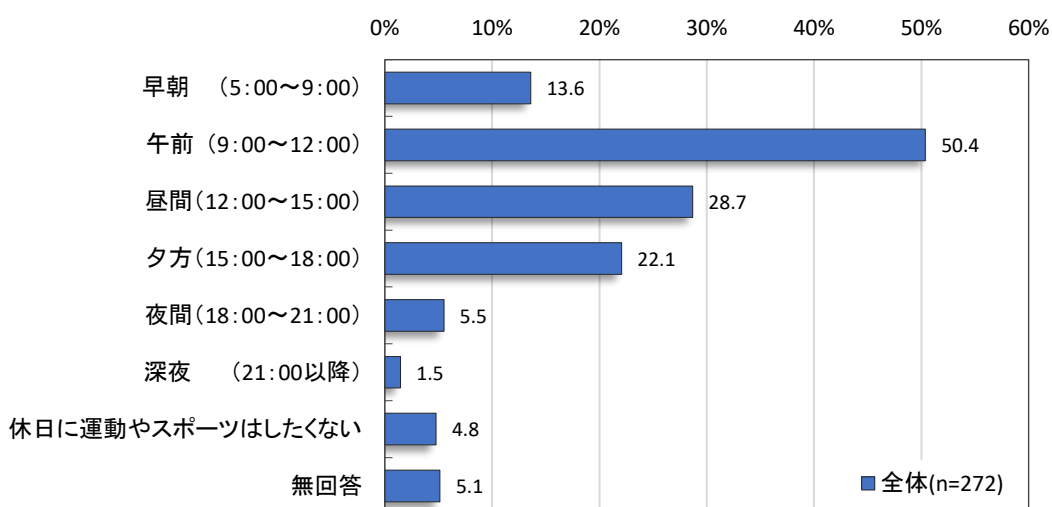
⑨ 問 20 今後やってみたい運動やスポーツは、おおよそどの時間帯にやりたいですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(2)休日(勤務や学業のない日)

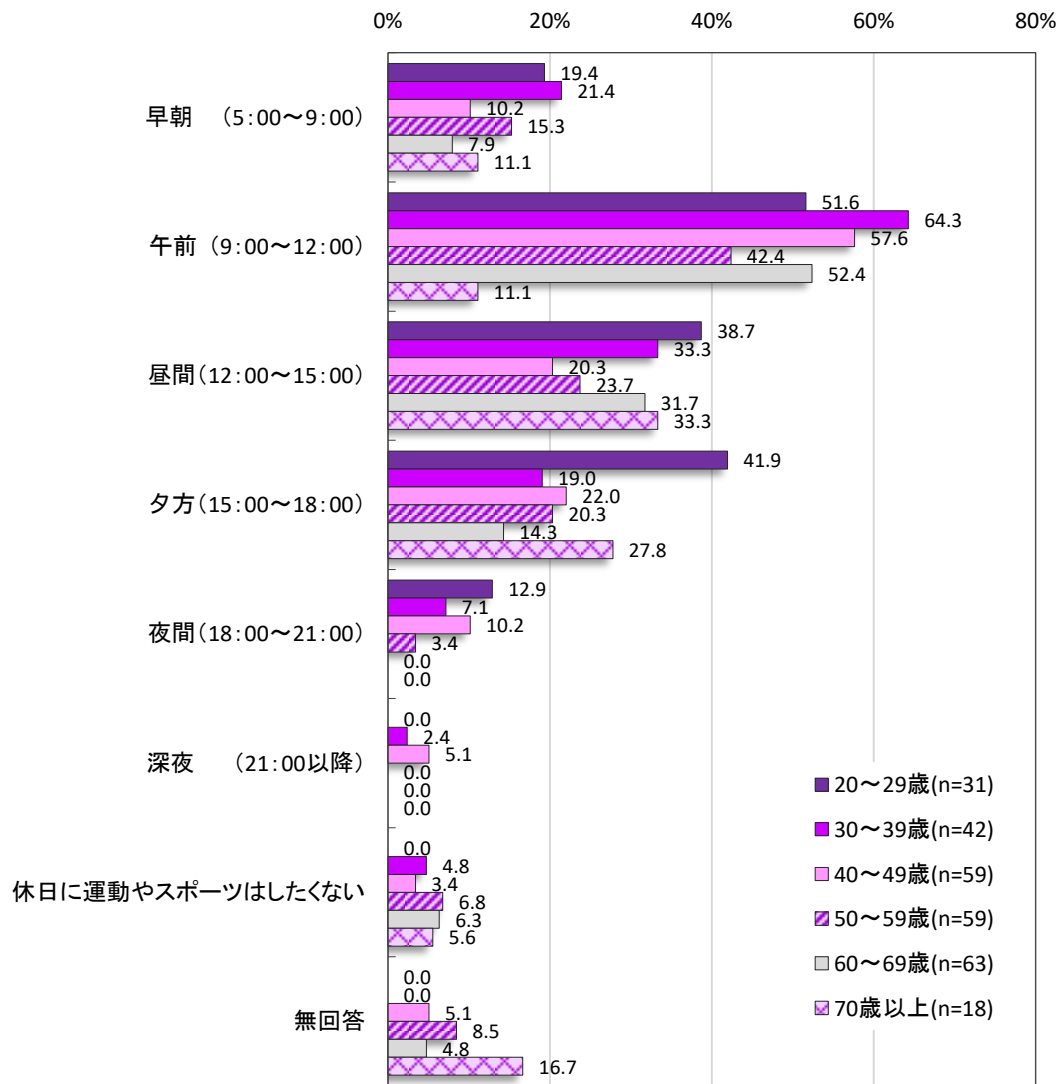
今後やってみたい運動やスポーツは、休日のおおよそどの時間帯にやりたいかについては、「午前」の割合が50.4%で5割以上となり突出して高くなっている。また、「休日に運動やスポーツはしていない」の割合は4.8%となっている。

男女別にみると、いずれも「午前」(男性44.7%、女性53.0%)の割合が最も高くなっており、この割合は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、60～69歳までの各年代では「午前」の割合が最も高く、70歳以上では「昼間」の割合が最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます

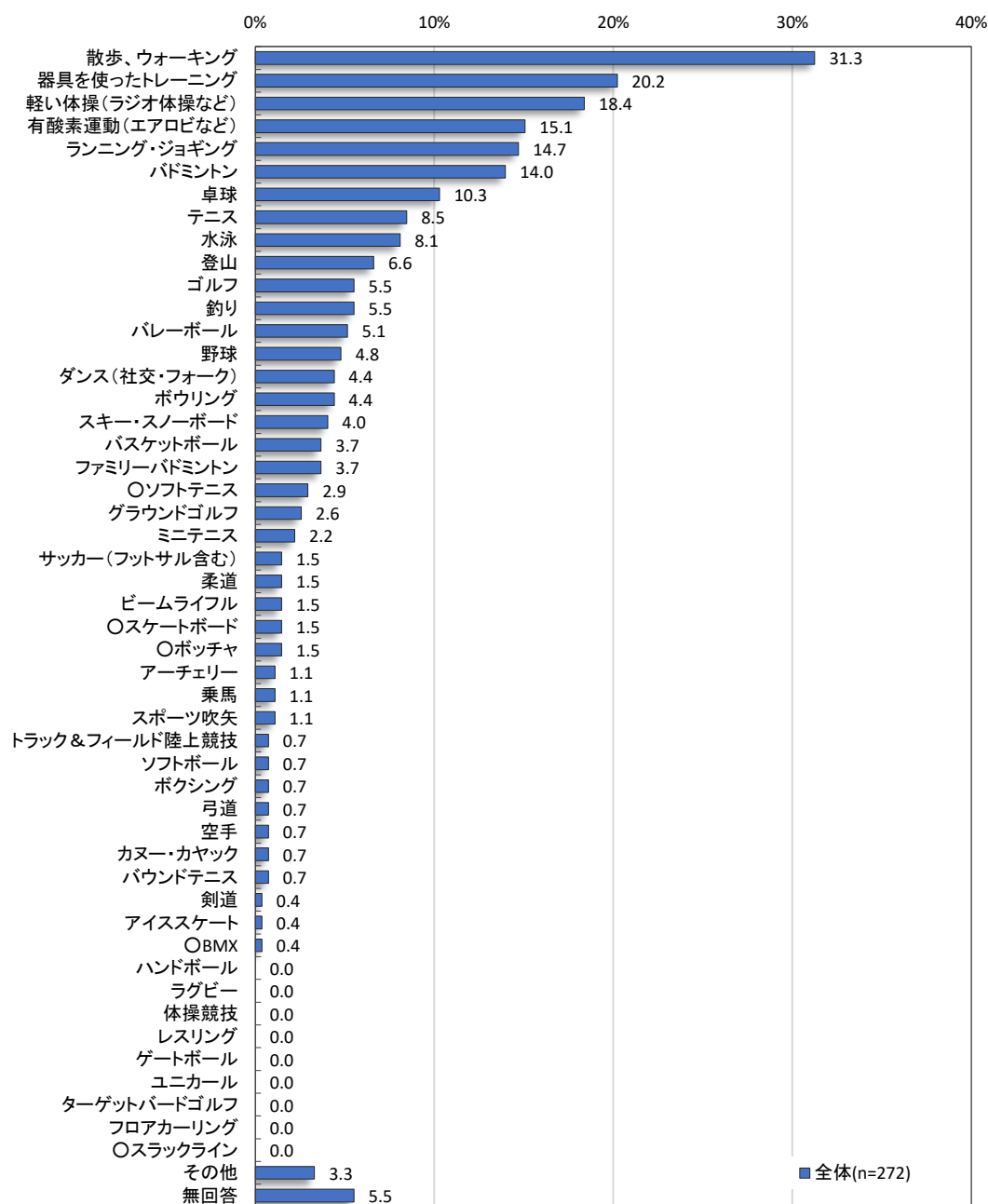


問 21 今後やってみたい運動やスポーツについて伺います。

(1) 今後やってみたい種目(主なもの3つまで)

今後やってみたい運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」(31.3%)が最も高い割合となり、次いで「器具を使ったトレーニング」(20.2%)が続き、以下は「軽い体操(ラジオ体操など)」(18.4%)、「有酸素運動(エアロビなど)」(15.1%)が続いている。

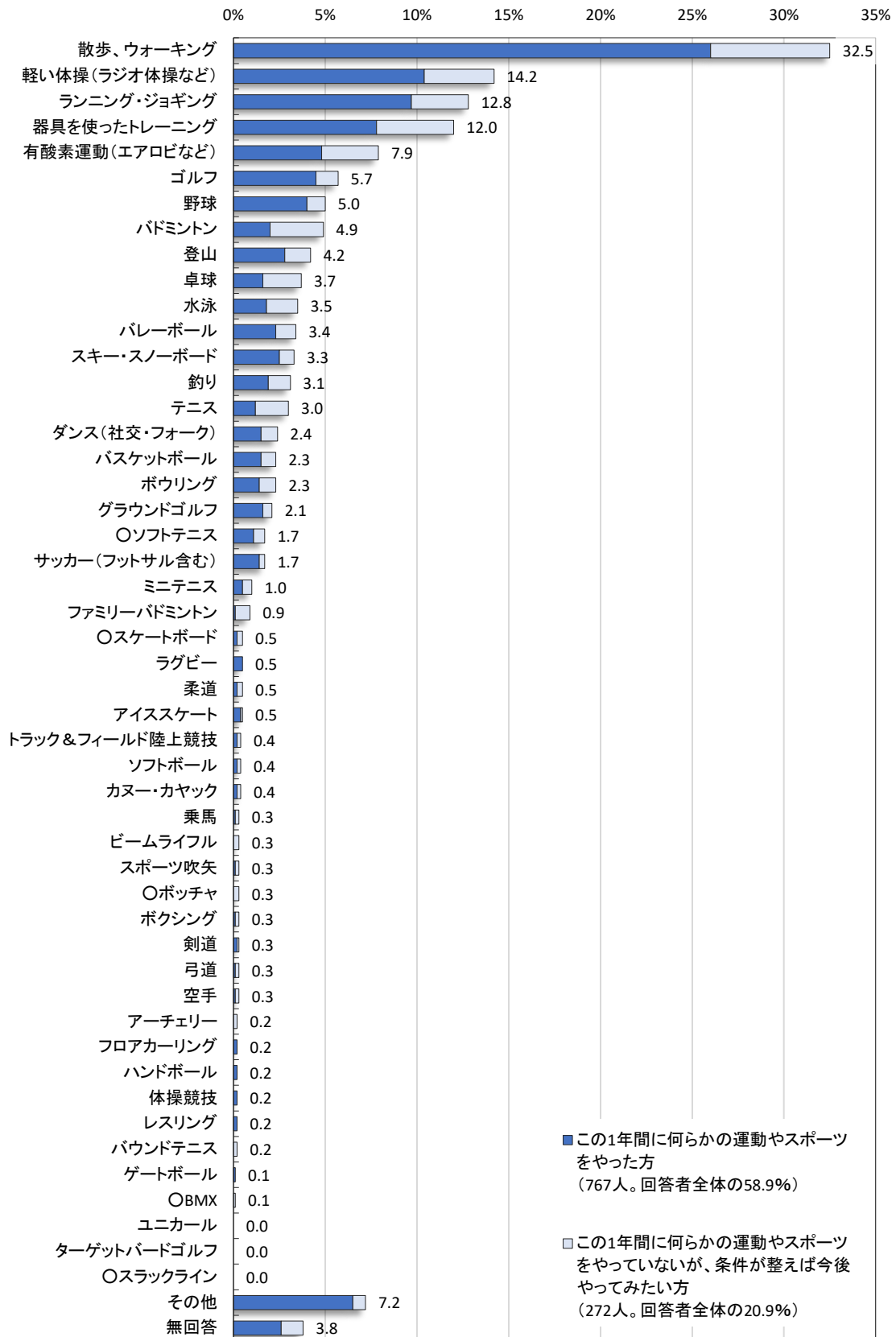
順位や割合の違いはあるものの、上位5項目には、問13(1)と同様の種目がランクインしている。



--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

この1年間に運動等を行った方および今後やってみたいと考えている人の割合(種目別)  
 [ 回答者全体比(n=1303) ]

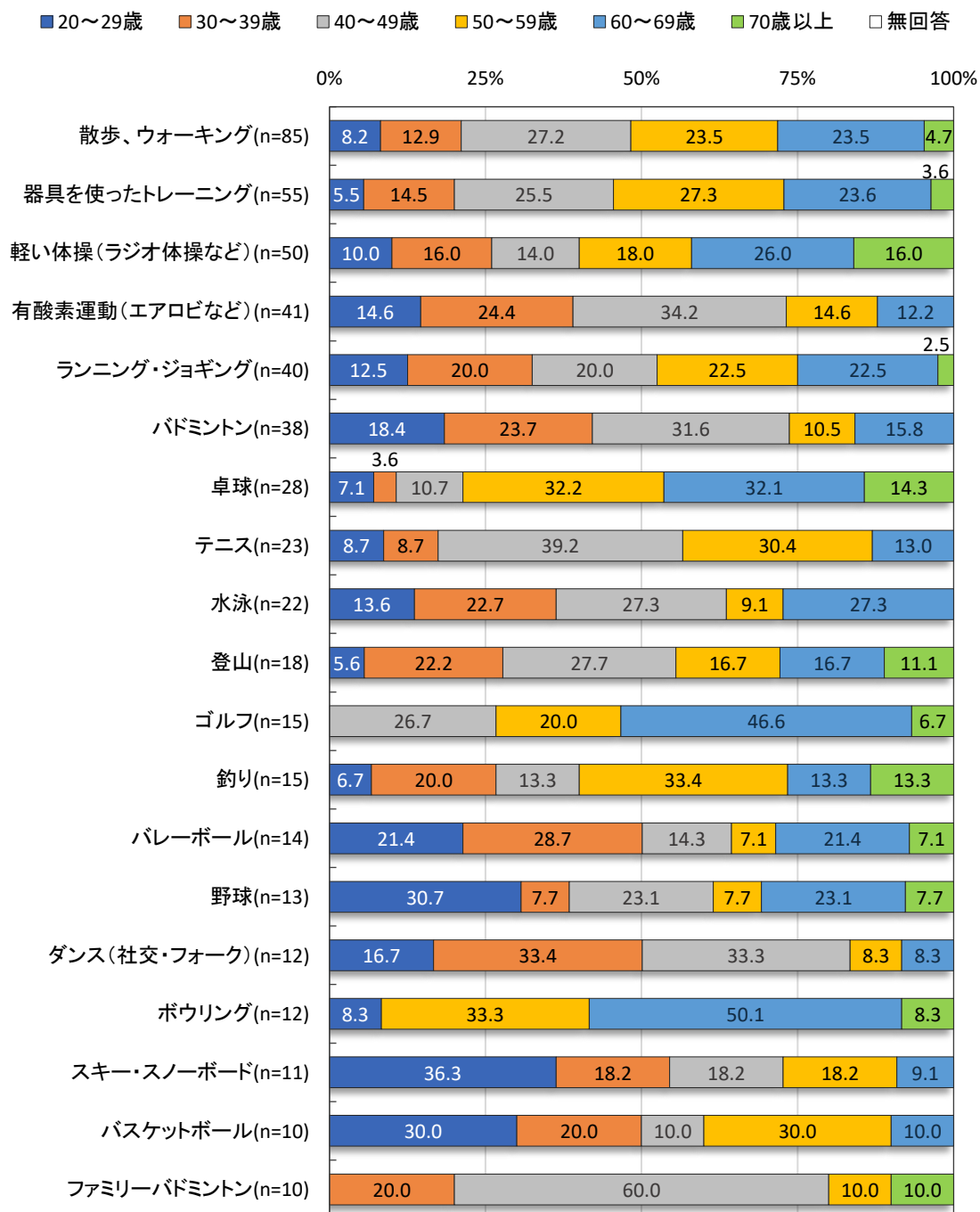


※ この1年間に何らかの運動やスポーツをやっておらず、今後について「やってみたいくない」「わからない」と答えた方は、254人(回答者全体の19.5%)であった。

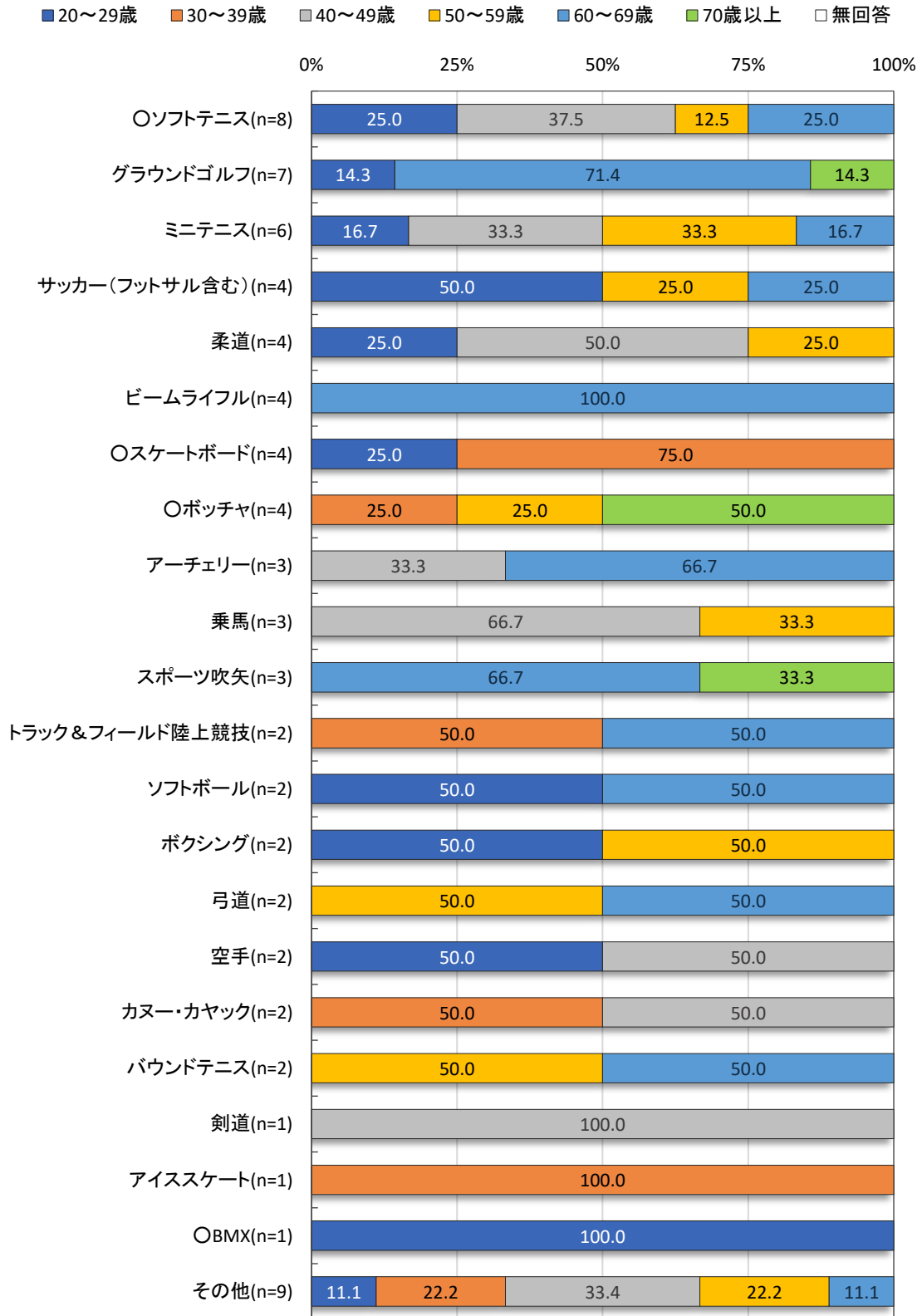
問 21 今後やってみたい運動やスポーツについて伺います。

(1) 今後やってみたい種目(主なもの3つまで) より、種目別競技希望者年齢

今後やってみたい運動やスポーツの種目別に競技希望者の年齢をみると、競技希望者数が最も多い「散歩、ウォーキング」では、「40～49歳」の割合が27.2%で最も高く、これに「50～59歳」と「60～69歳」が各23.5%と同率で続いている。



⇒ グラフは次頁に続きます

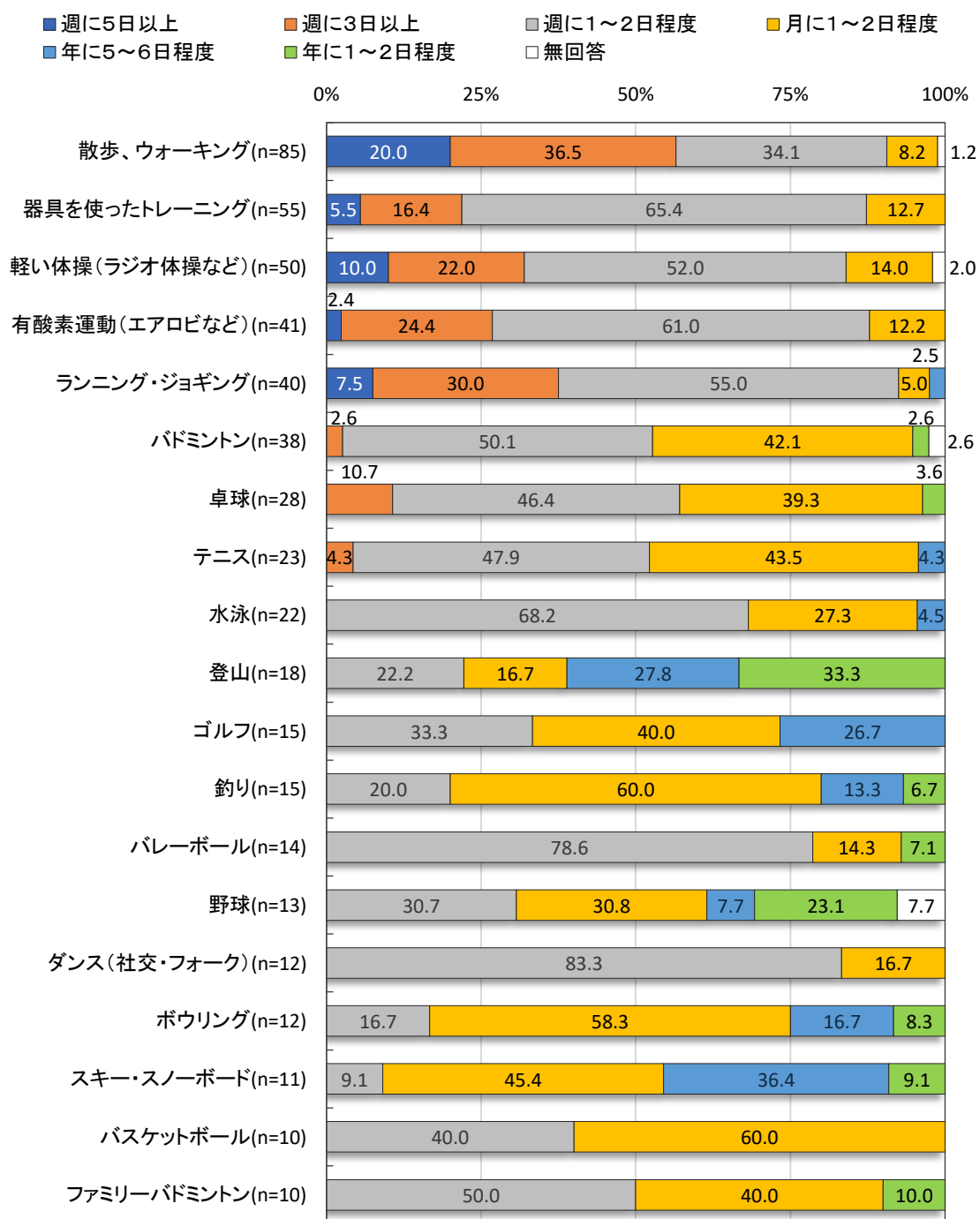


----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
 H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

問 21 今後やってみたい運動やスポーツについて伺います。

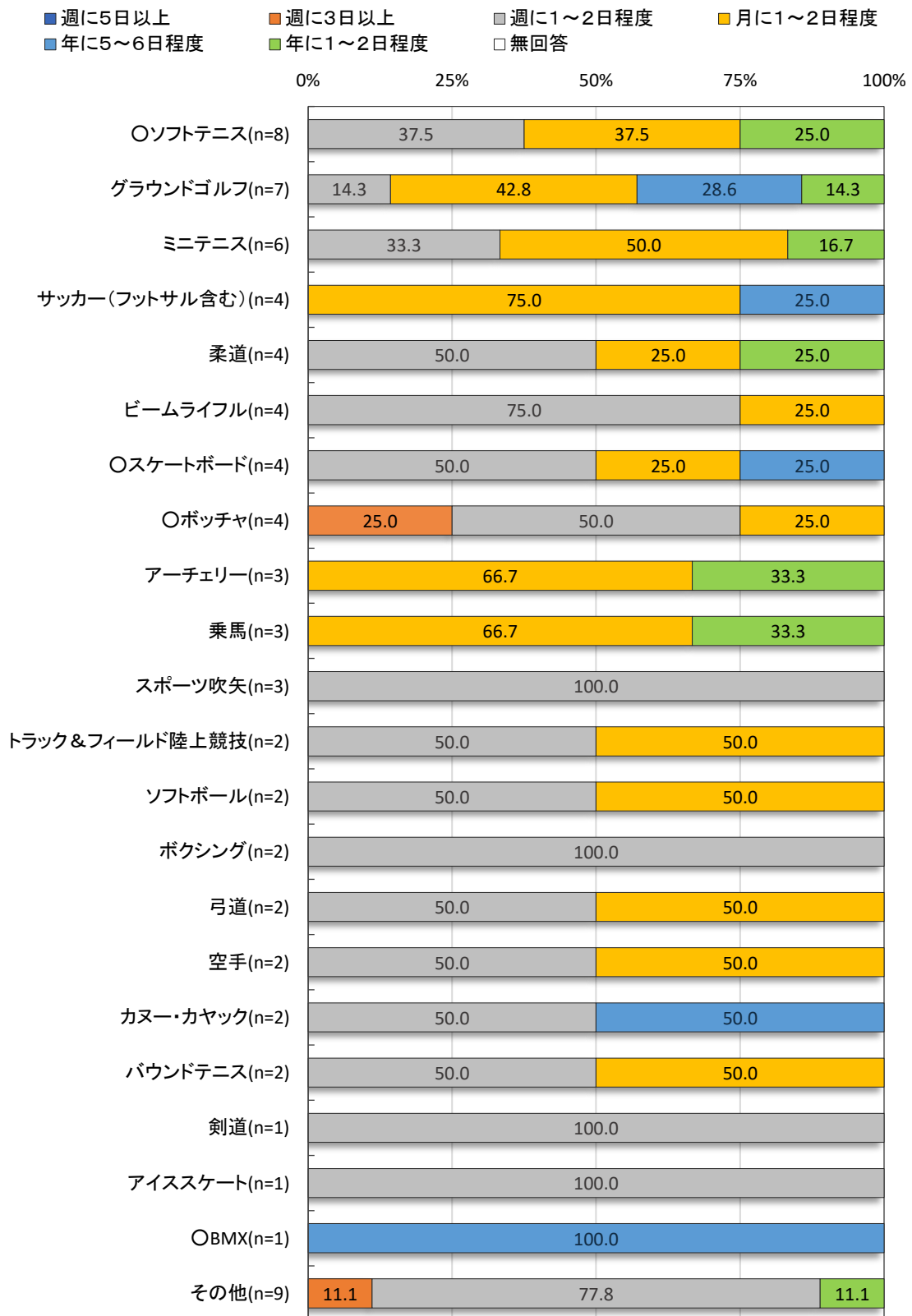
(2)どのくらい実施したいか ((1)で回答した種目ごとに、おおよその実施回数に1つ〇)

今後やってみたい運動やスポーツをどのくらい実施したいかについては、「散歩、ウォーキング」では「週に3日以上」(36.5%)が3割台で最も割合が高くなった一方、「器具を使ったトレーニング」や「軽い体操(ラジオ体操など)」、「有酸素運動(エアロビ等)」などその他の上位項目では、「週に1~2日程度」の割合が5割以上と高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



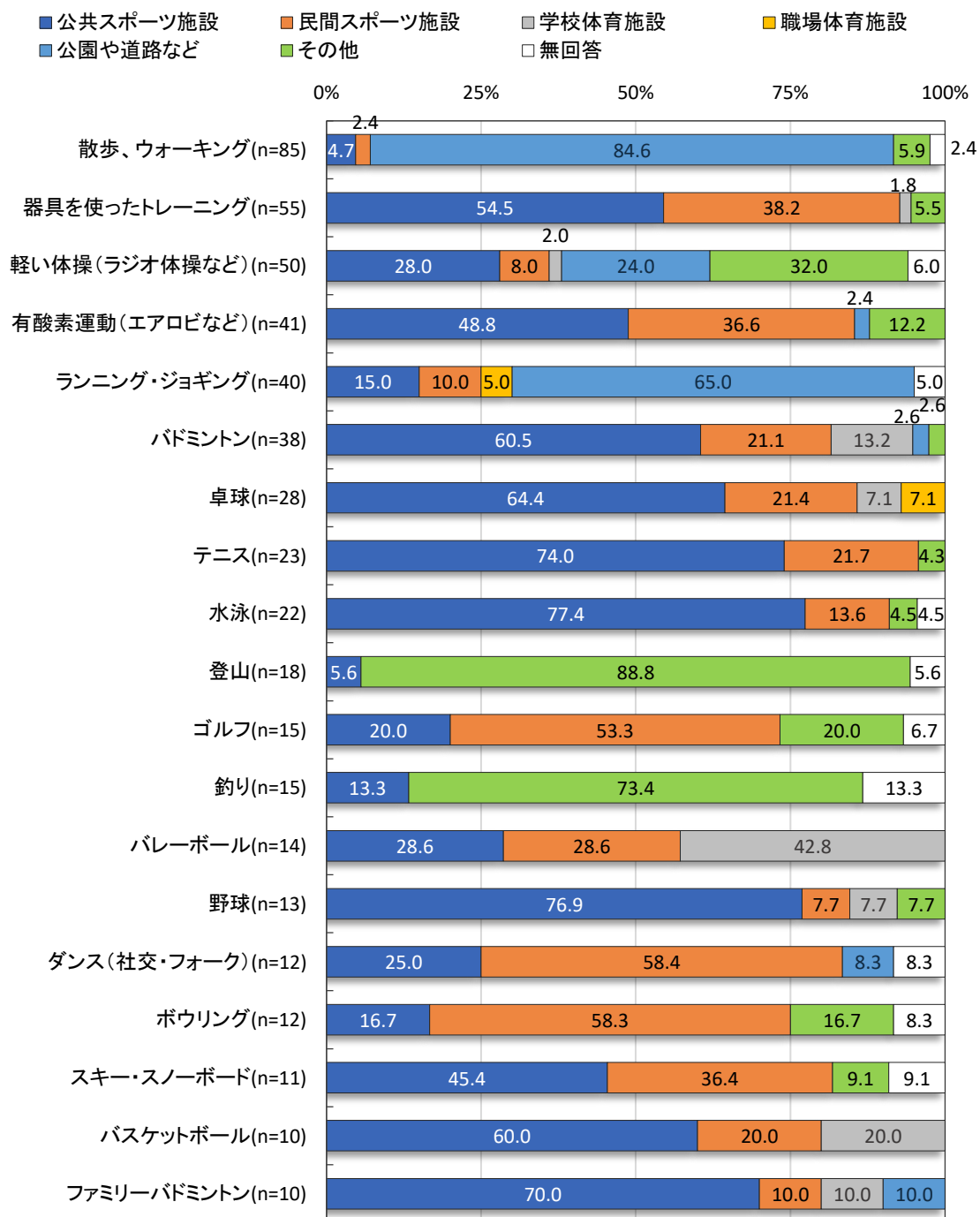


----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
 H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。  
 -----

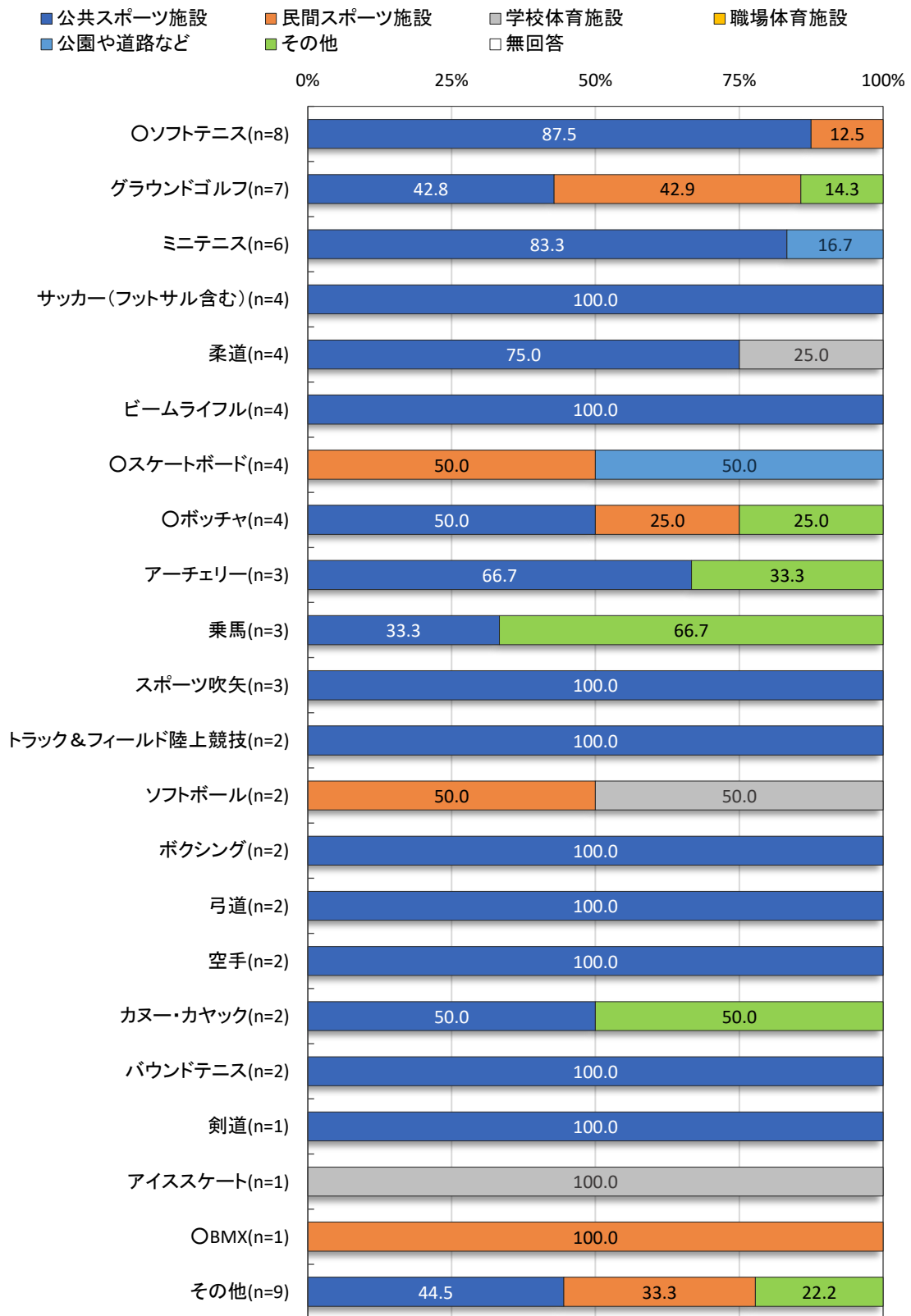
問 21 今後やってみたい運動やスポーツについて伺います。

(3) どんな場所で実施したいか ((1)で回答した種目ごとに、主な実施場所に1つ〇)

今後やってみたい運動やスポーツをどんな場所で実施したいかについては、「散歩、ウォーキング」では「公園や道路など」が84.6%で最も割合が高くなったほか、「器具を使ったトレーニング」では「公共スポーツ施設」(54.5%)、「軽い体操(ラジオ体操など)」では「その他」(32.0%)の割合が最も高くなっており、実施したい場所については種目により違いが見られた。



⇒ グラフは次頁に続きます



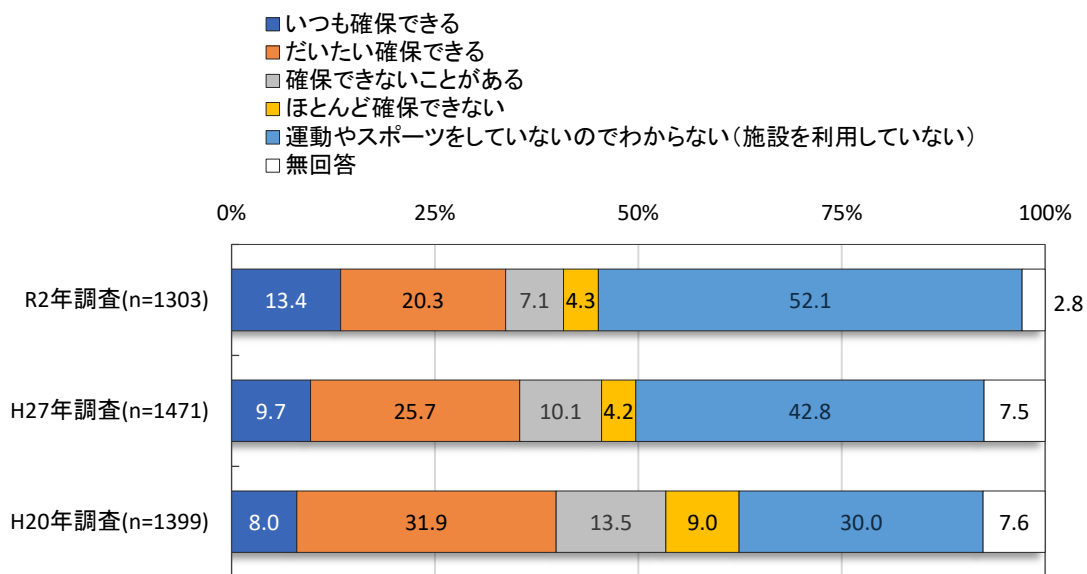
----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
 H27年調査と今回調査では、回答件数が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

#### (4) 秋田市にあるスポーツ施設について

問 22 あなたが運動やスポーツをするにあたって、施設や場所はどの程度確保(予約)できていますか？(当てはまる番号1つに○)

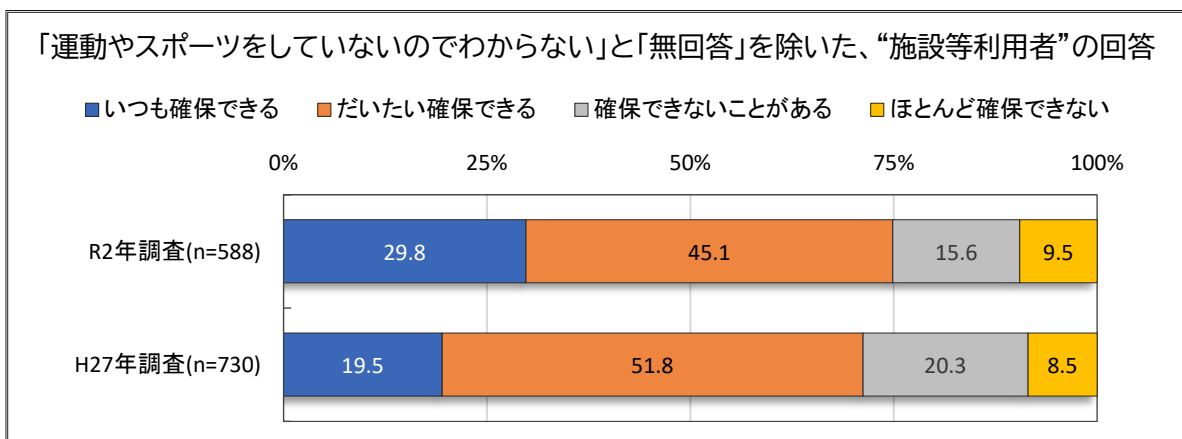
運動やスポーツをするにあたって、施設や場所はどの程度確保(予約)できているかについては、「運動やスポーツをしていないのでわからない(施設を利用していない)」の割合が52.1%と5割以上を占め最も高くなっている。一方で、「いつも確保できる」(13.4%)と「だいたい確保できる」(20.3%)を合わせた“確保できる”の割合は33.7%となっており、この割合は前回調査に比べて1.7ポイント低下している。

施設等利用者限定した回答結果をみると、“確保できる”の割合は74.9%となり、前回調査(71.3%)に比べて3.6ポイント上昇している。



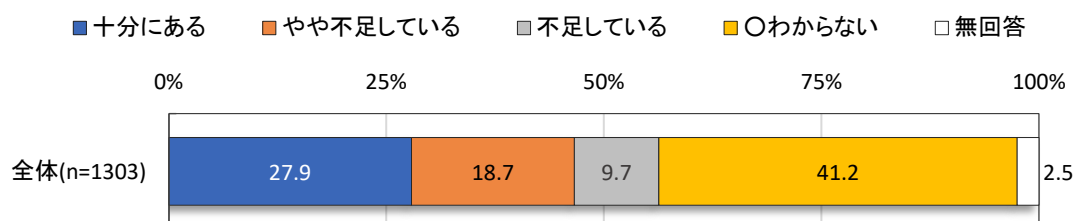
--- 過去調査と比較する上での注意点 ---

運動やスポーツをしていないのでわからない(施設を利用していない) : H27 および H20 年調査では、カッコ内の記載がなかった。



問 23 あなたの身近な場所に、運動やスポーツを気軽に楽しめる施設はありますか？(当てはまる番号 1 つに○)

身近な場所に、運動やスポーツを気軽に楽しめる施設はあるかについては、「わからない」の割合が 41.2%で最も高く、これに「十分にある」が 27.9%で続いた。「やや不足している」(18.7%)と「不足している」(9.7%)を合わせた“不足”の割合は 28.4%となり、「十分にある」(27.9%)を 0.5 ポイント上回っている。



----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
H27 年調査と今回調査では、選択肢の内容が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。  
-----

<問 23 で「2 やや不足している」「3 不足している」に○をつけた方に伺います。>

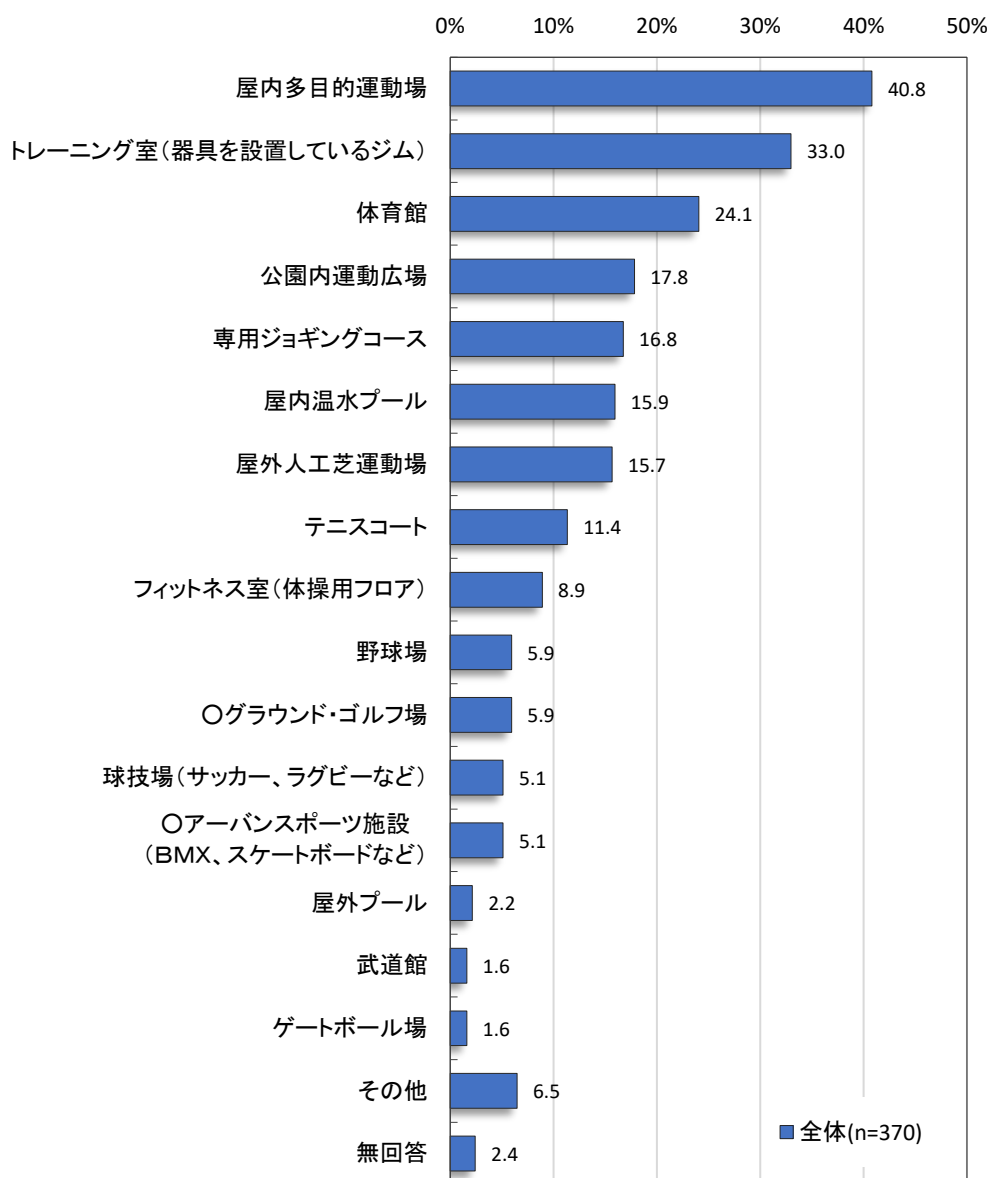
問 24 あなたが不足していると思うスポーツ施設は何ですか？現在あるものも含めて次の中から  
お選びください。(主なもの3つまでに○)

不足していると思うスポーツ施設については、「屋内多目的運動場」が 40.8%で最も割合が高く、次いで「トレーニング室(器具を設置しているジム)」が 33.0%で続き、以下は「体育館」(24.1%)、「公園内運動広場」(17.8%)などの順となっている。

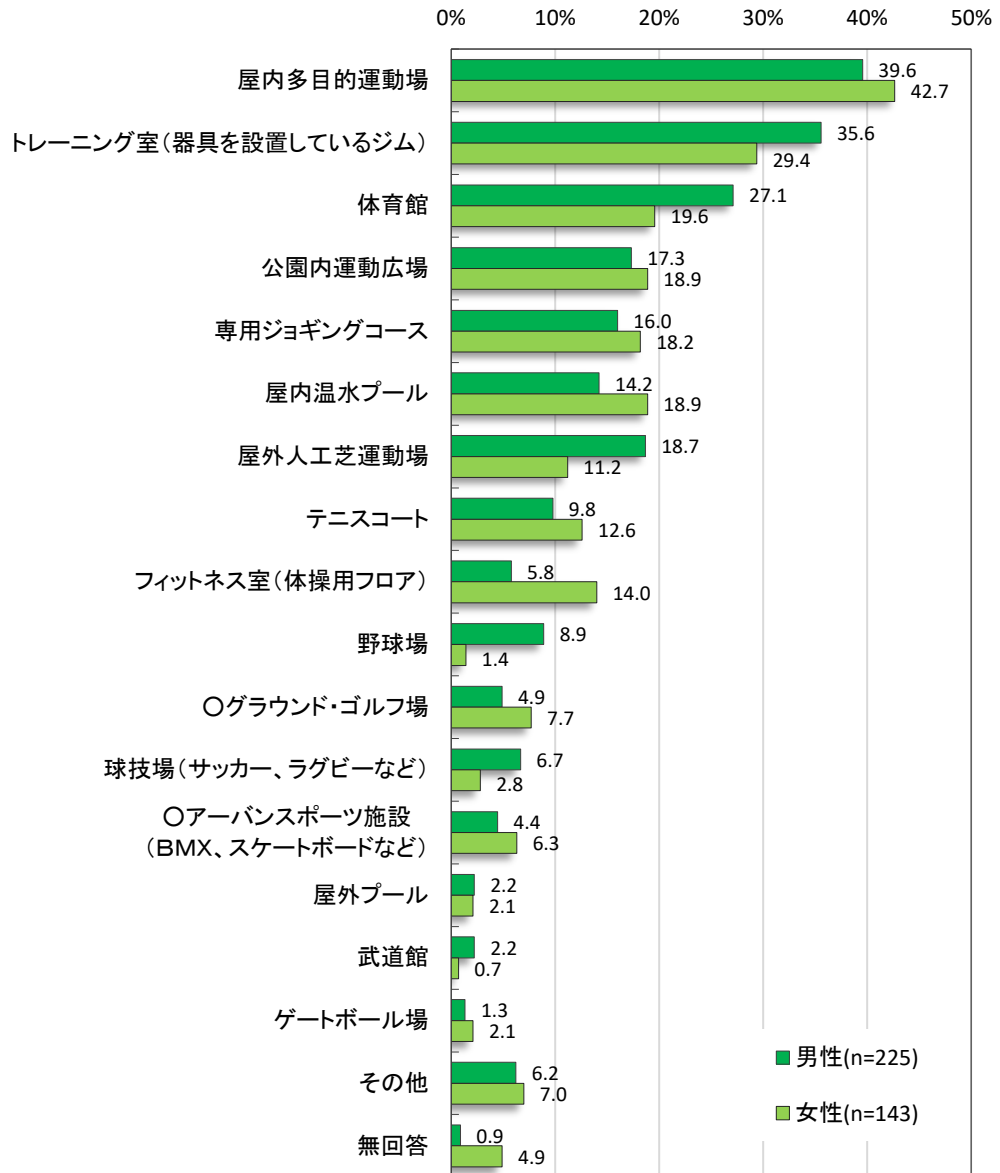
男女別にみると、いずれも「屋内多目的運動場」(男性 39.6%、女性 42.7%)の割合が最も高くなっており、この割合は女性の方が幾分高くなっている。

年齢別にみると、30～39歳では「トレーニング室(器具を設置しているジム)」の割合が最も高く、その他の年代ではいずれも「屋内多目的運動場」の割合が最も高くなっている。

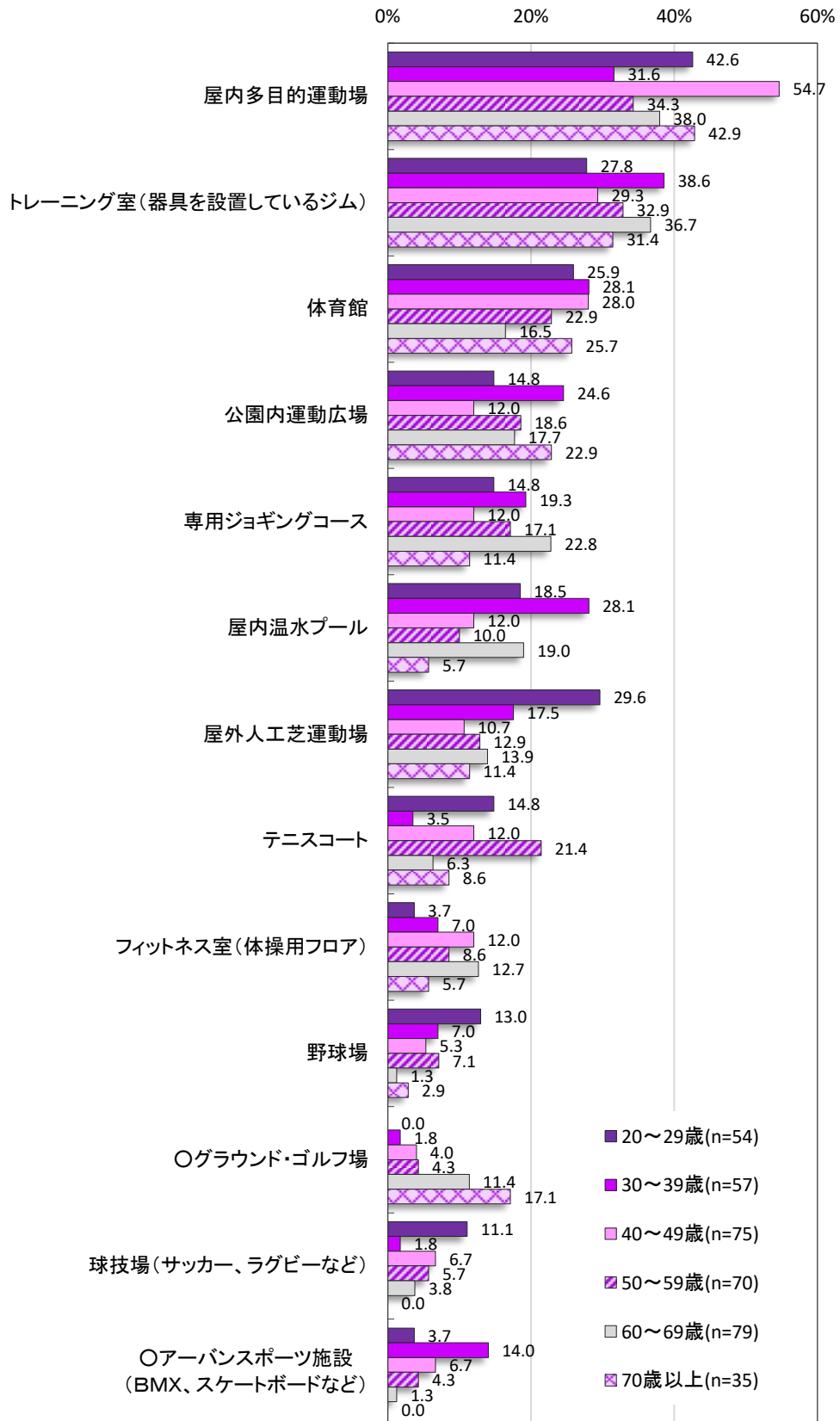
なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位2項目は前回(「屋内多目的運動場」36.0%、「トレーニング室(器具を使ったジム)」25.2%)と同様の順位となっている。



⇒ グラフは次頁に続きます

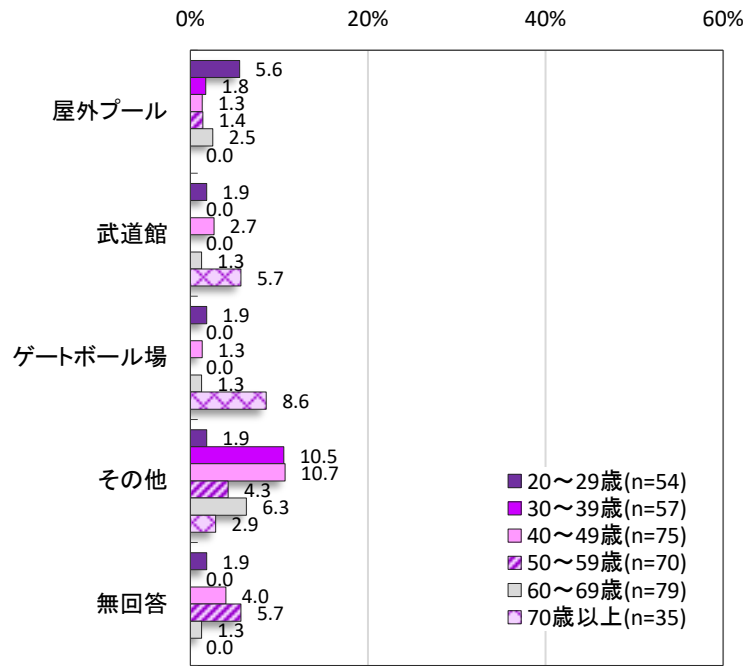


⇒ グラフは次頁に続きます



⇒ グラフは次頁に続きます





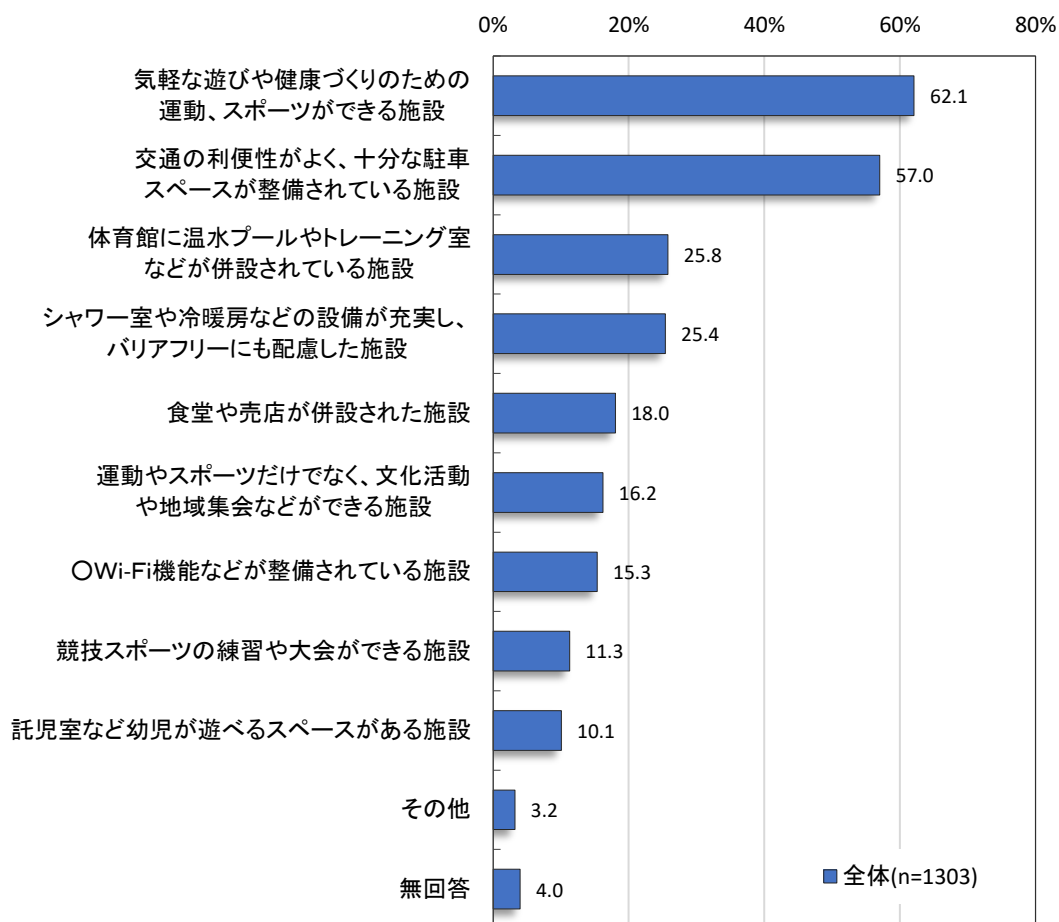
--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

H27年調査と今回調査では、回答者の限定条件が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

問 25 あなたは身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望みますか？  
(主なもの3つまでに○)

身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望むかについては、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」の割合が62.1%と6割以上で最も高く、次いで「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」(57.0%)が5割台で続き、この2項目の割合が特に高くなっている。以下は、「体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設」(25.8%)、「シャワー室や冷暖房などの設備が充実し、バリアフリーにも配慮した施設」(25.4%)が2割台で続いた。

なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位2項目は前回(「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる設備を有する施設」57.1%、「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」52.8%)と同様の順位となっている。



----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、選択肢の内容が異なり、また、今回選択肢が新設されているため。

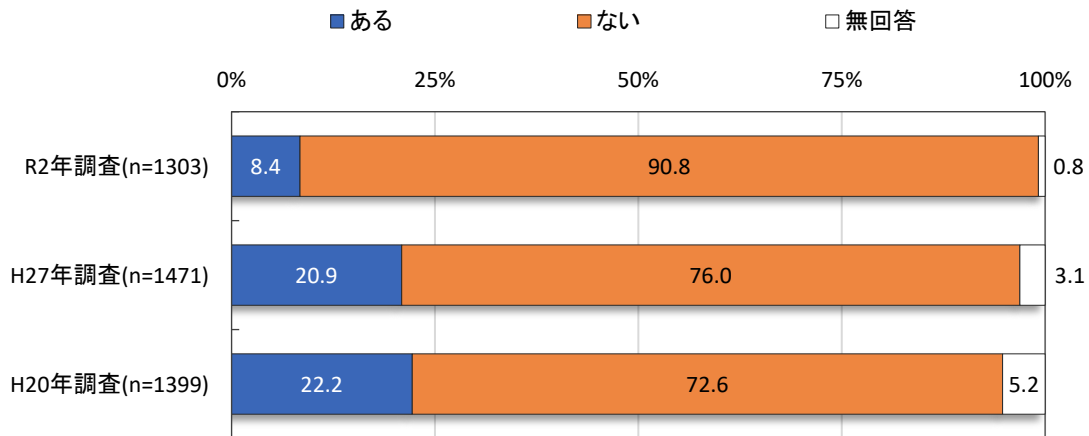
## (5) 秋田市等が主催するスポーツ・レクリエーション行事について

問 26 あなたは、この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことがありますか？(当てはまる番号1つに○)

この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことがあるかについては、「ない」が90.8%と9割以上を占めた一方、「ある」の割合は8.4%と1割未満の低い割合となった。「ある」の割合は前回調査(20.9%)に比べて12.5ポイント低下している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性で10.2%、女性で6.8%と、男性の方が幾分高くなっている。

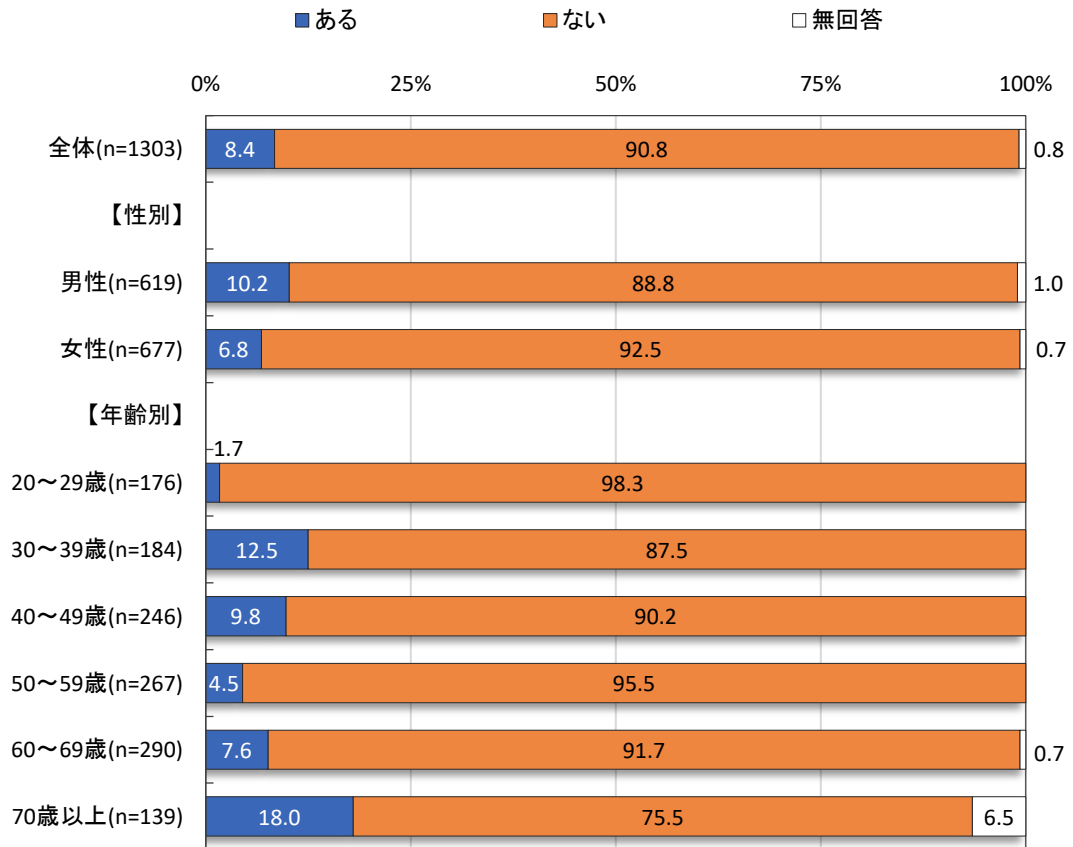
年齢別にみると、「ある」の割合は30～39歳(12.5%)と70歳以上(18.0%)で1割台となった一方、その他の年代ではいずれも1割以下未満となっている。



----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

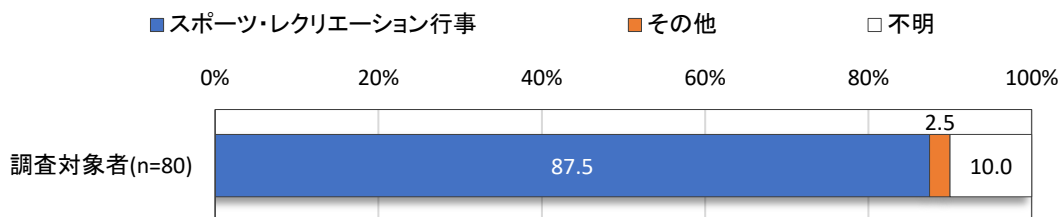
設問文章：H20年調査では「あなたは、この1年間に秋田市や各地域、町内会やPTAなどが開催した運動やスポーツ・レクリエーションを目的とした行事に参加したことがありますか」となっていた。

⇒ グラフは次頁に続きます



問 26 あなたは、この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことがありますか？  
「1 ある」に○をつけた方の、参加した行事（自由記述）

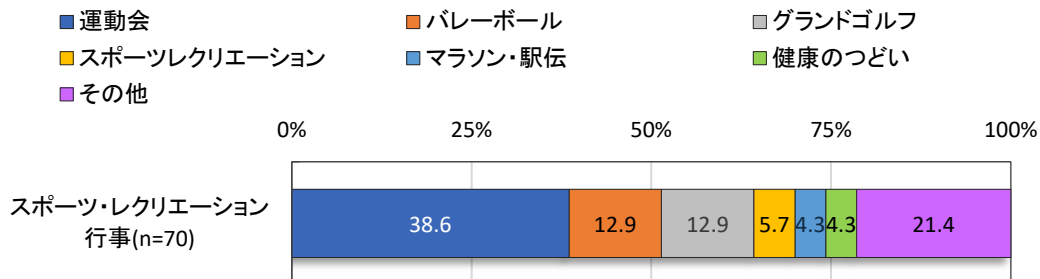
この1年間に参加した秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事について、本設問の調査対象者80名の回答を整理すると、「スポーツ・レクリエーション行事」が87.5%と8割以上の高い割合を占め、「その他」は2.5%と極めて低い割合となっている。



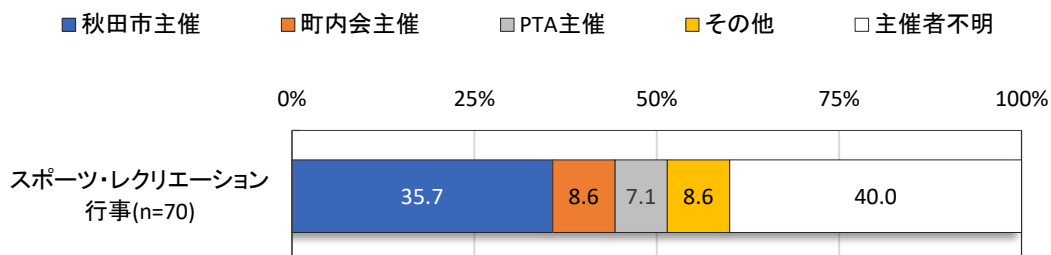
「スポーツ・レクリエーション行事」に参加した人の参加した行事の内容をみると（「その他」を除く）、「運動会」が38.6%で最も割合が高く、これに「バレーボール」と「グラウンドゴルフ」が各12.9%で続いている。

また、行事の主催者については、「秋田市主催」(35.7%)が最も高い割合となっている。

#### 【行事の内容】



#### 【行事の主催者】



<問 27 と問 28 は、問 26 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

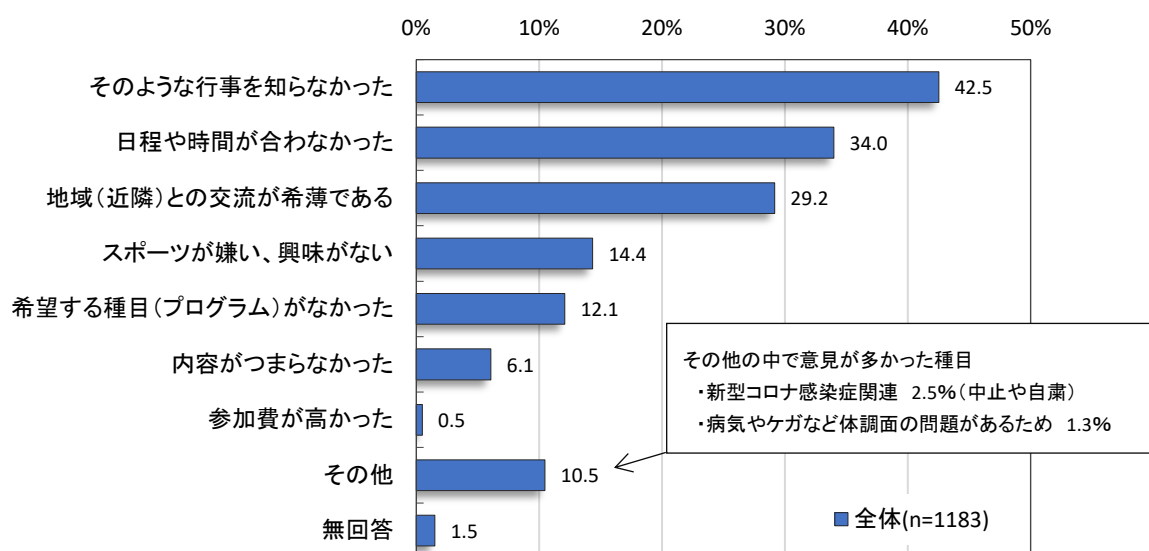
問 27 なぜ参加しなかったのですか？(主なもの3つまでに○)

なぜ参加しなかったかについては、「そのような行事を知らなかった」の割合が 42.5%で最も高く、次いで「日程や時間が合わなかった」(34.0%)が続き、以下は「地域(近隣)との交流が希薄である」(29.2%)、「スポーツが嫌い、興味がない」(14.4%)、「希望する種目(プログラム)がなかった」(12.1%)などの順となった。

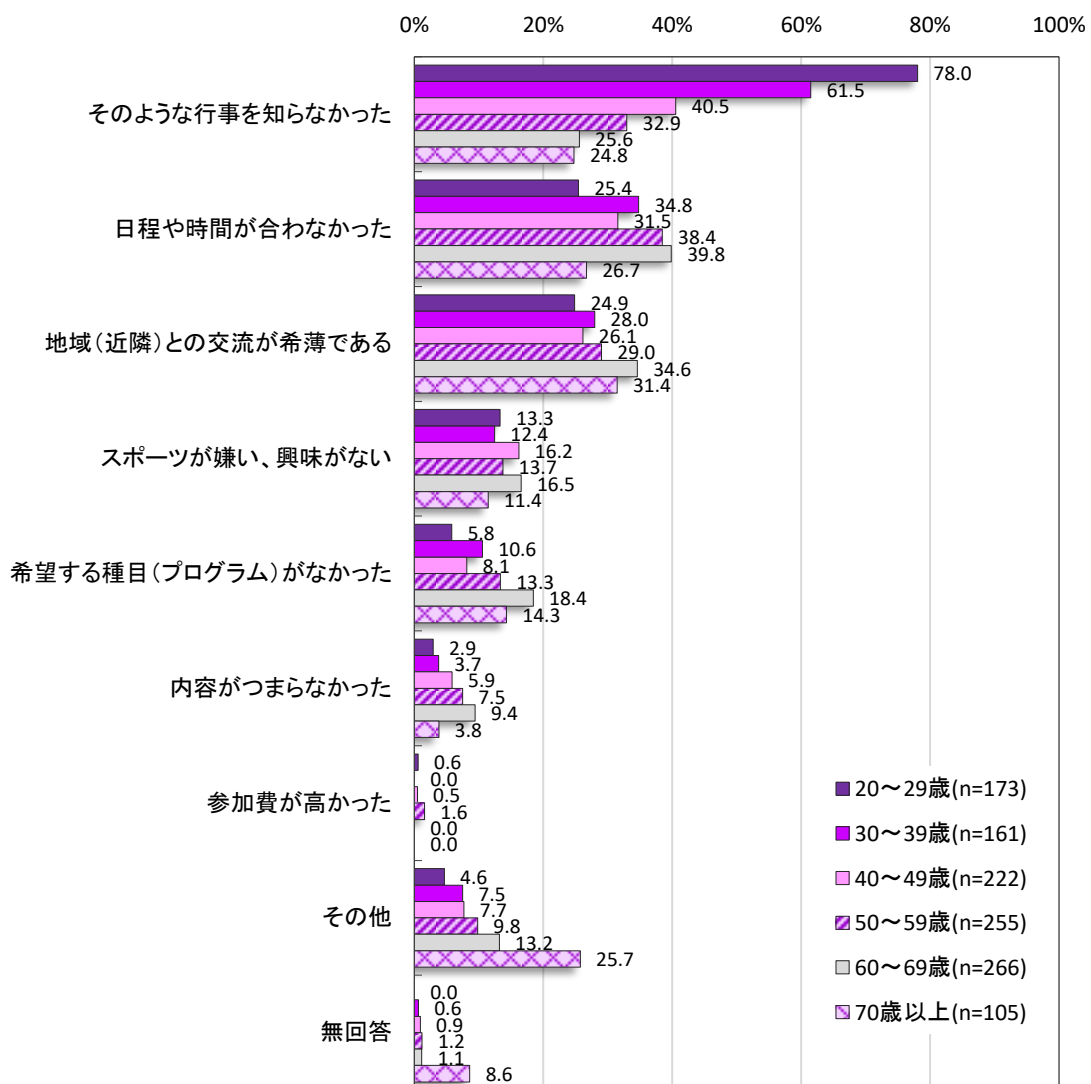
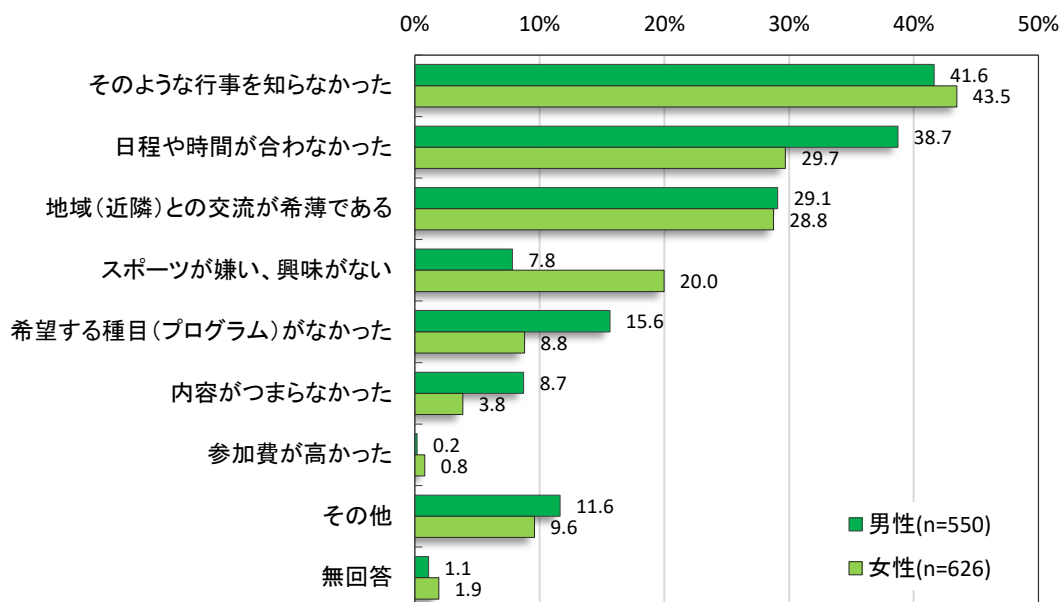
男女別にみると、いずれも「そのような行事を知らなかった」(男性 41.6%、女性 43.5%)の割合が4割台で最も高くなっている。

年齢別にみると、40～49歳までの各年代では「そのような行事を知らなかった」、50～59歳と60～69歳では「日程や時間が合わなかった」、70歳以上では「地域(近隣)との交流が希薄である」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位3項目は前回(「日程や時間が合わなかった」36.6%、「地域との交流が希薄である(わずらわしい)」26.7%、「そのような行事を知らなかった」26.0%)と同様の項目ながら、順位には違いが見られた。



⇒ グラフは次頁に続きます



--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

H27年調査と今回調査では、回答個数が異なるため。

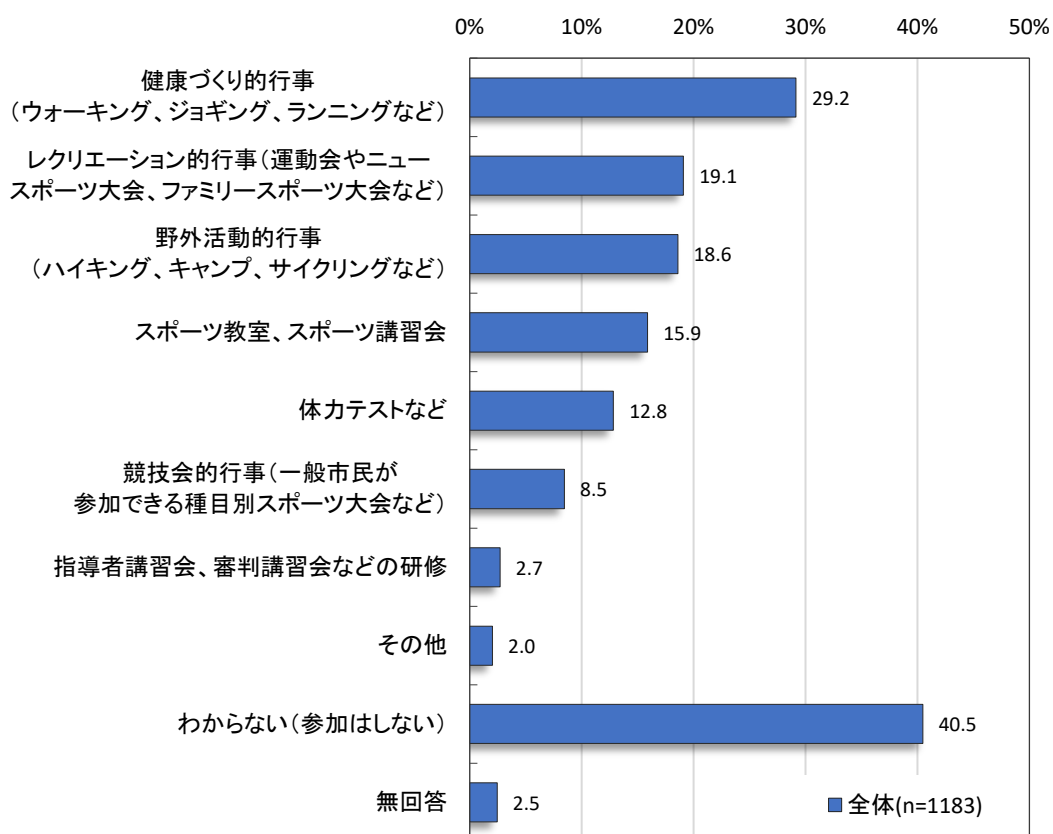
問 28 今後、秋田市や各地域などでスポーツ行事が開催される場合、どのような行事に参加したいと思いますか？(主なもの3つまでに○)

今後、秋田市や各地域などでスポーツ行事が開催される場合、どのような行事に参加したいと思うかについては、「健康づくり的行事」の割合が 29.2%と 3 割近くで最も高く、次いで「レクリエーション的行事」(19.1%)が続き、以下は「野外活動的行事」(18.6%)、「スポーツ教室、スポーツ講習会」(15.9%)などの順となった。一方、「わからない(参加はしない)」の割合は 40.5%と 4 割となった。

男女別にみると、いずれも「健康づくり的行事」(男性 30.7%、女性 27.6%)の割合が最も高く、この割合は男性の方で幾分高くなっている。

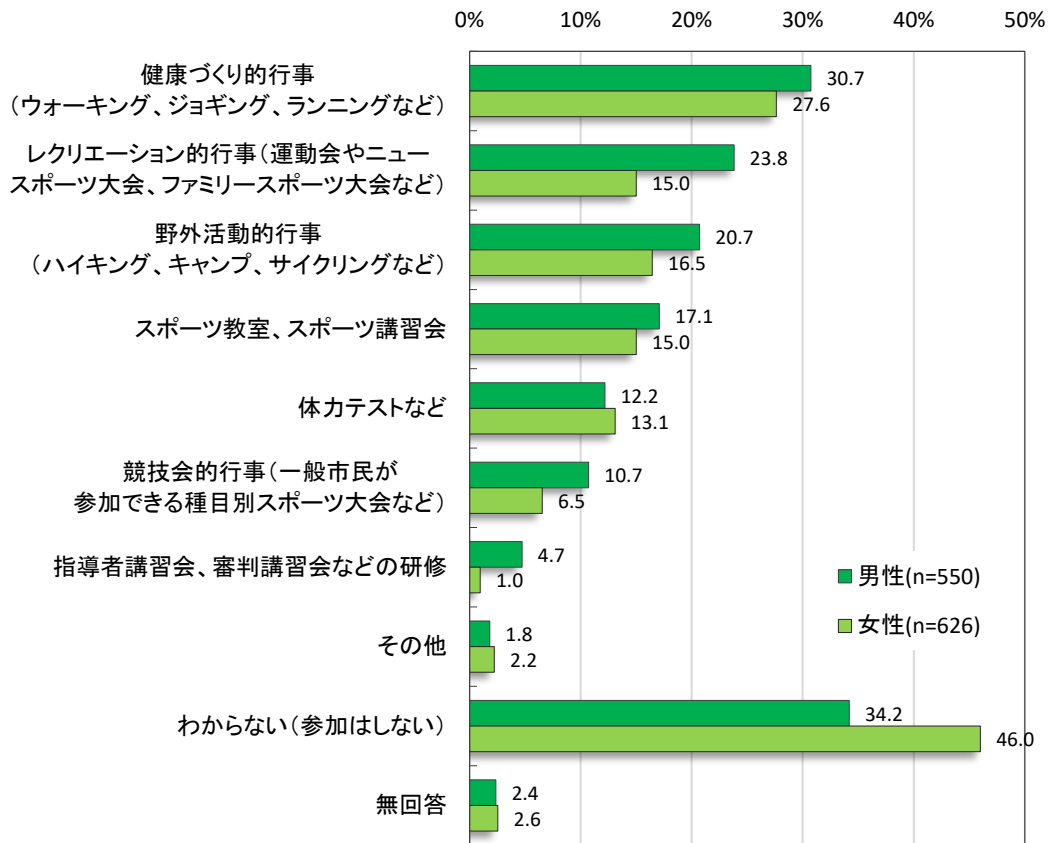
年齢別にみると、20～29 歳と 30～39 歳では「レクリエーション的行事」の割合が最も高く、その他の年代では、「健康づくり的行事」の割合が最も高くなっている。

なお、前回調査と単純比較はできないものの、上位 3 項目については前回(「健康づくり的行事」32.1%、「野外活動的行事」16.9%、「体力テストなど」16.3%)との間で違いが見られた。

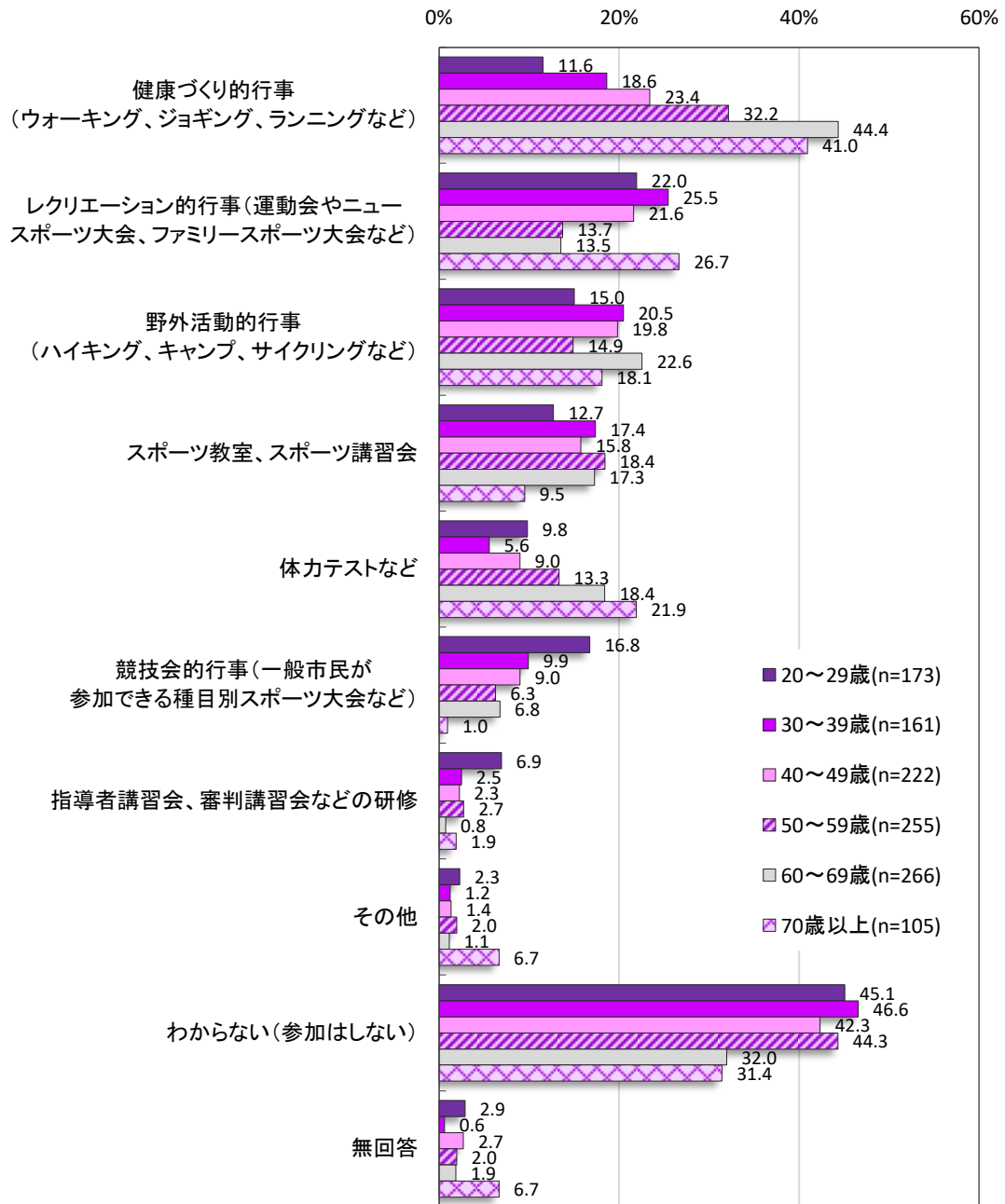


⇒ グラフは次頁に続きます





⇒ グラフは次頁に続きます



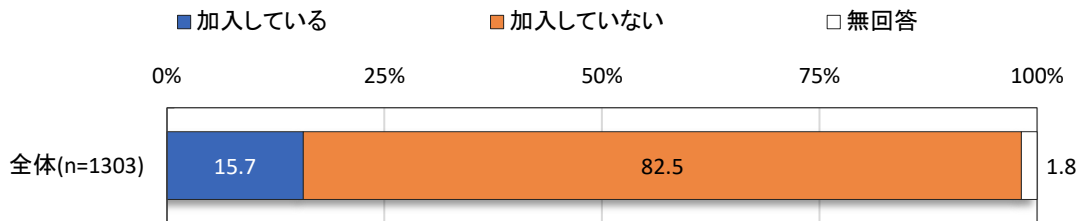
--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

H27年調査と今回調査では、回答個数が異なるため。

## (6) スポーツクラブや同好会などについて

問 29 あなたは、スポーツクラブや同好会、サークルに加入(参加)していますか？(当てはまる番号1つに○)

スポーツクラブや同好会、サークルに加入(参加)しているかについては、「加入していない」の割合が82.5%と8割台を占めた一方、「加入している」(15.7%)の割合は1割台となっている。

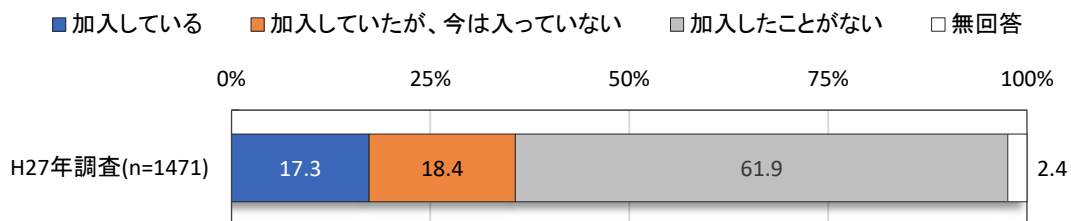


--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

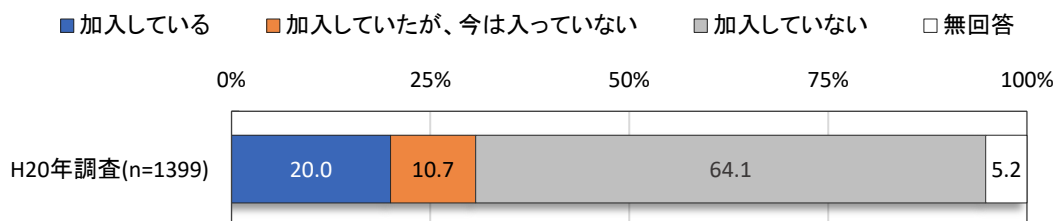
H27年調査と今回調査では、選択肢の内容が異なるため。

なお、H27年調査とH20年調査においても、選択肢の内容は異なっている。

### 《参考 前回調査結果》



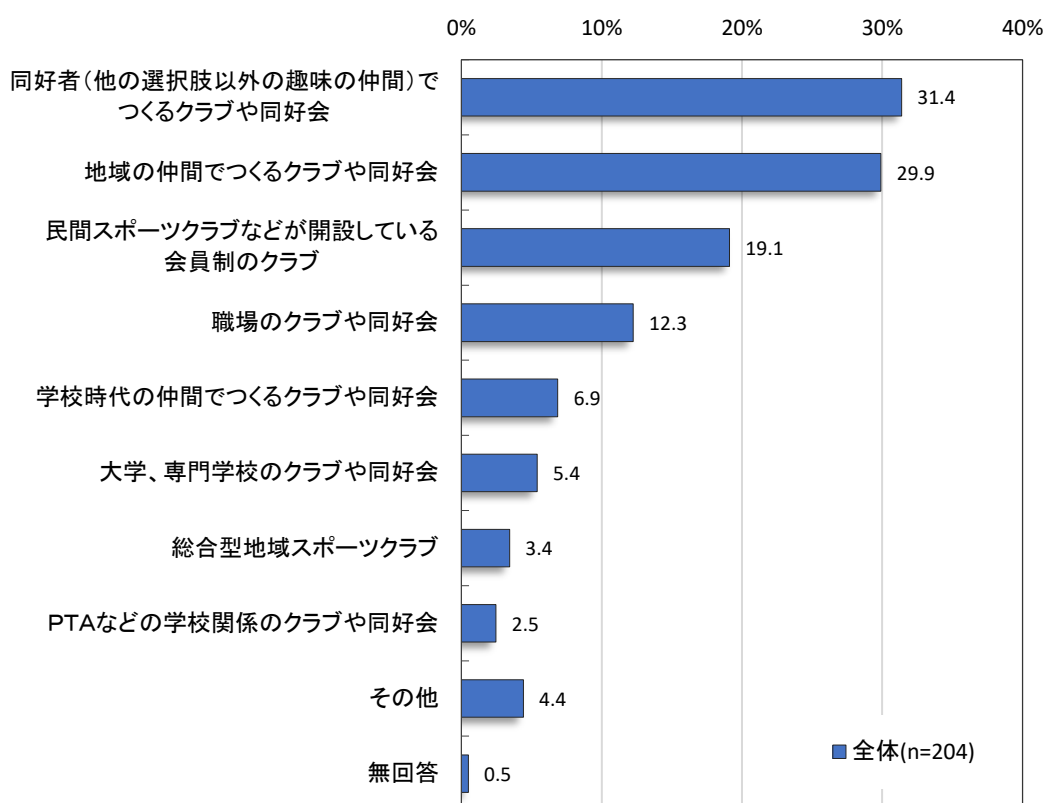
### 《参考 前々回調査結果》



<問 29 で「1 加入している」に○をつけた方に伺います。>

問 30 加入しているクラブや同好会、サークルは次のどれですか？(当てはまる番号すべてに○)

加入しているクラブや同好会、サークルについては、「同好者でつくるクラブや同好会」が 31.4%で最も高く、次いで「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が 29.9%で続き、以下は「民間スポーツクラブなどが開設している会員制のクラブ」(19.1%)、「職場のクラブや同好会」(12.3%)などの順となっている。



----- 前回調査との比較を行わない理由 -----

H27年調査と今回調査では、回答者の限定方法が異なるため。

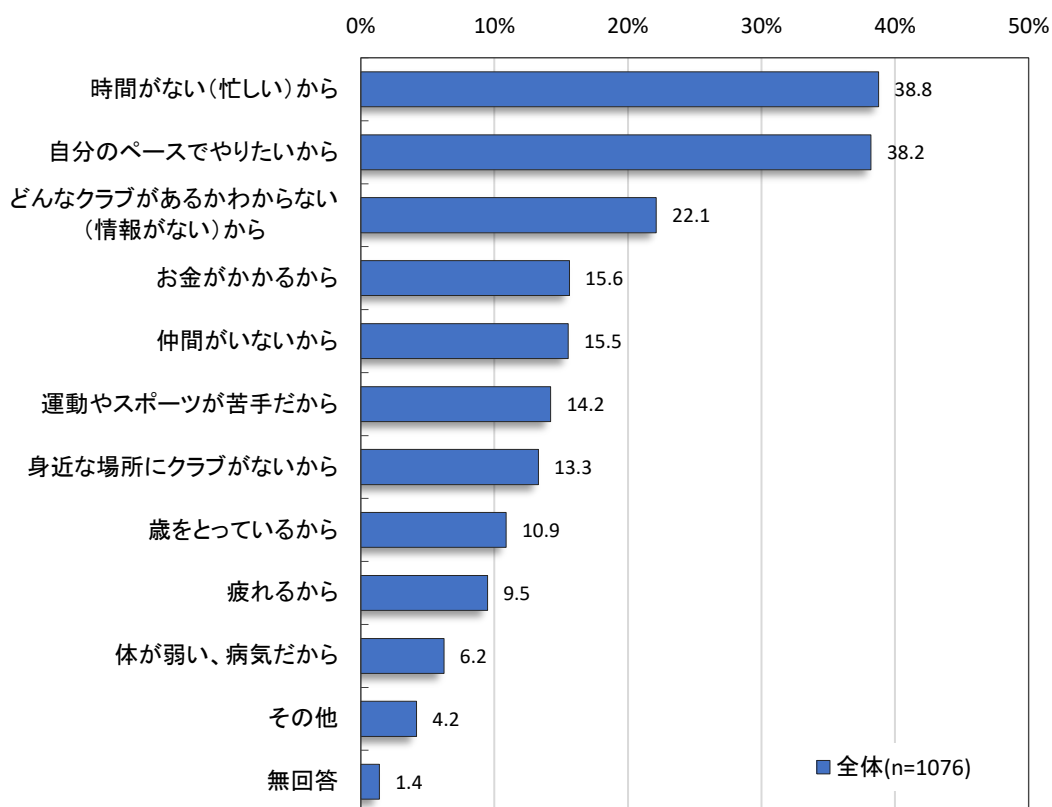
<問 29 で「2 加入していない」に○をつけた方に伺います。>

⑨ 問 31 加入していない理由は何ですか？(主なもの3つまでに○)

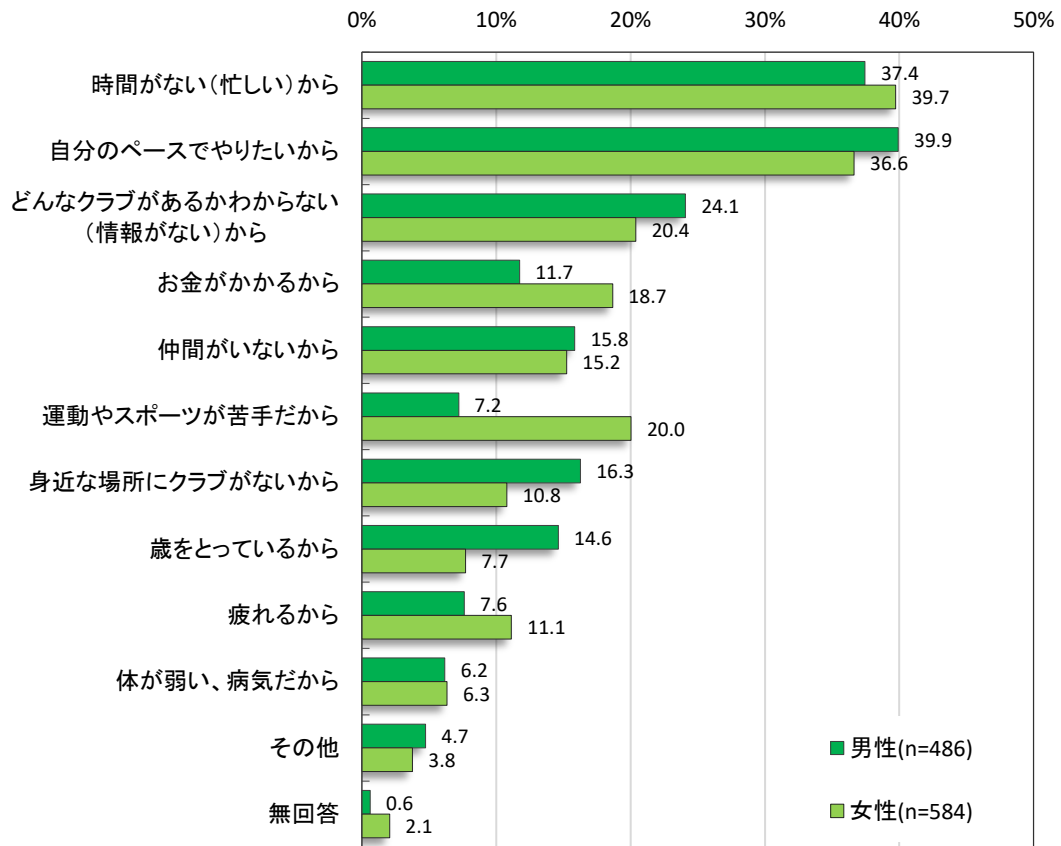
加入していない理由については、「時間がない(忙しい)から」が38.8%で最も割合が高く、次いで「自分のペースでやりたいから」が38.2%とほぼ同様の割合で続き、この2つが4割近くと突出して高い割合となっている。以下は、「どんなクラブがあるかわからない(情報がない)から」(22.1%)、「お金がかかるから」(15.6%)などの順となった。

男女別にみると、男性では「自分のペースでやりたいから」(39.9%)の割合が最も高くなった一方、女性では「時間がない(忙しい)から」(39.7%)の割合が最も高くなっている。

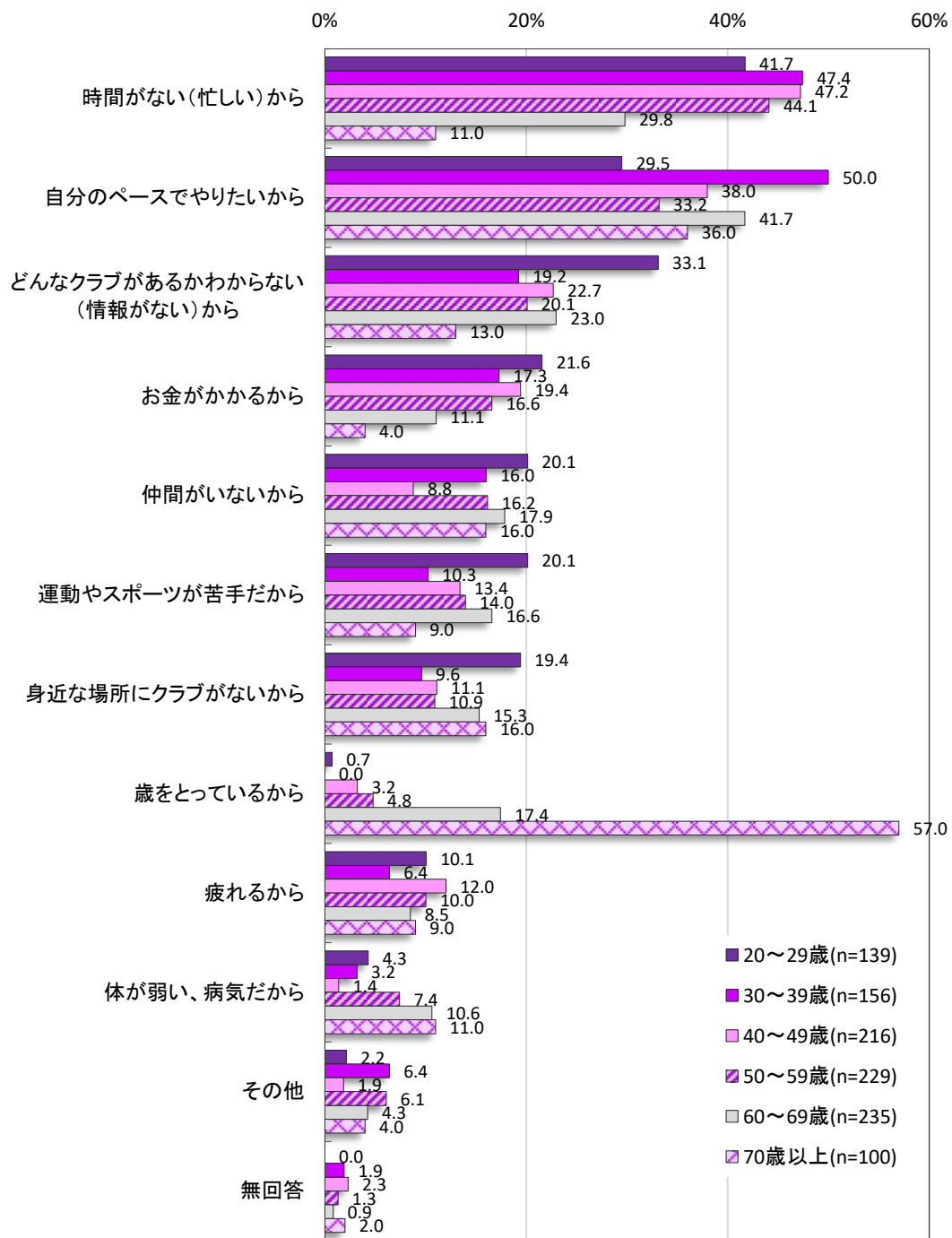
年齢別にみると、20～29歳、40～49歳、50～59歳では「時間がない(忙しい)から」、30～39歳と60～69歳では「自分のペースでやりたいから」、70歳以上では「歳をとっているから」の割合が、それぞれ最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



⇒ グラフは次頁に続きます



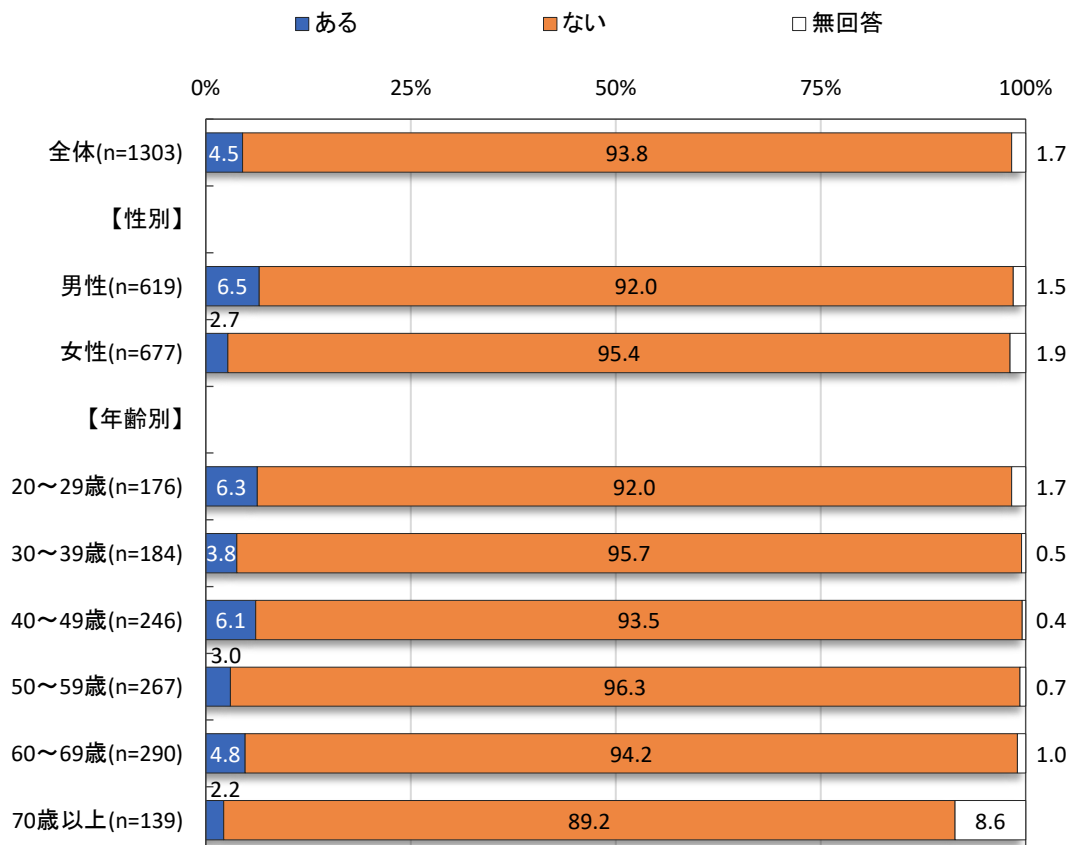
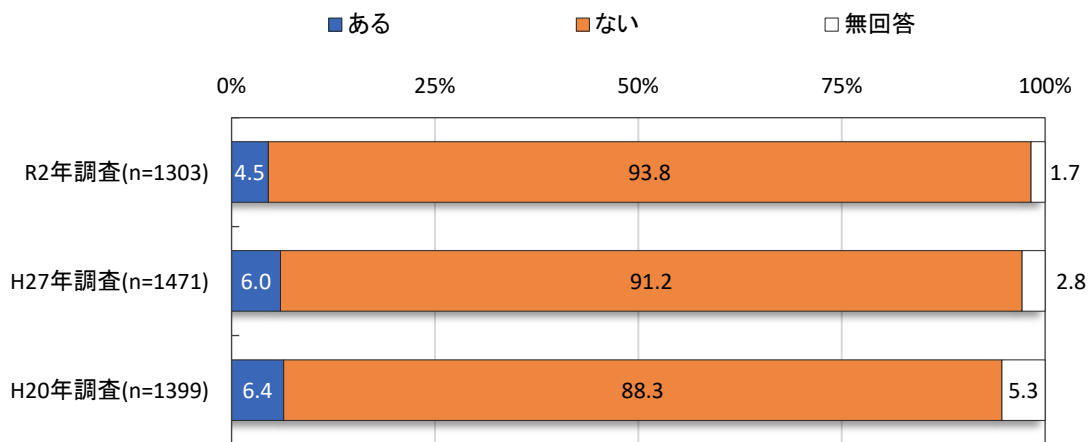
## (7) スポーツボランティアについて

問 32 あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか？(当てはまる番号1つに○)

過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったかについては、「ない」の割合が93.8%で9割以上を占めた一方、「ある」は4.5%と1割未満の極めて低い割合となった。「ある」の割合は、前回調査(6.0%)に比べて1.5ポイント低下している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性6.5%、女性2.7%とともに1割未満と低くなっている。

年齢別にみると、「ある」の割合はすべての年代で1割未満となっている。



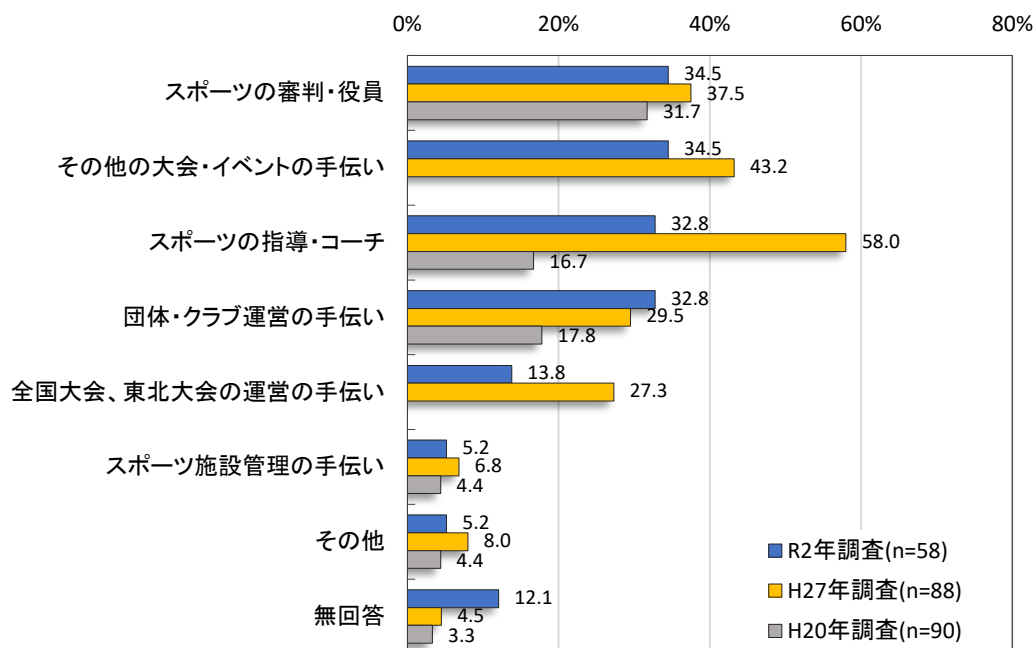


<問 33 は、問 32 で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問 33 あなたはこの1年間に何回くらいスポーツボランティアを行いましたか？(当てはまるものすべて) より、行ったスポーツボランティアの種類

この1年間に行ったスポーツボランティアの種類については、「スポーツの審判・役員」と「その他の大会・イベントの手伝い」がともに34.5%で最も高い割合となり、これに「スポーツの指導・コーチ」と「団体・クラブ運営の手伝い」(各32.8%)が続いた。

前回調査に比べて、「団体・クラブ運営の手伝い」の割合が上昇した一方、その他の項目ではいずれも割合が低下している。



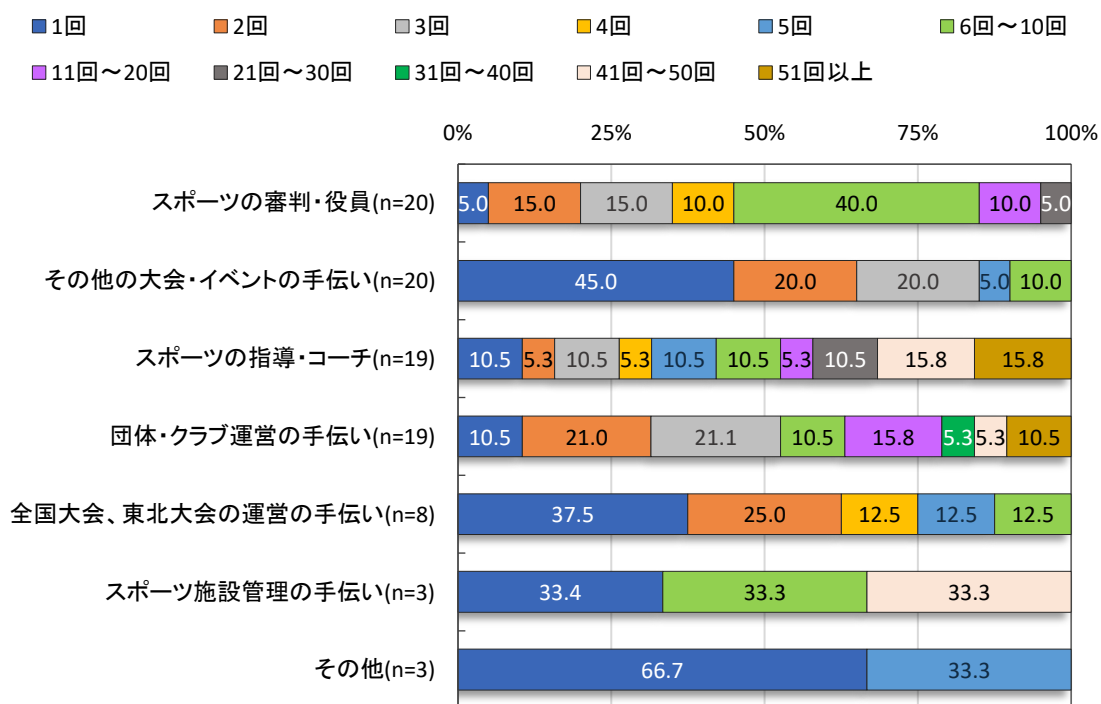
----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

全国大会、東北大会の運営の手伝い：H27年調査では、「全国大会、東北大会の運営協力員」としていた。

また、H20年調査では、選択肢「全国大会、東北大会の運営の手伝い」「その他の大会・イベントの手伝い」が設定されていなかったため、グラフでは空欄としている。

問 33 あなたはこの1年間に何回くらいスポーツボランティアを行いましたか？(行った回数を記入してください。)

この1年間に何回くらいスポーツボランティアを行ったかについて、ボランティアの内容別にみると、「スポーツの審判・役員」では「6回～10回」の割合が4割を占め最も高く、「その他の大会・イベントの手伝い」、「全国大会、東北大会の運営の手伝い」、「スポーツ施設管理の手伝い」ではいずれも「1回」が3割台から4割台で最も高くなっている。また、「スポーツの指導・コーチ」では「41～50回」と「51回以上」(各15.8%)が、「団体・クラブ運営の手伝い」では「3回」(21.1%)が、それぞれ最も高い割合となっている。



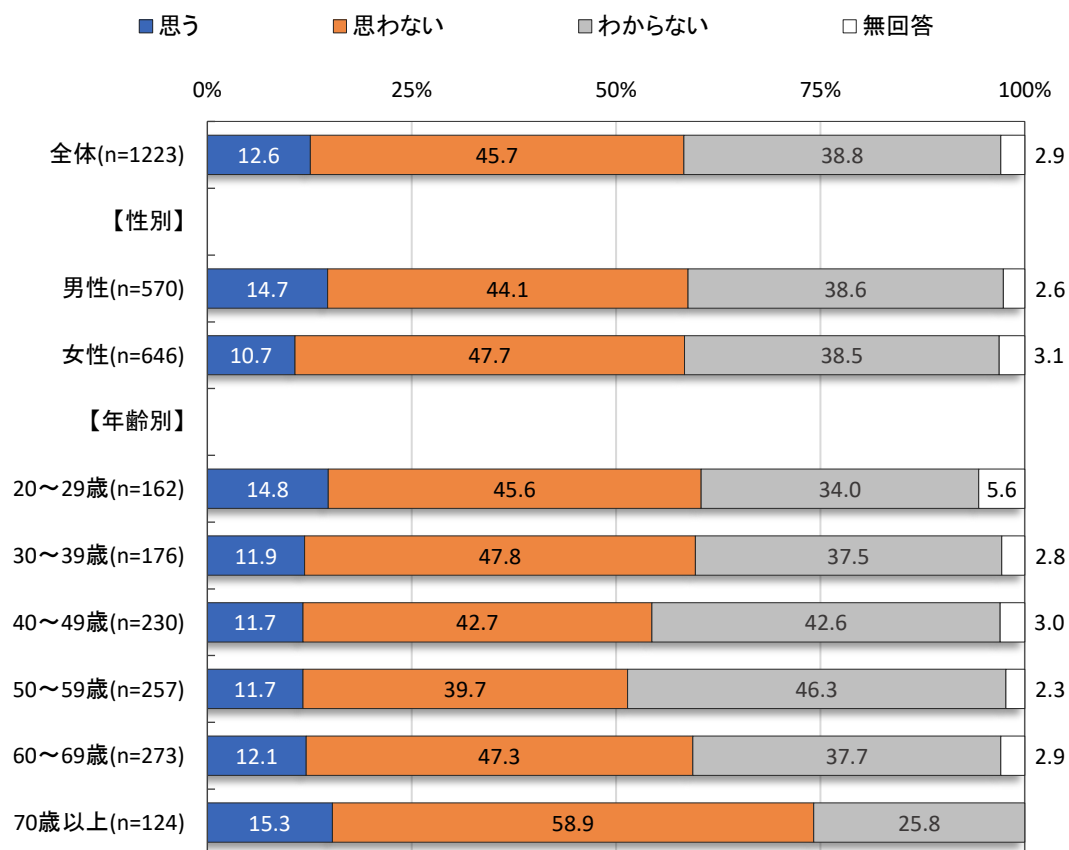
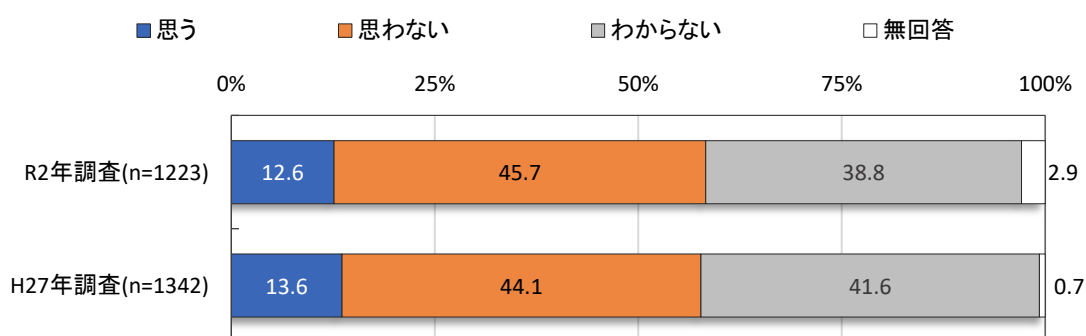
<問 32 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

問 34 今後、あなたはスポーツボランティアの機会があれば行いたいと思いますか？(当てはまる番号 1 つに○)

今後、スポーツボランティアの機会があれば行いたいと思うかについては、「思わない」の割合が 45.7%と 4 割以上を占め最も高く、次いで「わからない」(38.8%)が続き、「思う」(12.6%)は 1 割台となった。「思う」の割合は前回調査(13.6%)に比べて 1.0 ポイント低下している。

男女別にみると、「思う」の割合は男性 14.7%、女性 10.7%と、どちらも 1 割台と、ほぼ同様の割合となっている。

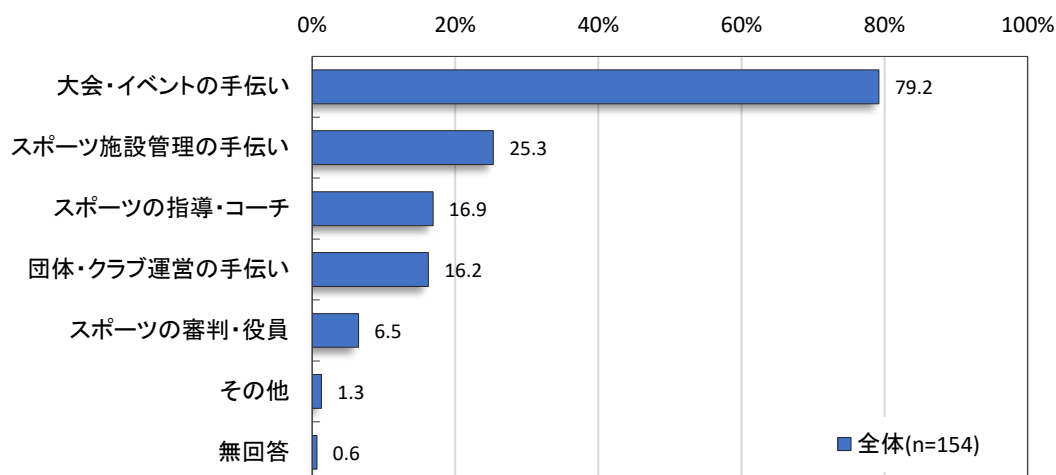
年齢別にみると、「思う」の割合はすべての年代で 1 割台となっている。



<問 34 で「1 思う」に○をつけた方に伺います。>

問 35 行いたいスポーツボランティアは何ですか？(主なもの2つまでに○)

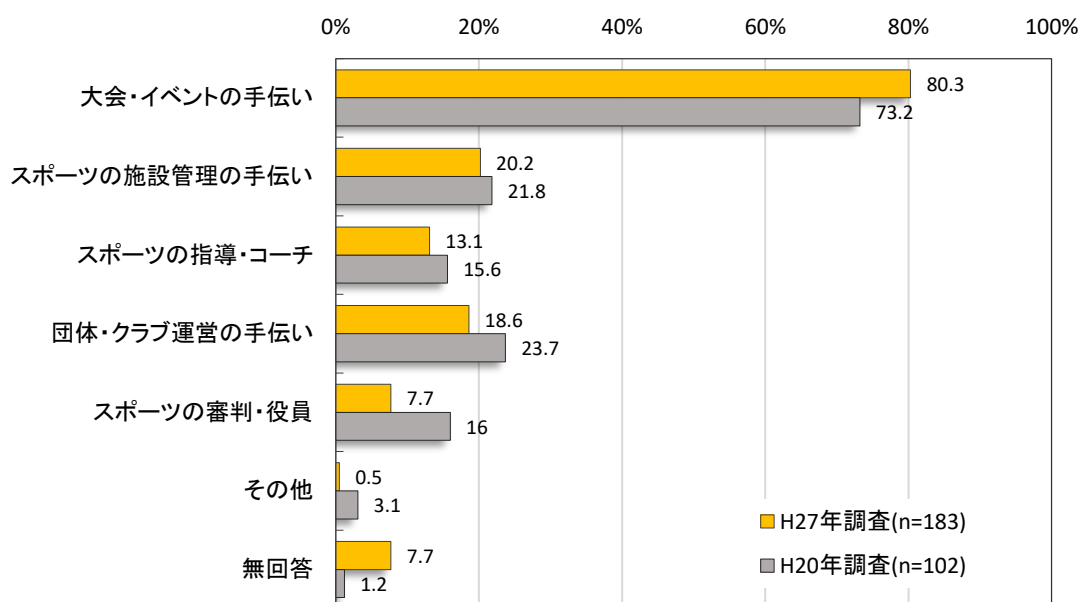
行いたいスポーツボランティアについては、「大会・イベントの手伝い」(79.2%)が8割近くと突出して高い割合となり、次いで「スポーツ施設管理の手伝い」(25.3%)が2割台で続き、以下は「スポーツの指導・コーチ」(16.9%)、「団体・クラブ運営の手伝い」(16.2%)などの順となっている。



--- 前回調査との比較を行わない理由 ---

H27年調査と今回調査では、回答個数が異なるため。

《参考 前回および前々回調査結果》



※ 回答の並び順は、今回調査に準ずる。

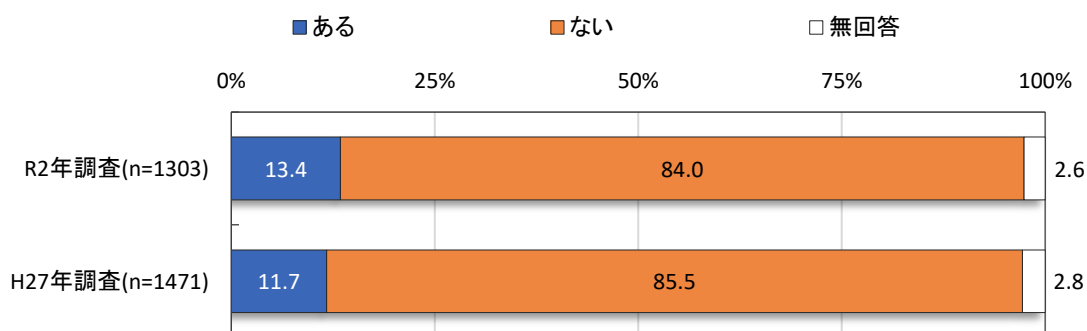
## (8) トップスポーツクラブについて

問 36 あなたは、この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがありますか？(当てはまる番号1つに○)

この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがあるかについては、「ない」の割合が84.0%と8割以上を占めた一方、「ある」(13.4%)の割合は1割台となっている。「ある」の割合は前回調査(11.7%)に比べて1.7ポイント上昇している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性13.7%、女性13.3%と、どちらも1割台と、ほぼ同様の割合となっている。

年齢別にみると、「ある」の割合は20～29歳と40～49歳ではともに2割台と、他の年代に比べて高くなっている。

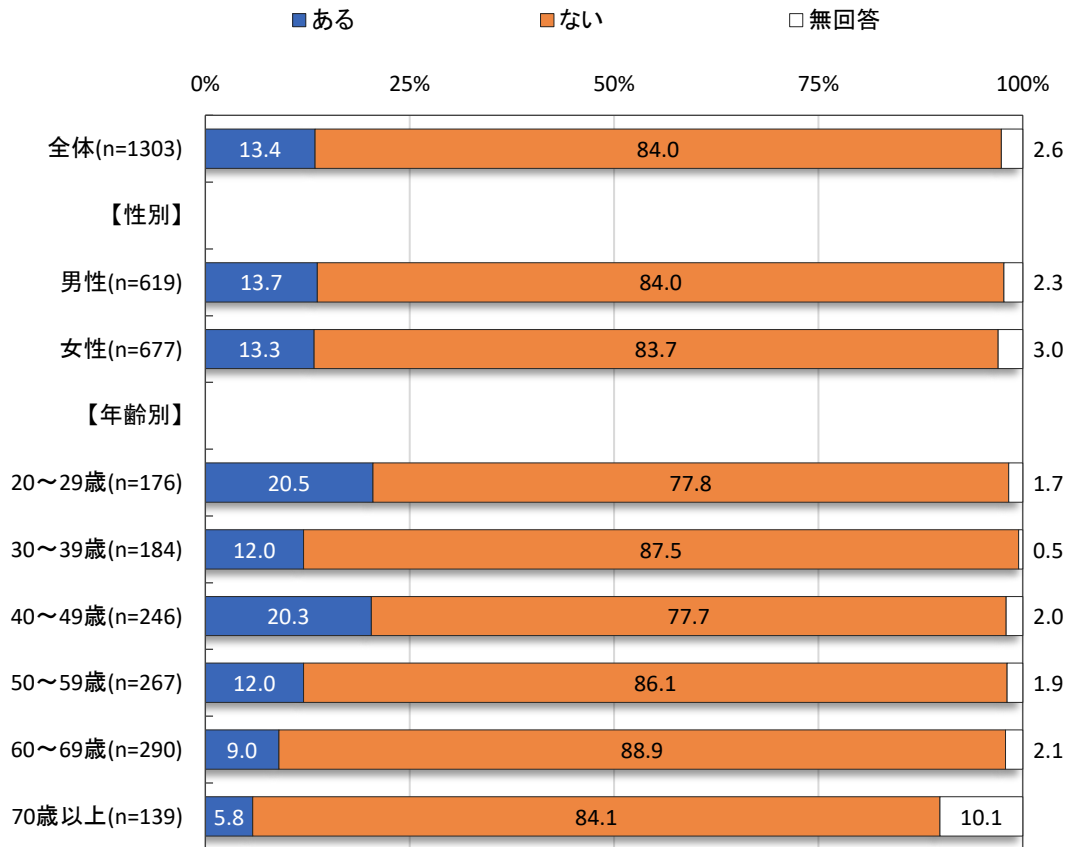


----- 過去調査と比較する上での注意点 -----

設問文章：H27年調査では、「あなたは、この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場で観戦したことがありますか」となっていた。

-----

⇒ グラフは次頁に続きます

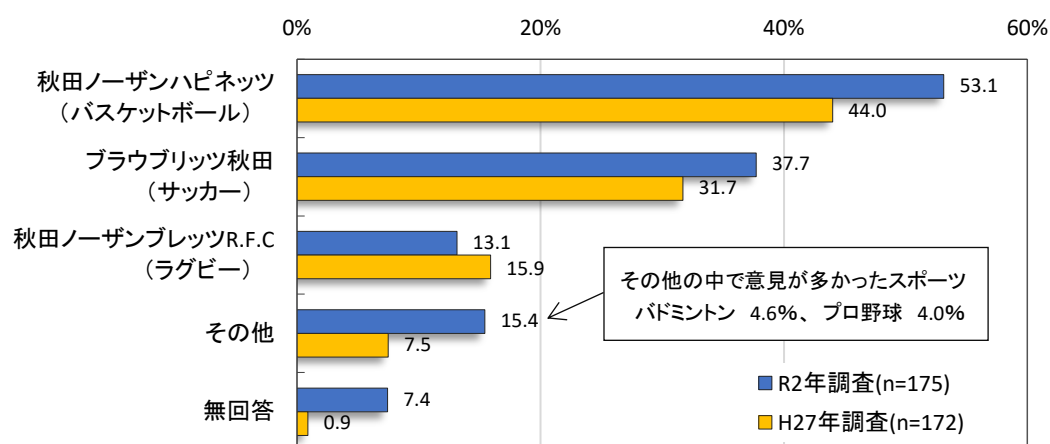


<問 37 は、問 36 で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問 37 あなたはこの1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしましたか？(当てはまるものすべて)より、観戦したトップスポーツ

この1年間に会場でスポーツ観戦したトップスポーツについては、「秋田ノーザンハピネッツ」が53.1%と5割以上で最も高い割合となり、次いで「ブラウブリッツ秋田」が37.7%と3割台で続き、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C」(13.1%)は1割台となっている。

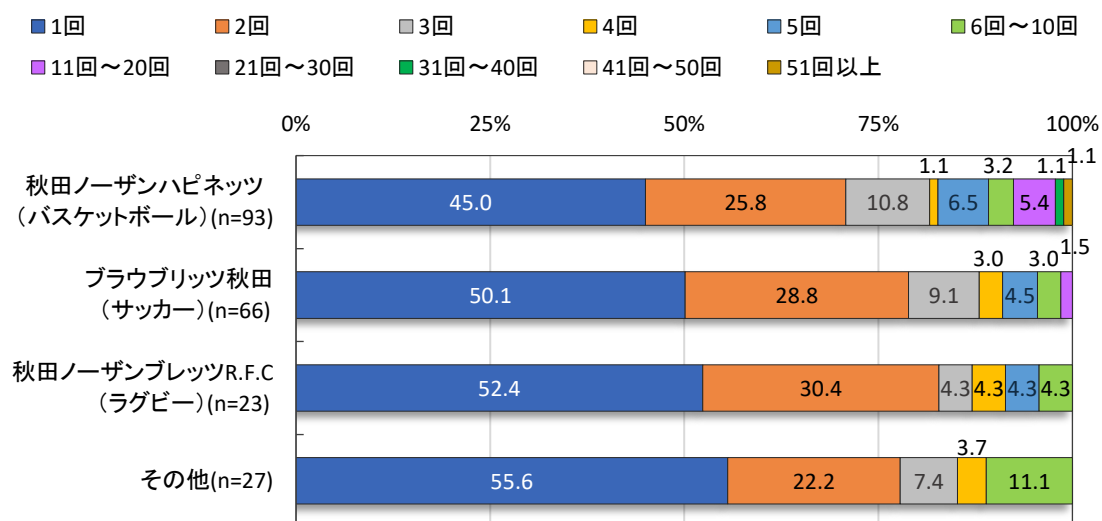
前回調査に比べて、「秋田ノーザンハピネッツ」と「ブラウブリッツ秋田」の割合が上昇した一方、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C」の割合は低下している。



----- 過去調査と比較する上での注意点 -----  
設問文章：H27年調査では「過去1年間にあなたが観戦したことのあるトップスポーツは何ですか」となっており、回答はトップスポーツに限定されていた。  
-----

問 37 あなたはこの1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしましたか？(観戦した回数を記入してください。)

この1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしたかについては、各競技において「1回」の割合が4割台から5割台で最も高く、次いで「2回」が2割台から3割台で続いている。「2回」から「51回以上」までを合わせた“2回以上”の割合は、「秋田ノーザンハピネッツ」(55.0%)では5割台、「ブラウブリッツ秋田」(49.9%)と「秋田ノーザンブレッツR.F.C」(47.6%)では4割台となり、「秋田ノーザンハピネッツ」で幾分高めの割合となっている。





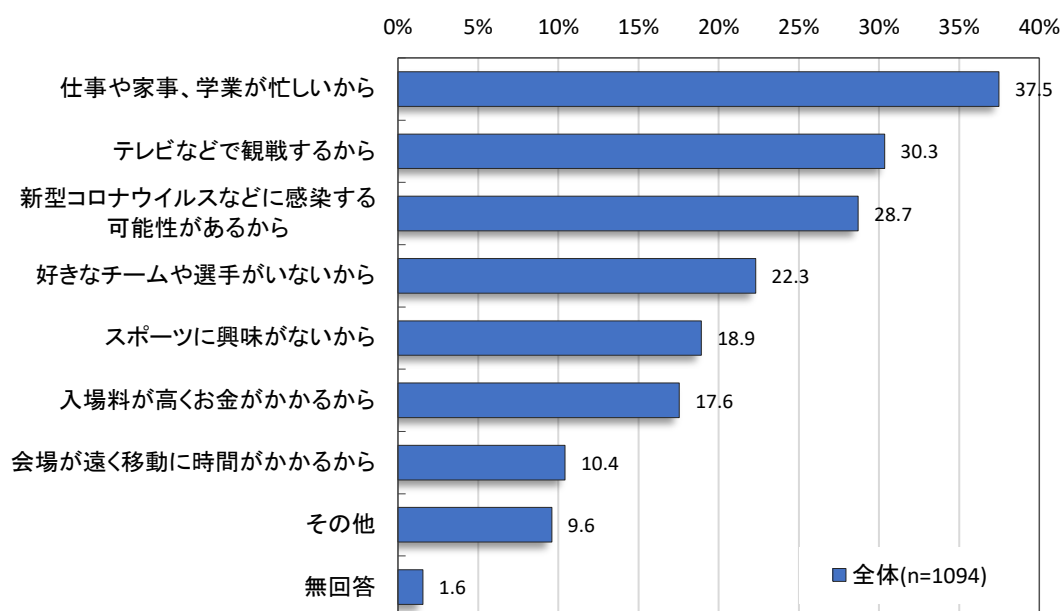
<問 36 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

新 問 38 観戦しなかった理由は何ですか？(主なもの3つまでに○)

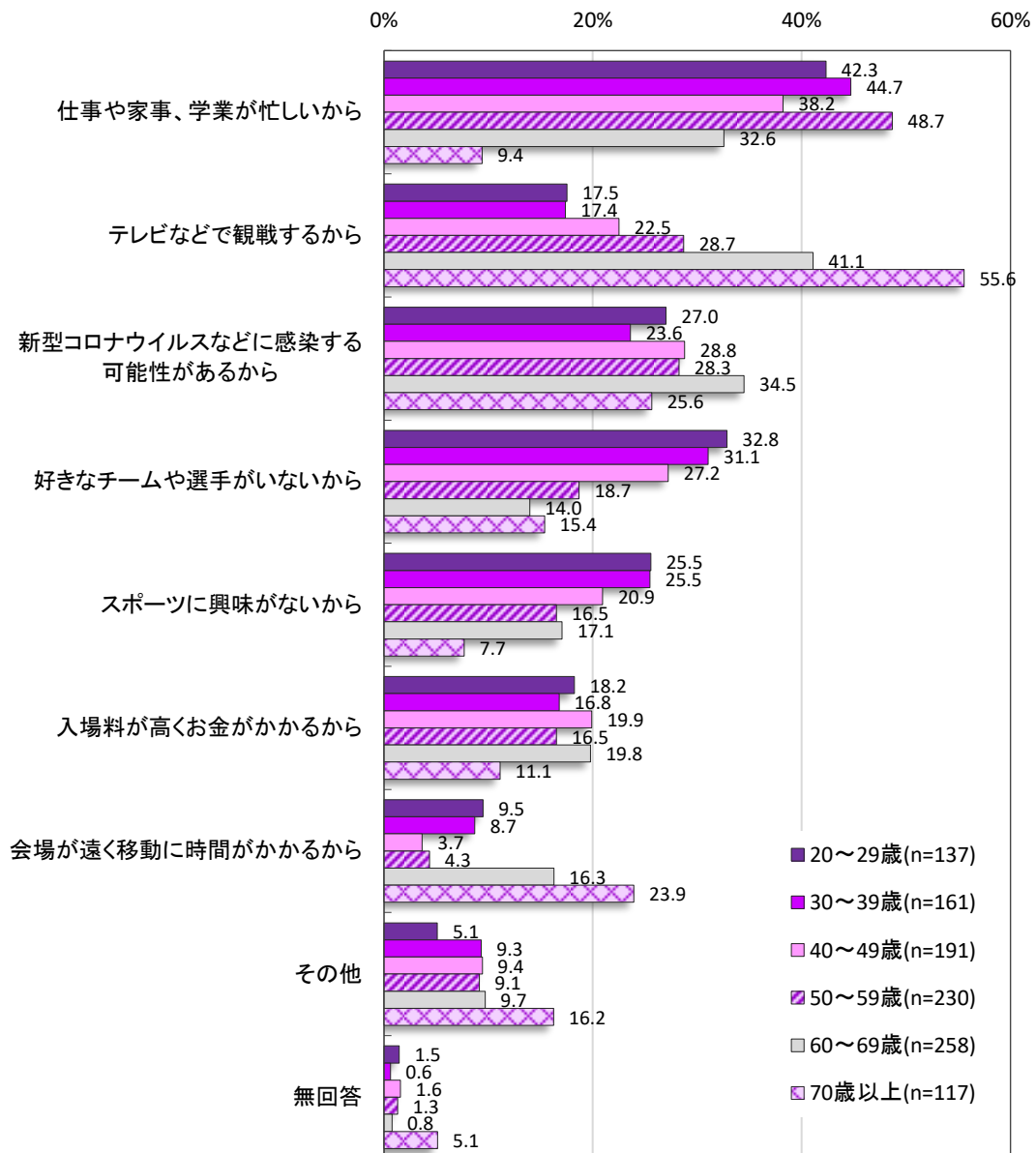
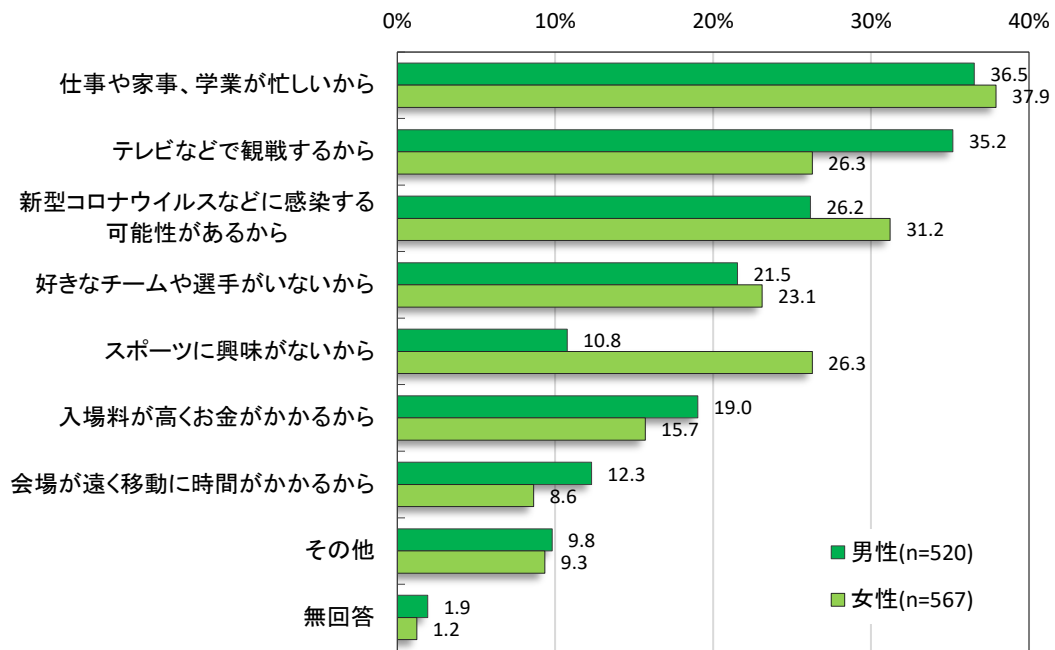
観戦しなかった理由については、「仕事や家事、学業が忙しいから」が 37.5%で最も割合が高く、次いで「テレビなどで観戦するから」(30.3%)が続き、以下は「新型コロナウイルスなどに感染する可能性があるから」(28.7%)、「好きなチームや選手がないから」(22.3%)などの順となっている。

男女別にみると、いずれも「仕事や家事、学業が忙しいから」の割合が3割台で最も高くなっている。

年齢別にみると、50～59歳までの各年代では「仕事や家事、学業が忙しいから」の割合が3割台後半から4割台で最も高く、60～69歳と70歳以上では「テレビなどで観戦するから」の割合が4割以上で最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



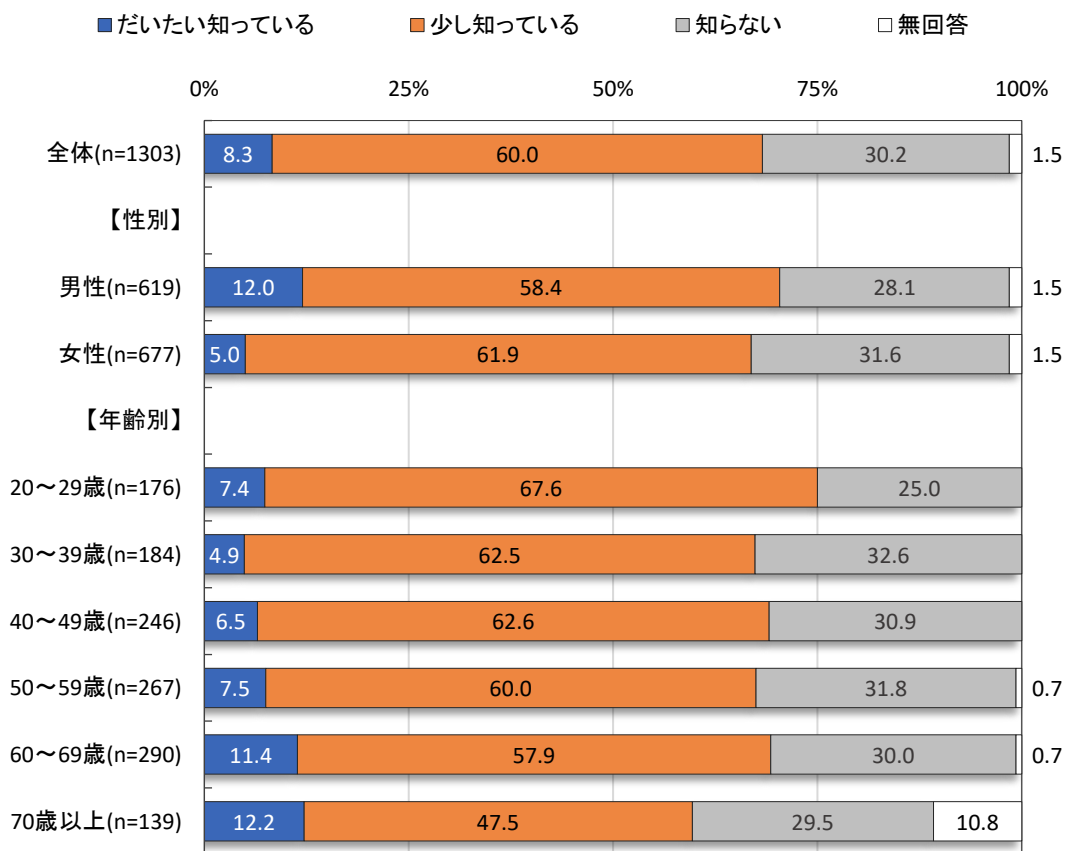
## (9) 障がい者スポーツについて

⑨ 問 39 あなたは、障がい者スポーツにどのような競技・種目があるか知っていますか？(当てはまる番号1つに○)

障がい者スポーツにどのような競技・種目があるか知っているかについては、「だいたい知っている」(8.3%)と「少し知っている」(60.0%)を合わせた“知っている”の割合が68.3%と6割台を占めた一方、「知らない」(30.2%)は3割台となっている。

男女別にみると、“知っている”の割合は男性で70.4%、女性では66.9%と、男性の方が幾分高くなってきている。

年齢別にみると、“知っている”の割合は20～29歳で7割台、30～39歳から60～69歳の各年代では6割台、70歳以上では6割近くとなっている。



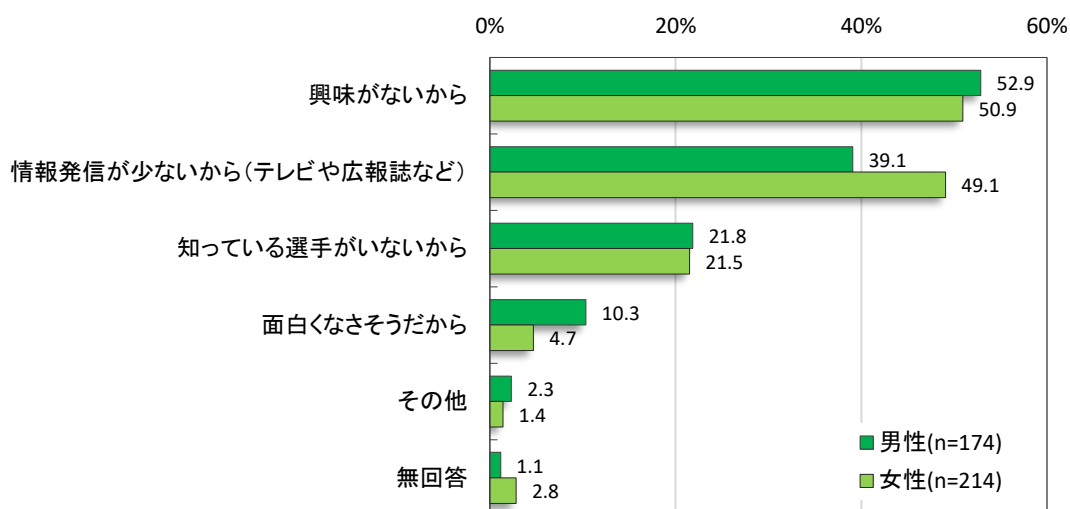
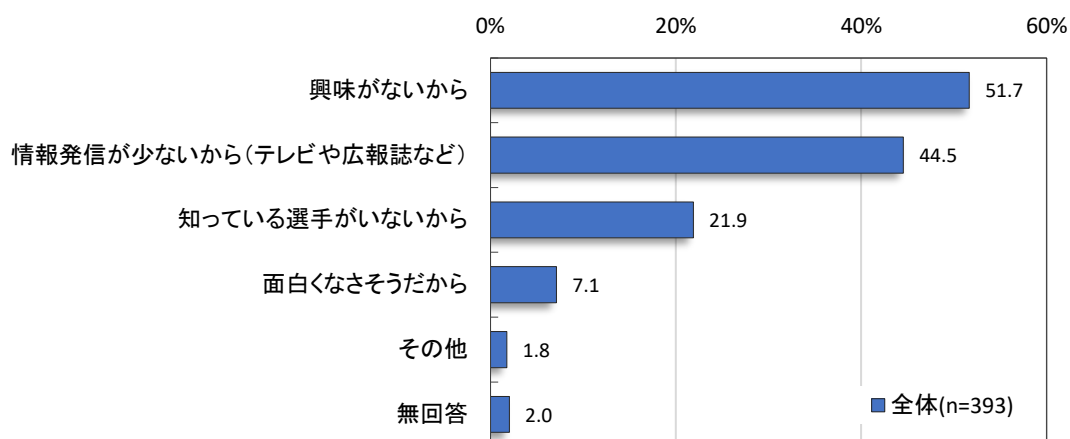
<問 39 で「3 知らない」に○を付けた方に伺います。>

④ 問 40 知らない理由は何ですか？(主なもの2つまでに○)

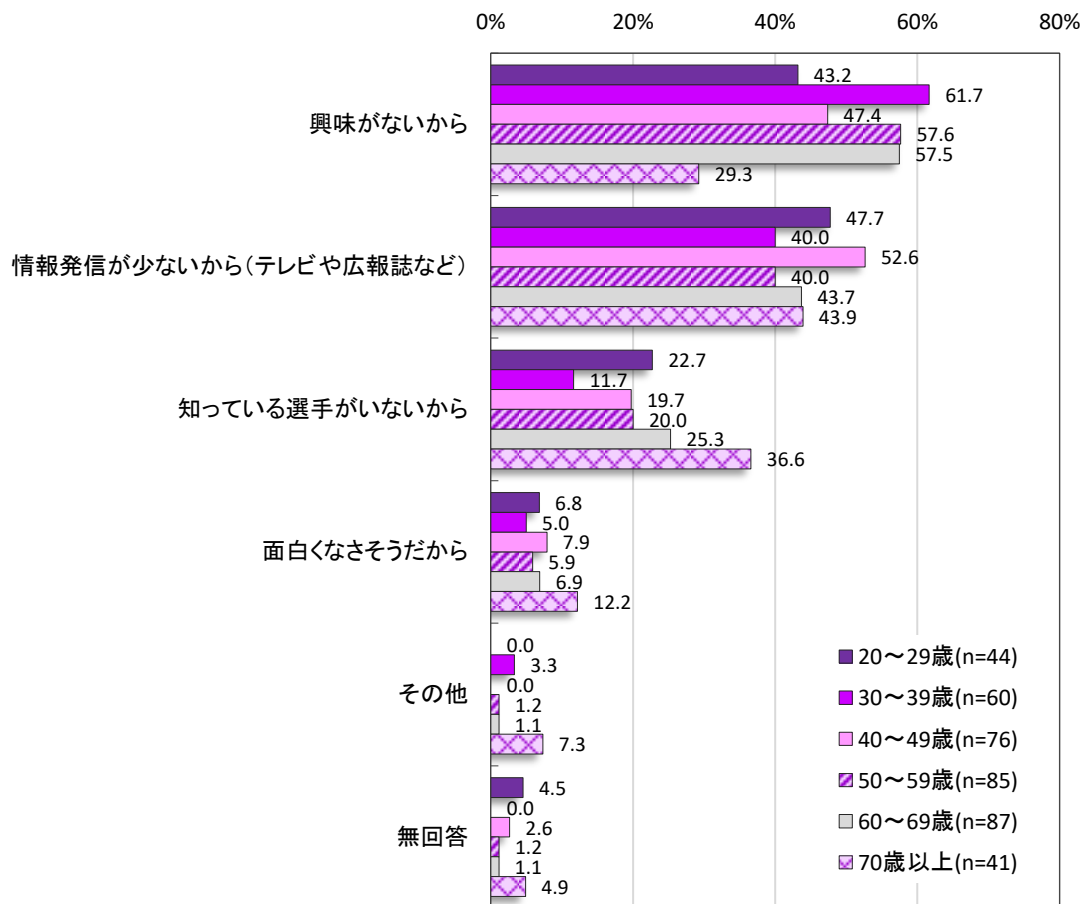
知らない理由は何かについては、「興味がないから」の割合が 51.7%と 5割以上で最も高く、次いで「情報発信が少ないから(テレビや広報誌など)」が 44.5%で続き、以下は「知っている選手がないから」(21.9%)、「面白くなさそうだから」(7.1%)の順となった。

男女別にみると、いずれも「興味がないから」の割合が5割台で最も高くなっている。

年齢別にみると、30～39歳、50～59歳、60～69歳では「興味がないから」の割合が5割台から6割台で最も高く、その他の年代では「情報発信が少ないから(テレビや広報誌など)」の割合が4割台から5割台で最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます

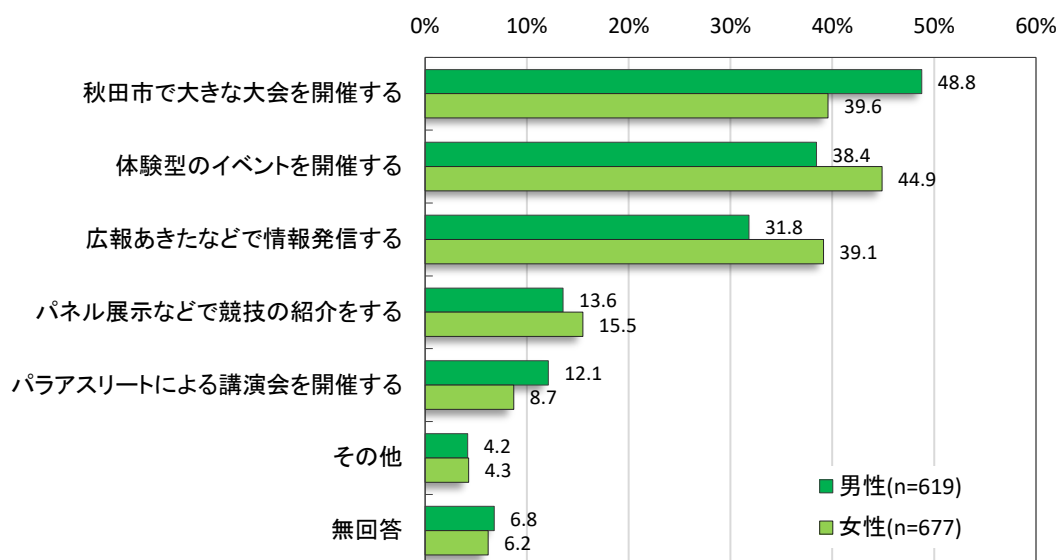
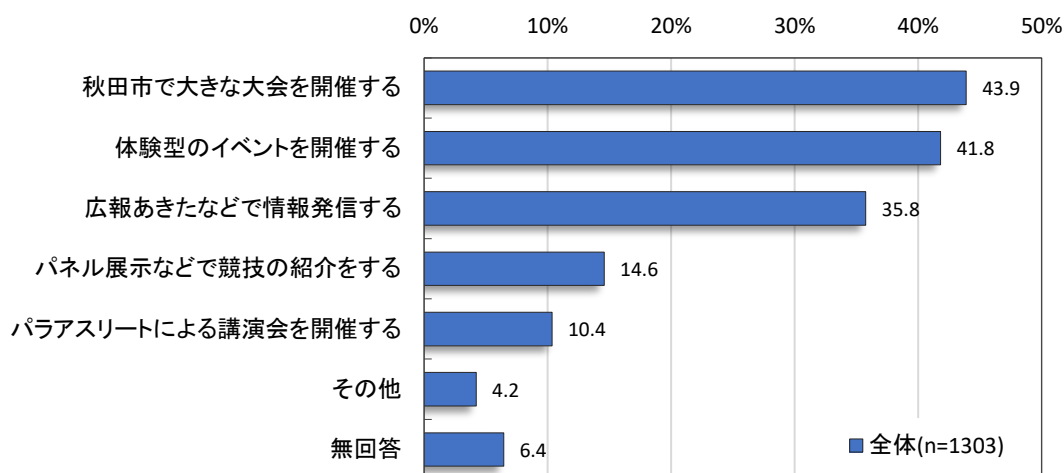


⑨ 問 41 あなたは、障がい者スポーツをより多くの人に知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか？(主なもの2つまでに○)

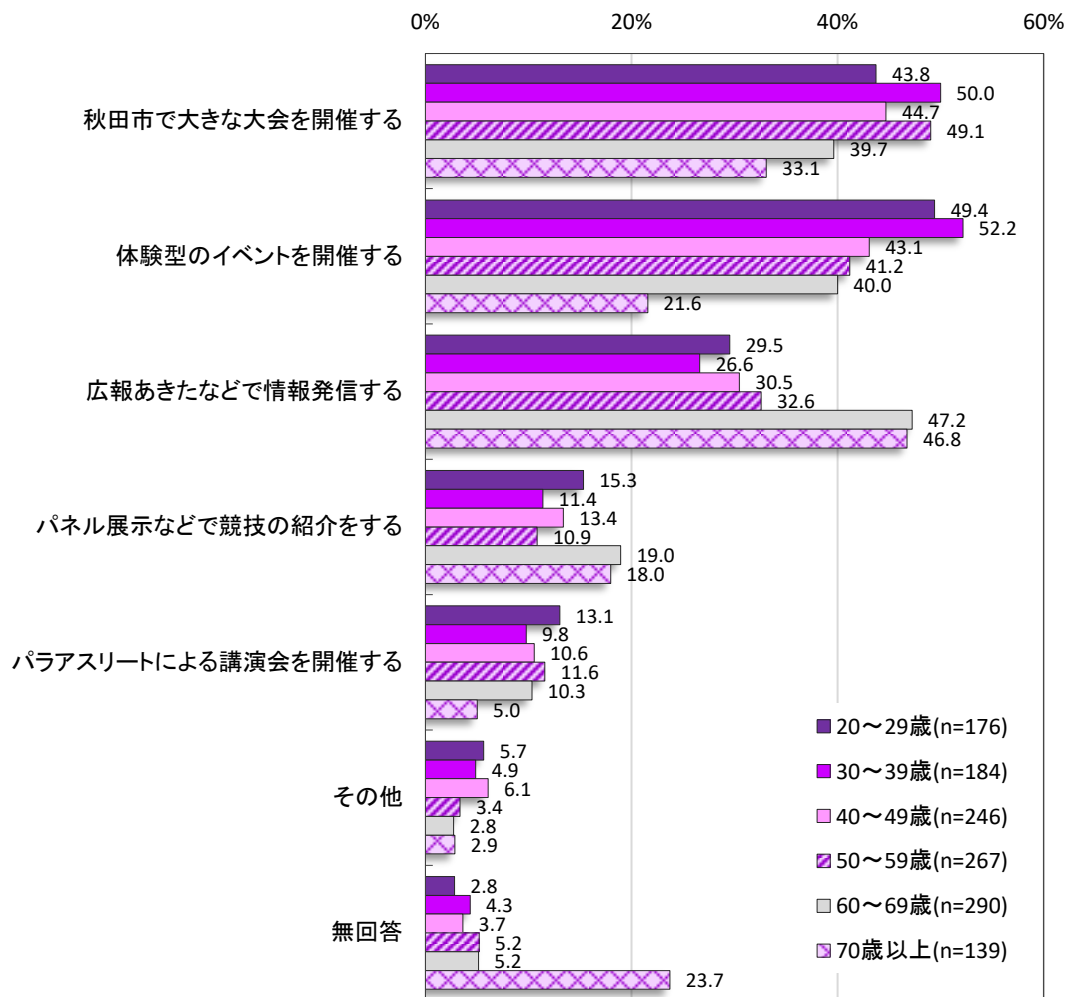
障がい者スポーツをより多くの人に知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思うかについては、「秋田市で大きな大会を開催する」の割合が43.9%で最も高く、これに「体験型のイベントを開催する」(41.8%)、「広報あきたなどで情報発信する」(35.8%)が続き、この3項目が3割以上と高い割合となっている。

男女別にみると、男性では「秋田市で大きな大会を開催する」が48.8%で最も割合が高くなった一方、女性では「体験型のイベントを開催する」の割合が44.9%で最も高くなっている。

年齢別にみると、40～49歳と50～59歳では「秋田市で大きな大会を開催する」の割合が最も高くなった一方、20～29歳と30～39歳では「体験型のイベントを開催する」、60～69歳と70歳以上では「広報あきたなどで情報発信する」の割合がそれぞれ最も高くなっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



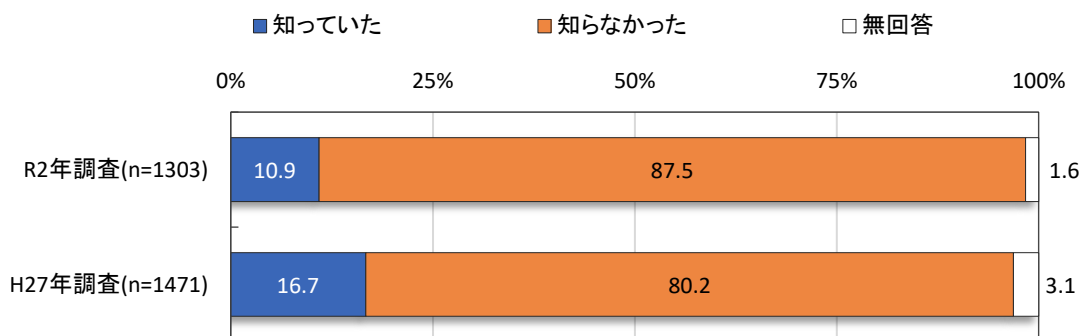
## (10) スポーツ推進委員について

問 42 あなたは、スポーツ推進委員を各地域に配置していることを知っていましたか？(当てはまる番号1つに○)

スポーツ推進委員を各地域に配置していることを知っていたかについては、「知らなかった」の割合が87.5%と8割以上を占めた一方、「知っていた」(10.9%)の割合は1割台となっている。「知っていた」の割合は前回調査(16.7%)から5.8ポイント低下している。

男女別にみると、「知っていた」の割合は男性では13.1%、女性では9.0%と、男性の方で幾分高い割合となっている。

年齢別にみると、「知っていた」の割合は、40～49歳までの年代では1割未満となっている一方、50～59歳以降の年代では1割台と、幾分高くなっている。

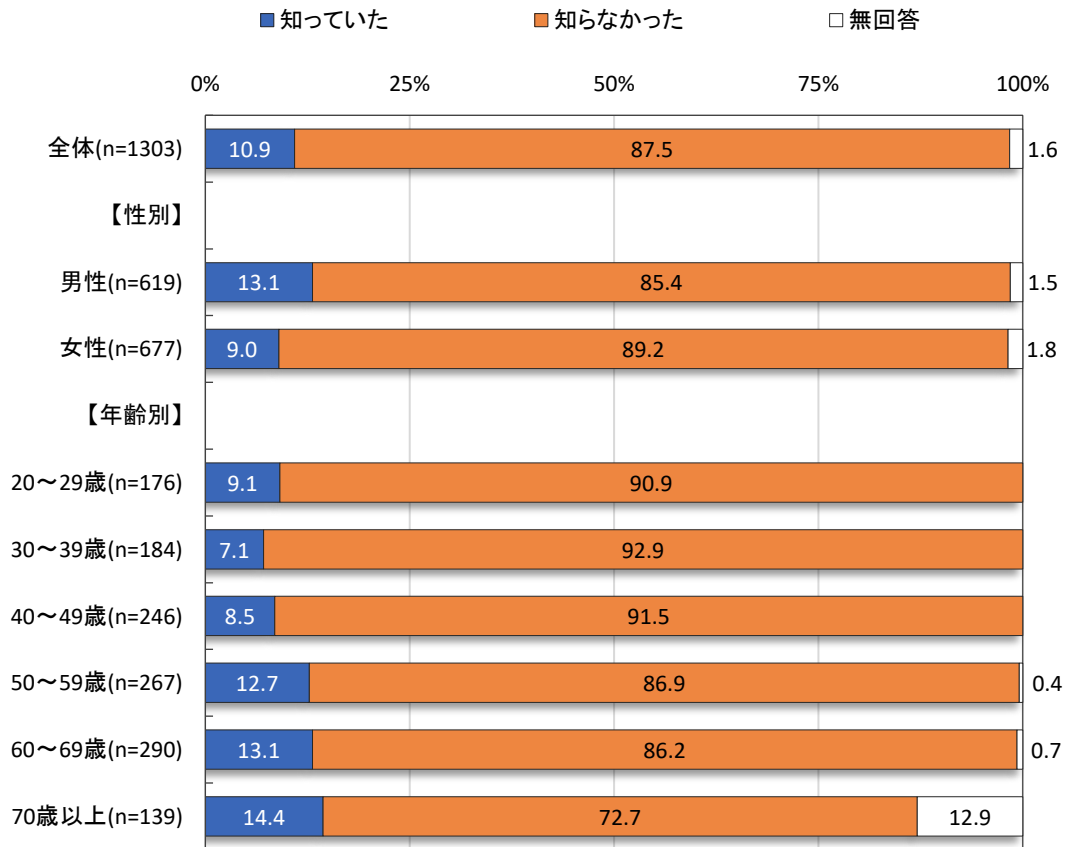


--- 過去調査と比較する上での注意点 ---

H27年調査では、設問文章が「あなたは、秋田市のスポーツ振興を推進するために、各地区にスポーツ推進委員およびスポーツ普及員を配置していることを知っていますか」となっていたほか、選択肢の「知っていた」は「知っている」、「知らなかった」は「知らない」となっていた。

⇒ グラフは次頁に続きます





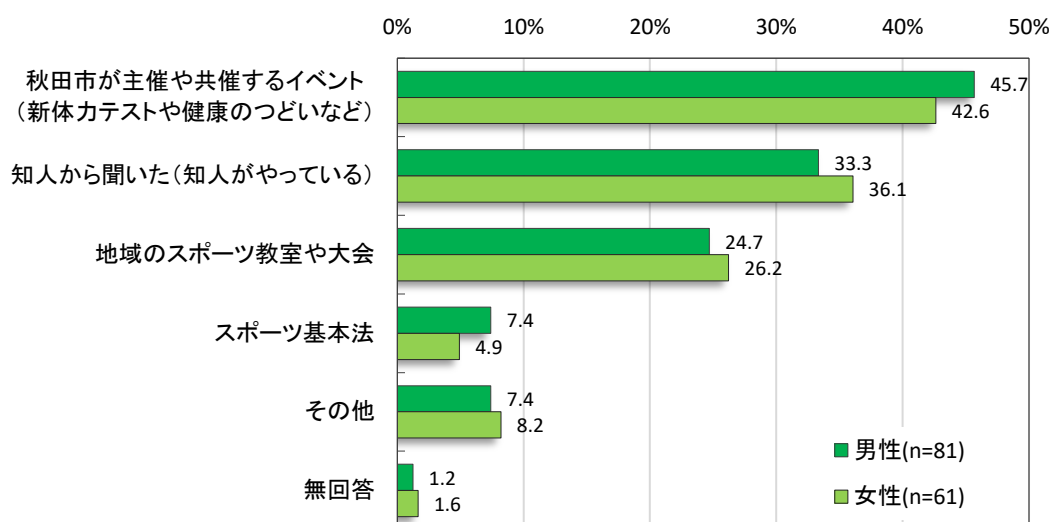
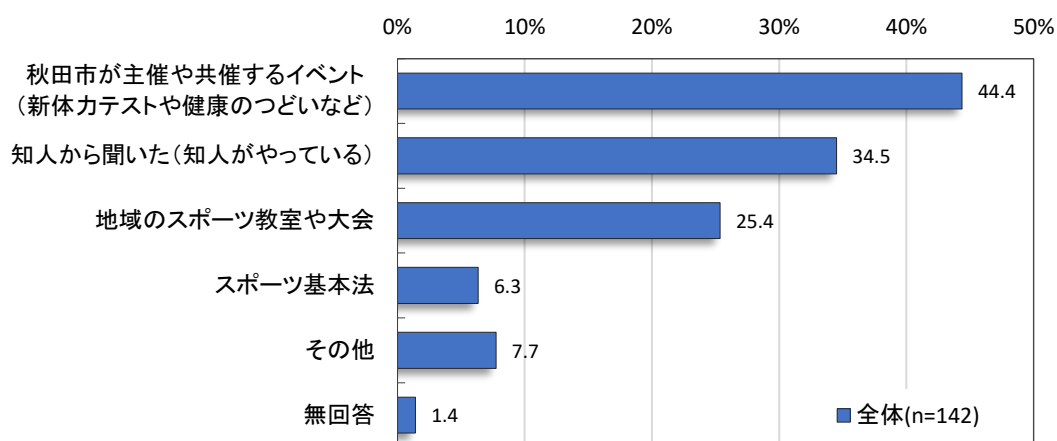
<問 42 で「1 知っていた」に○を付けた方に伺います。>

④ 問 43 あなたは、スポーツ推進委員を各地域に配置していることをどこで知りましたか？（当てはまる番号すべてに○）

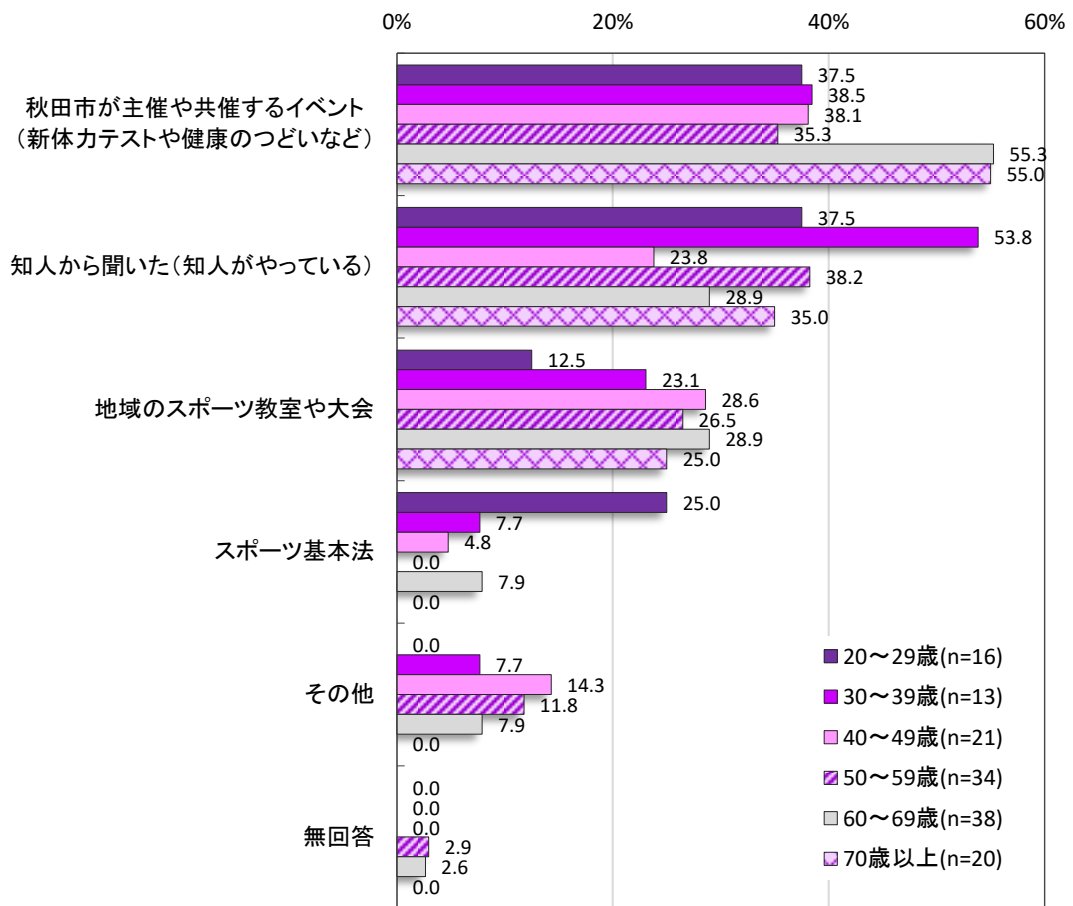
スポーツ推進委員を各地域に配置していることをどこで知ったかについては、「秋田市が主催や共催するイベント」の割合が 44.4%で最も高く、次いで「知人から聞いた」が 34.5%で続き、以下は「地域のスポーツ教室や大会」（25.4%）、「スポーツ基本法」（6.3%）の順となった。

男女別にみると、いずれも「秋田市が主催や共催するイベント」の割合が4割台で最も高くなっている。

年齢別にみると、「秋田市が主催や共催するイベント」の割合は60～69歳と70歳以上で5割台と特に高い割合となった一方、その他の年代ではいずれも3割台となっている。「知人から聞いた」の割合は30～39歳で5割台となり、その他の年代に比べて高くなっている。



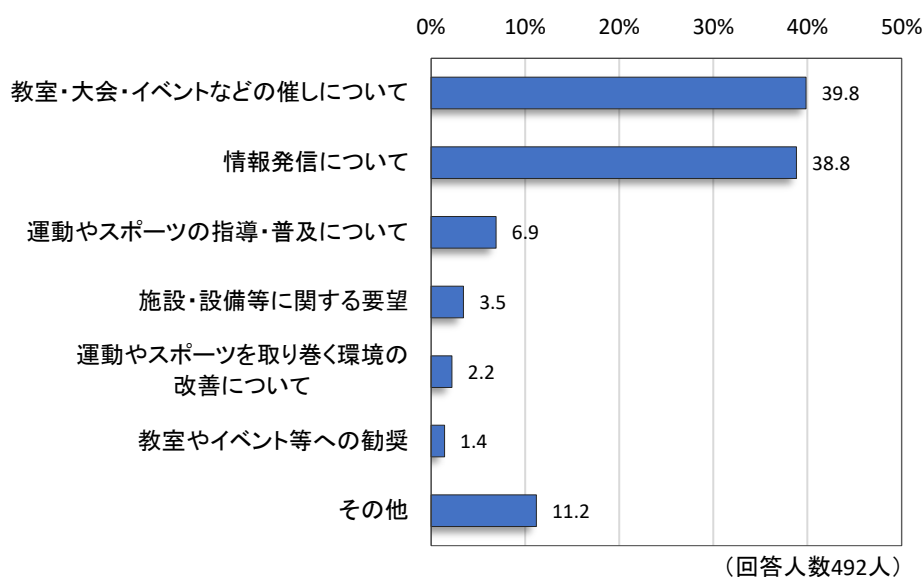
⇒ グラフは次頁に続きます



⑨ 問 44 あなたは、スポーツ推進委員に対し、地域でどんな活動をしてほしいですか？（自由記述）

スポーツ推進委員に対し、地域でどんな活動をしてほしいかについて、492 人の回答者から意見が寄せられた。

自由記述方式で寄せられた回答を整理すると、「教室・大会・イベントなどの催しについて」の割合が 39.8%で最も高く、次いで「情報発信について」が 38.8%で続き、この 2 項目が 4 割近くで特に高い割合となっている。以下は「運動やスポーツの指導・普及について」（6.9%）、「施設・設備等に関する要望」（3.5%）などが 1 割未満で続いている。



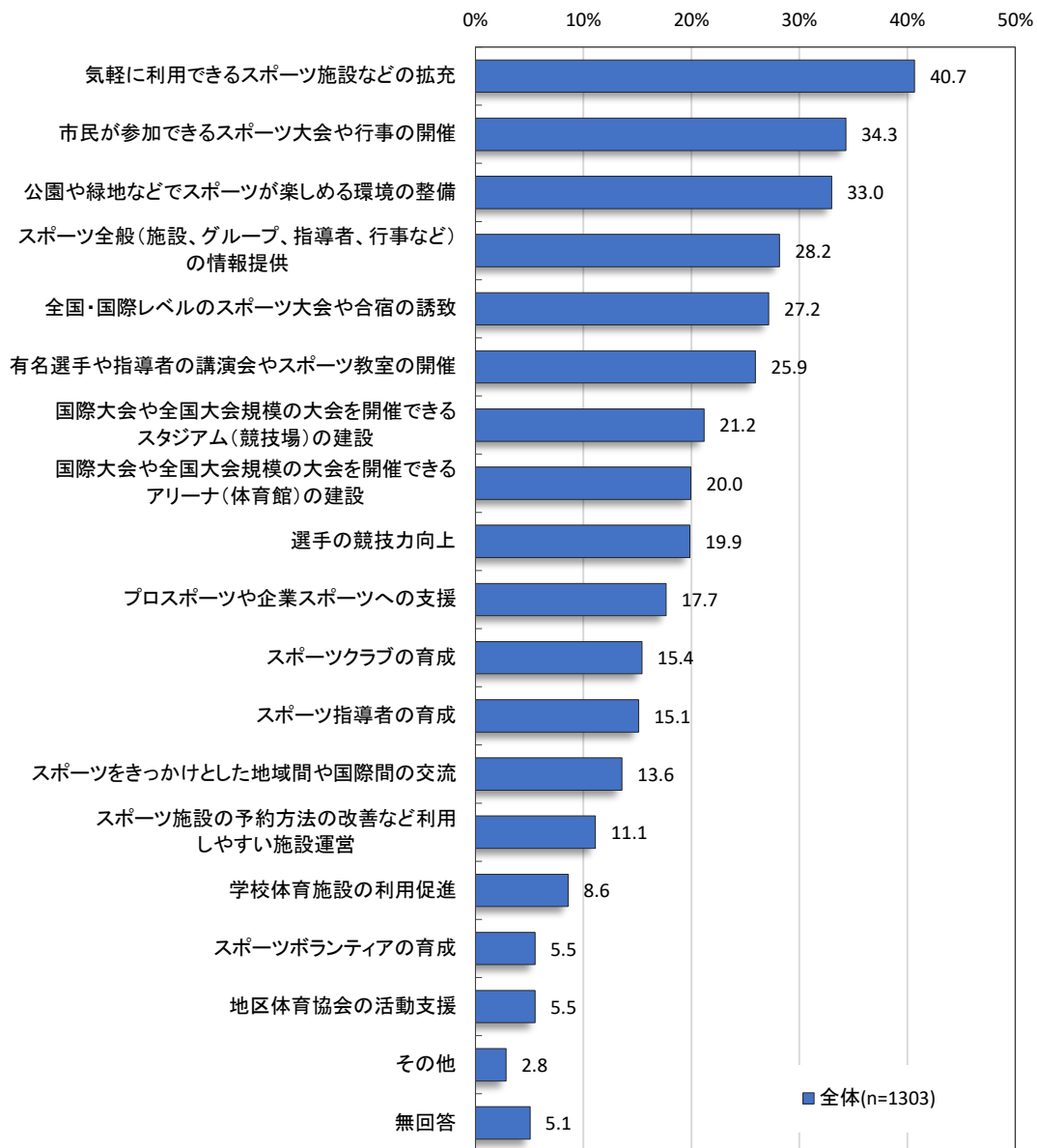
## (11) 今後の本市のスポーツ振興策について

問 45 今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の拡大や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思いますか？(主なもの5つまでに○)

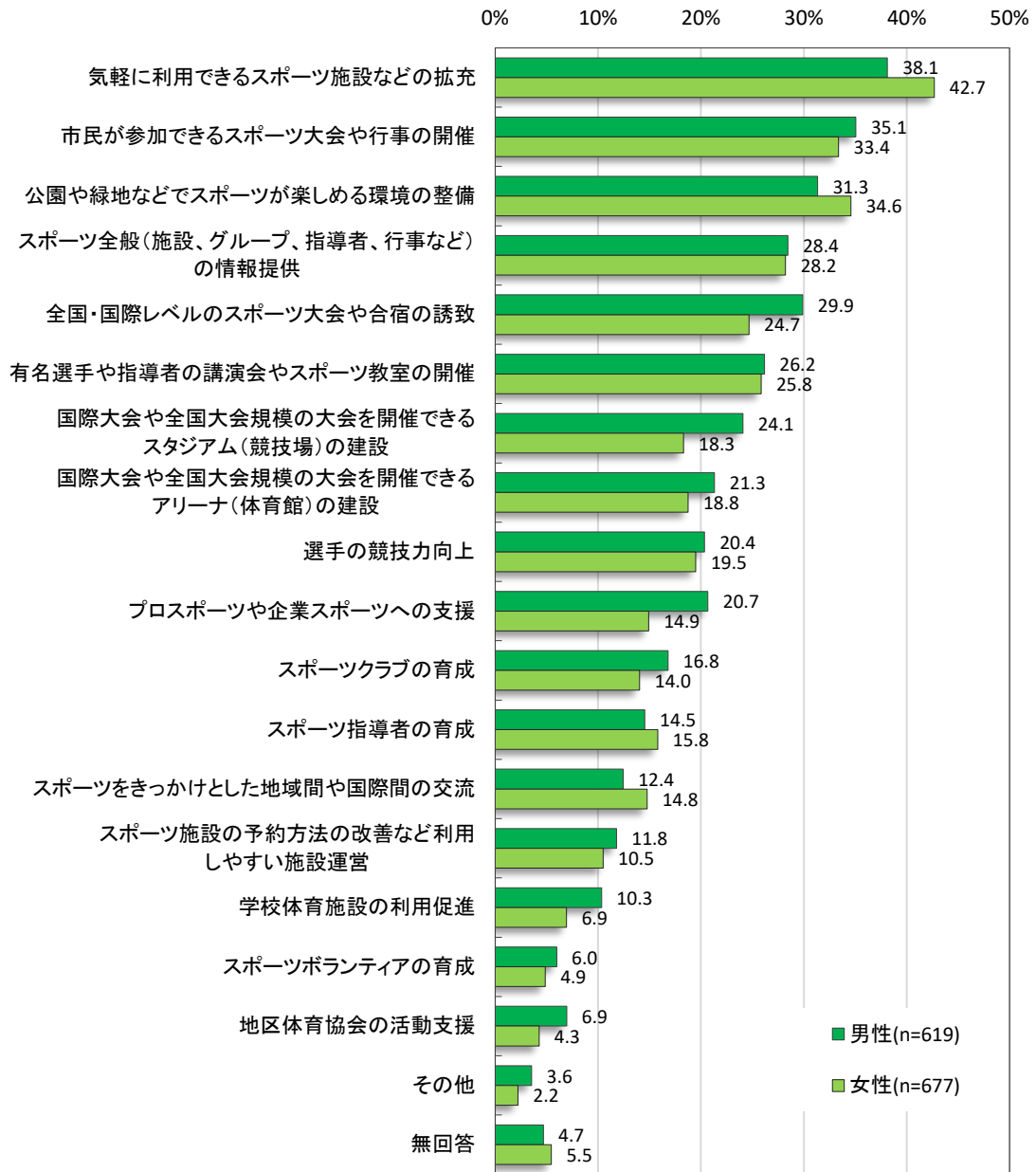
今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の拡大や地域の賑わい創出を図るためには何が必要だと思うかについては、「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」が40.7%で最も割合が高く、次いで「市民が参加できるスポーツ大会や行事の開催」(34.3%)が続き、以下は「公園や緑地などでスポーツが楽しめる環境の整備」(33.0%)、「スポーツ全般(施設、グループ、指導者、行事など)の情報提供」(28.2%)などの順となっている。

男女別にみると、いずれも「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」(男性38.1%、女性42.7%)の割合が最も高く、この割合は女性の方が高くなっている。

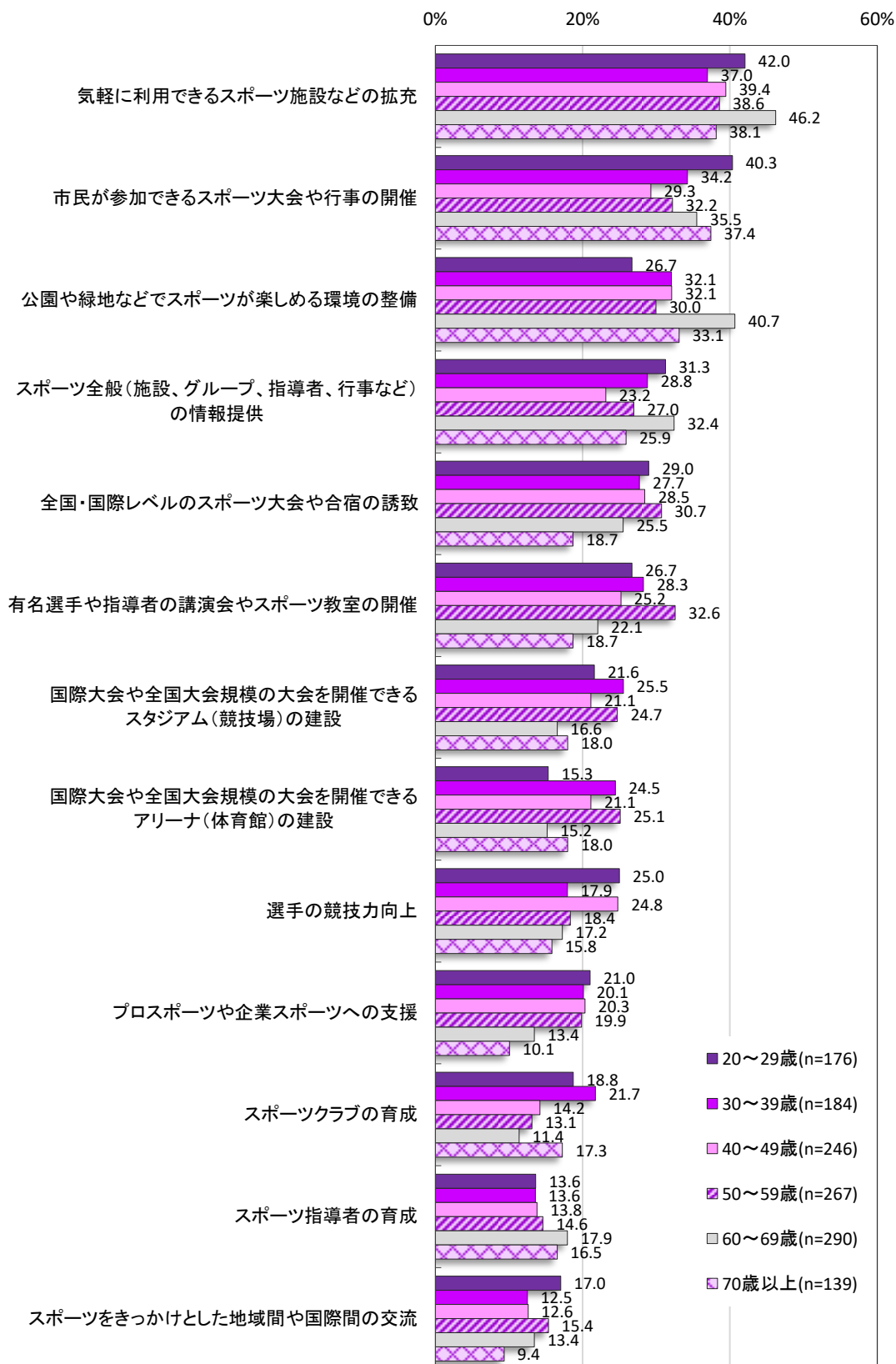
年齢別にみると、すべての年代で「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」の割合が最も高くなっている。



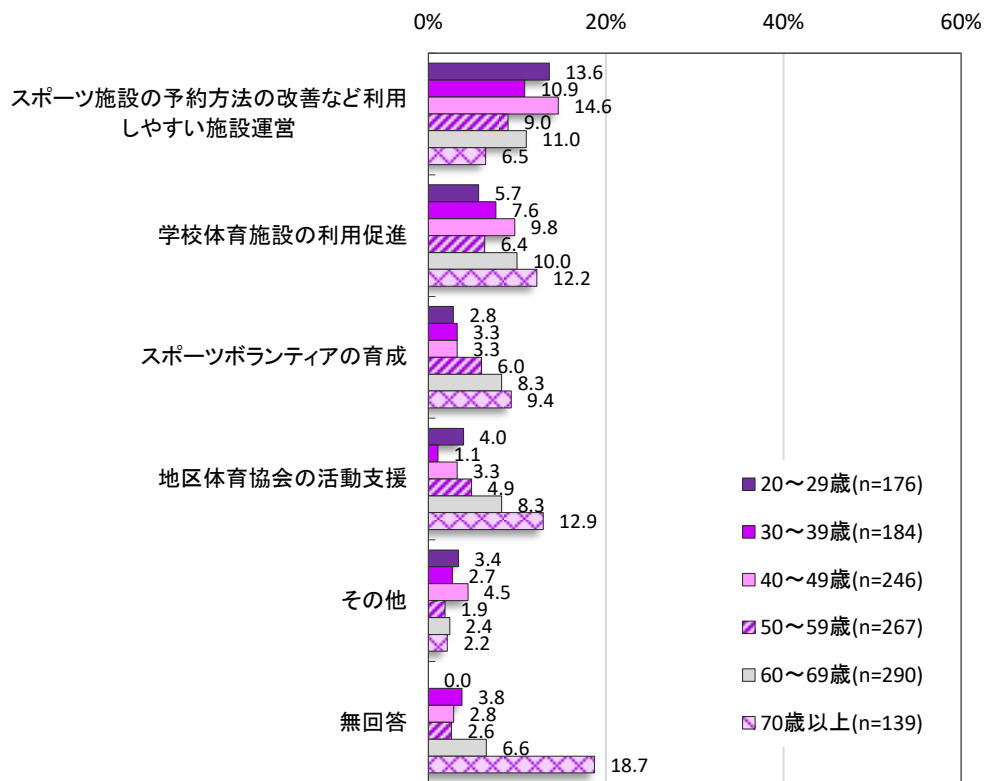
⇒ グラフは次頁に続きます



⇒ グラフは次頁に続きます



⇒ グラフは次頁に続きます



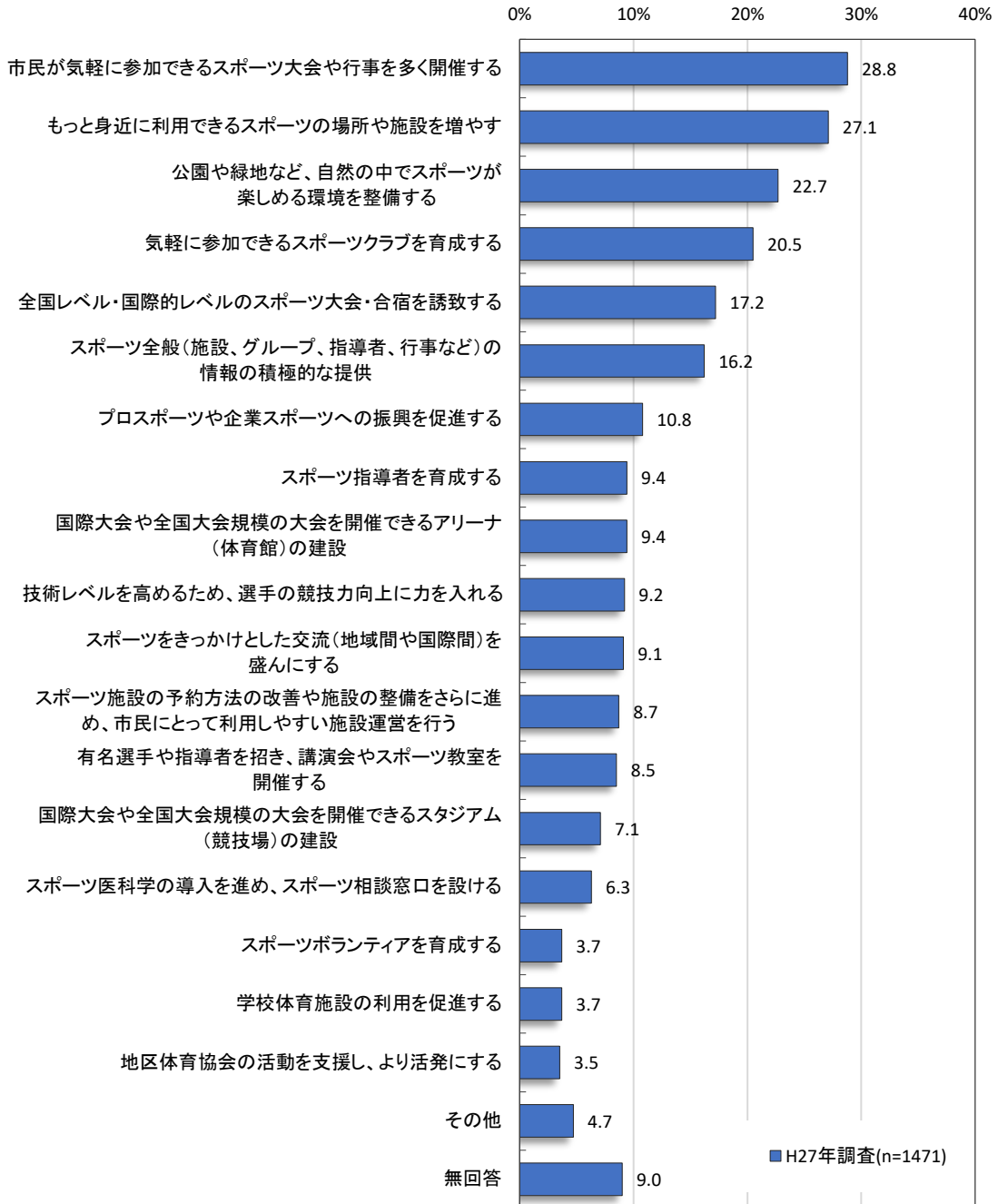
----- 前回調査との比較を行わない理由 -----  
 H27年調査と今回調査では、設問文章、回答個数、選択肢内容が異なるため。  
 -----

⇒ 参考として、前回調査結果を次頁に掲載しています



《参考 前回調査結果》

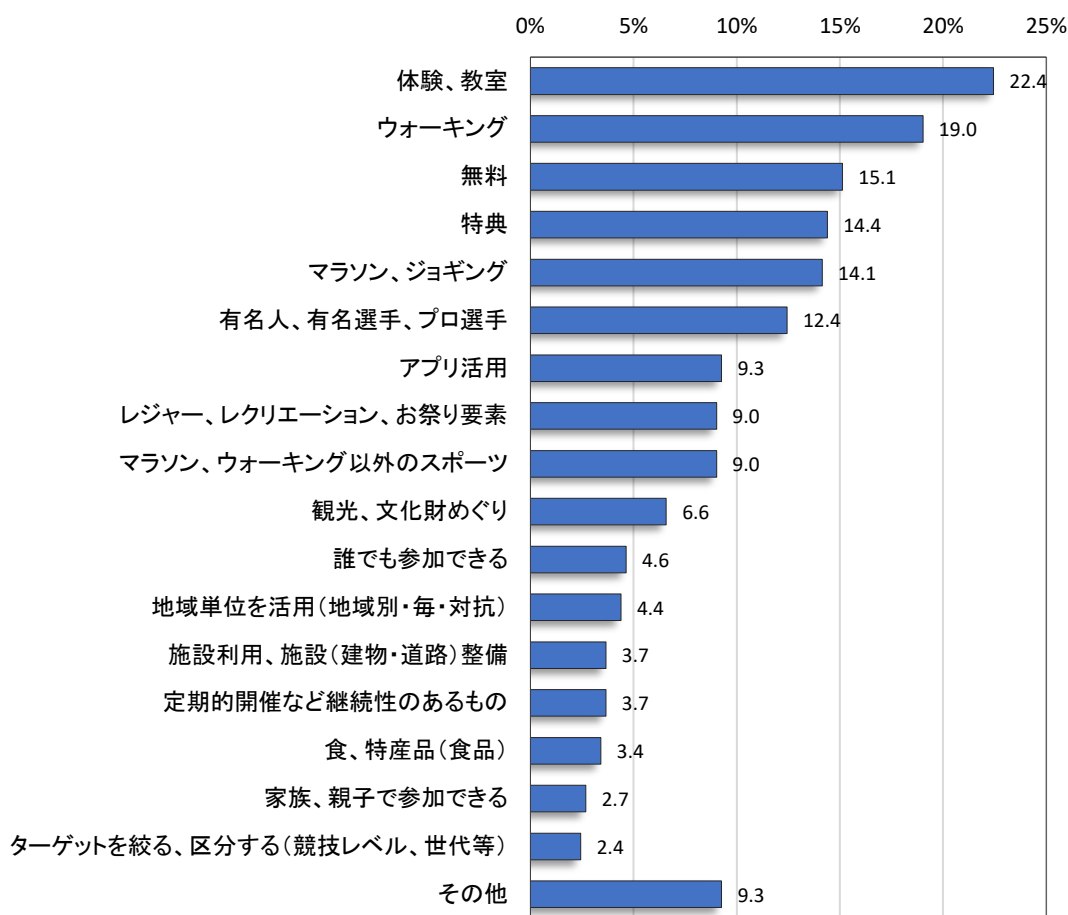
今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の増加や地域のにぎわい創出を図るためには何が大切だと思いますか。（主なもの3つまで）



問 46 多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして、具体的にどのようなイベントや大会などがあればいいと思いますか？(自由記述)

多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして、具体的にどのようなイベントや大会などがあればいいかについて、410人の回答者から意見が寄せられた。

自由記述方式で寄せられた回答を整理すると、各回答に含まれるキーワードで最も多かったのは「体験、教室」で22.4%となっており、次いで「ウォーキング」が19.0%で続き、以下は「無料」(15.1%)、「特典」(14.4%)などの順となっている。また、多くの回答において、複数のキーワードを組み合わせたイベントや大会のアイデアが寄せられていた。



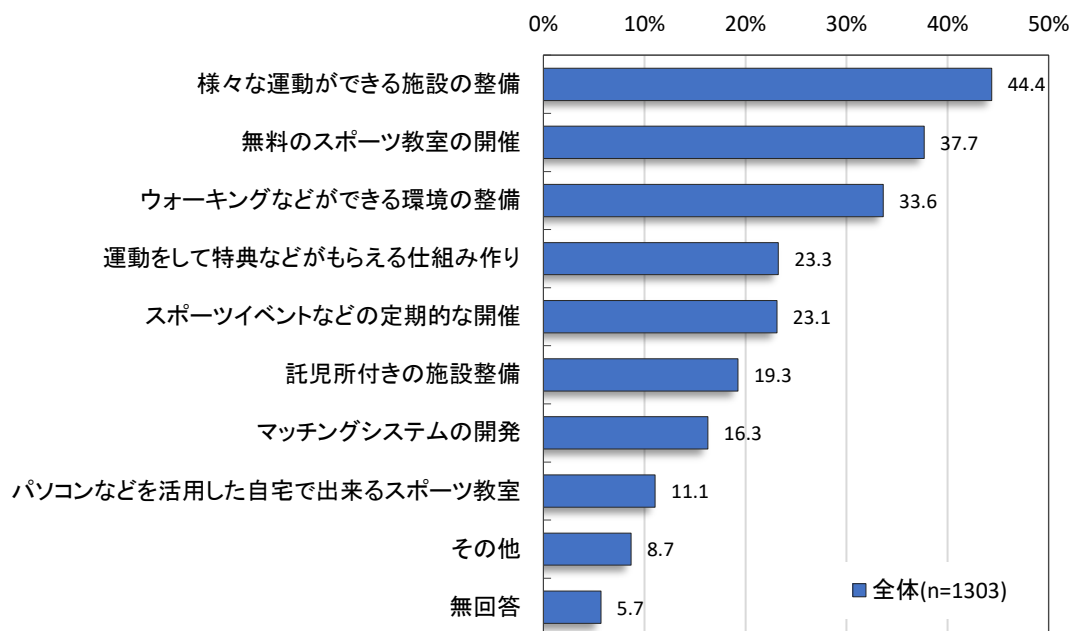
(回答人数 410人)

⑨ 問 47 近年、全国的に 20 代～50 代の「働き盛り世代」のスポーツ実施率が低い傾向にあります。  
 あなたは、「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるためには何が必要だと思いますか？（主なものを3つまでに○）

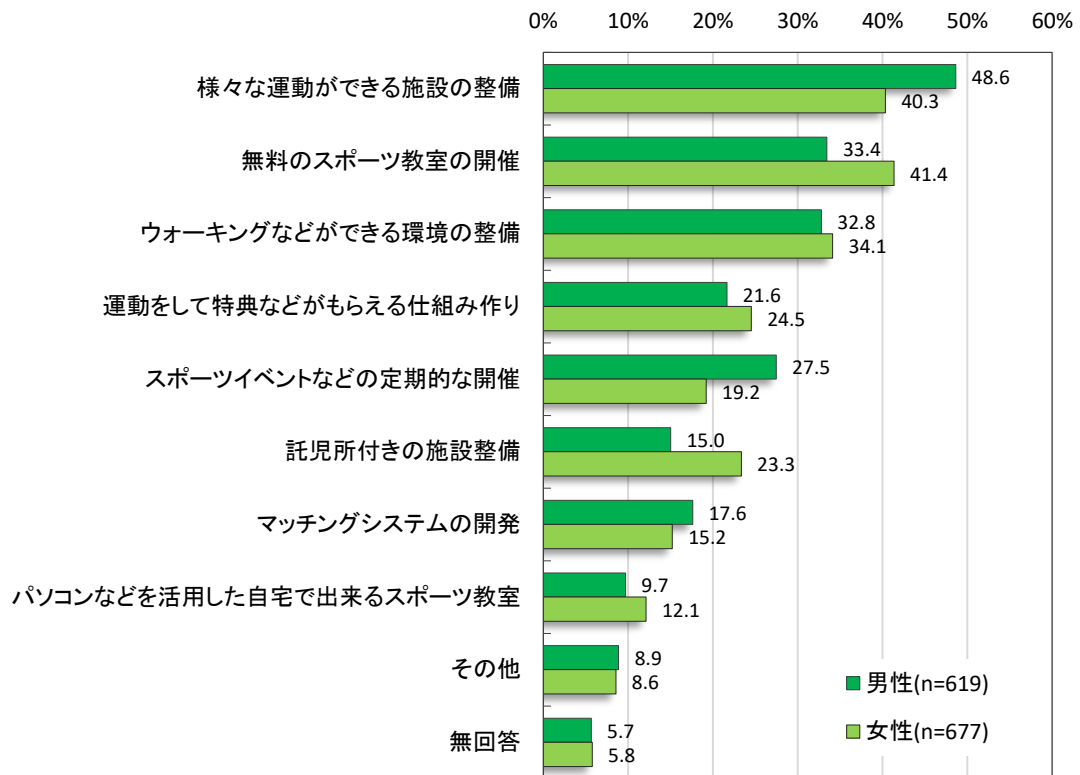
「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるためには何が必要だと思うかについては、「様々な運動ができる施設の整備」の割合が 44.4%で最も高く、次いで「無料のスポーツ教室の開催」(37.7%) が続き、以下は「ウォーキングなどができる環境の整備」(33.6%)、「運動をして特典などがもらえる仕組み作り」(23.3%) などの順となった。

男女別にみると、男性は「様々な運動ができる施設の整備」(48.6%) の割合が最も高くなった一方、女性では「無料のスポーツ教室の開催」(41.4%) の割合が最も高くなっている。

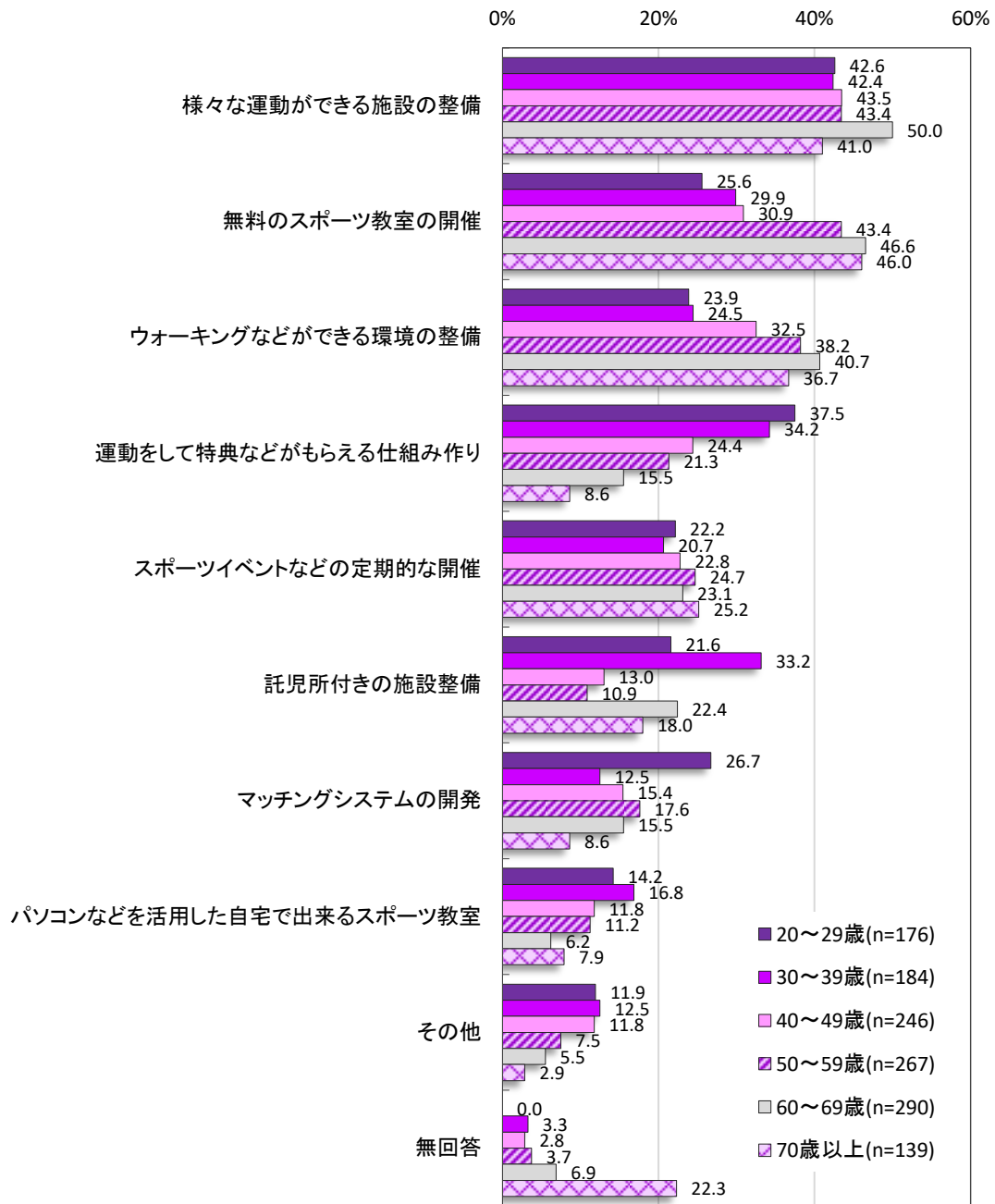
年齢別にみると、「様々な運動ができる施設の整備」の割合は 60～69 歳で 5 割となり最も高い割合となるなど、すべての年代で 4 割以上の高い割合となっている。「無料のスポーツ教室の開催」の割合は、50～59 歳以降の年代で 4 割台と高い割合となっている。



⇒ グラフは次頁に続きます



⇒ グラフは次頁に続きます



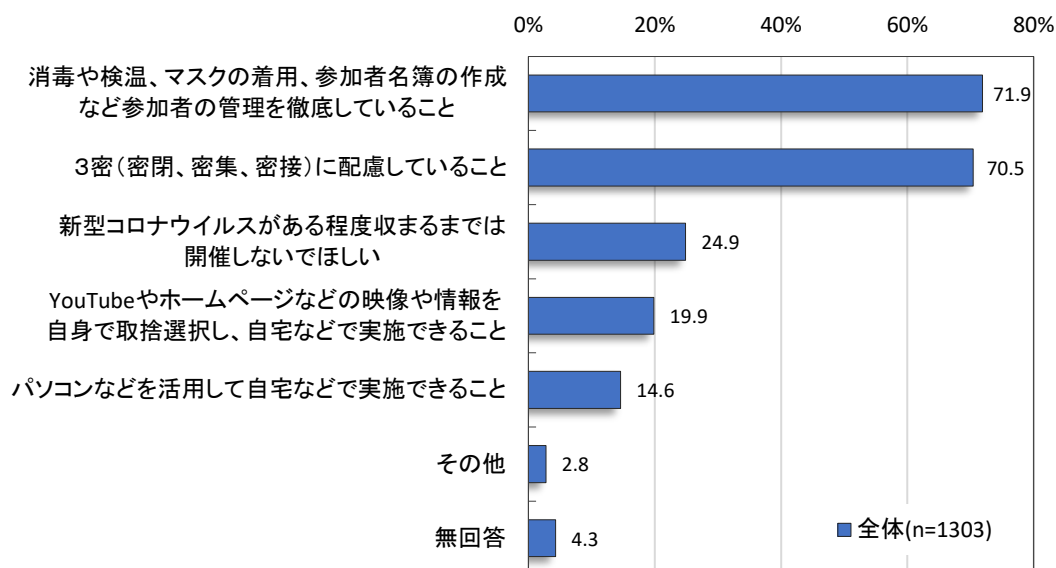
⑨ 問 48 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今後のスポーツの実施方法について伺います。

あなたは、これからのスポーツイベントや大会、教室などを開催するために何が必要だと思いますか？(主なもの3つまでに○)

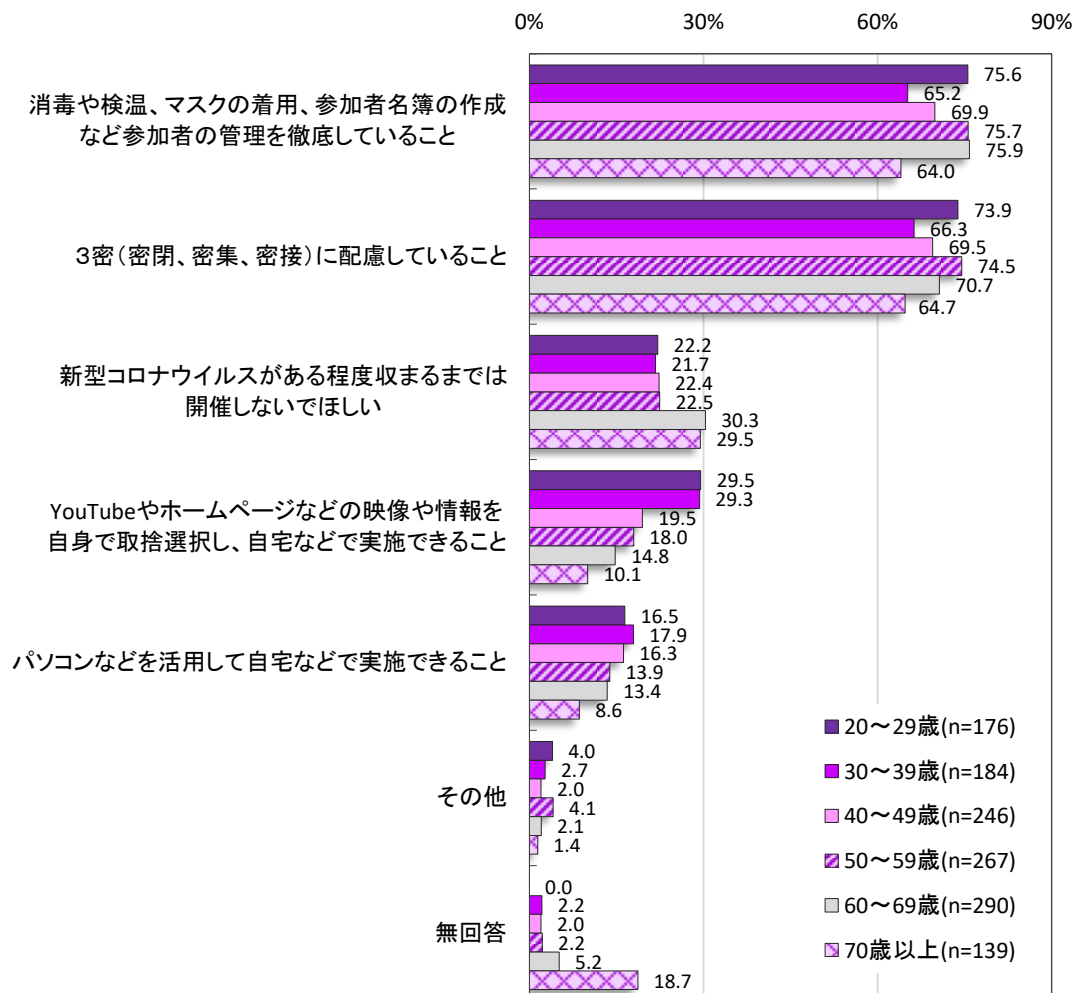
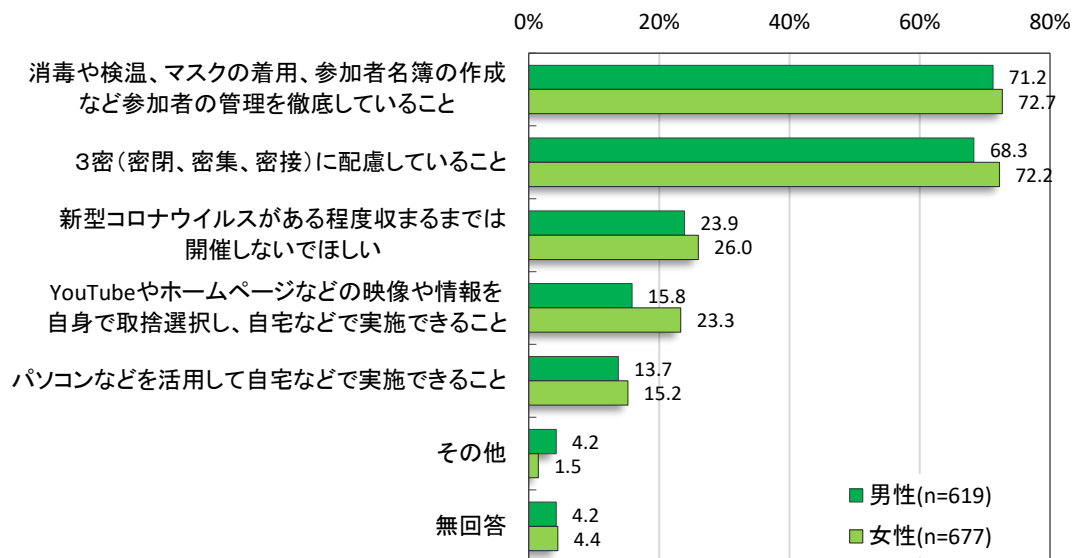
これからのスポーツイベントや大会、教室などを開催するために何が必要だと思うかについては、「消毒や検温、マスクの着用、参加者名簿の作成など参加者の管理を徹底していること」(71.9%)と「3密に配慮していること」(70.5%)がともに7割台となり、突出した高い割合となっている。以下は、「新型コロナウイルスがある程度収まるまでは開催しないしてほしい」(24.9%)、「YouTube やホームページなどの映像や情報を自身で取捨選択し、自宅などで実施できること」(19.9%)などの順となっている。

男女別にみると、いずれも「消毒や検温、マスクの着用、参加者名簿の作成など参加者の管理を徹底していること」(男性 71.2%、女性 72.7%)の割合が7割台で最も高く、これに「3密に配慮していること」(男性 68.3%、女性 72.2%)が続いている。

年齢別にみると、すべての年代で「消毒や検温、マスクの着用、参加者名簿の作成など参加者の管理を徹底していること」と「3密に配慮していること」が6割台から7割台で高い割合となっている。



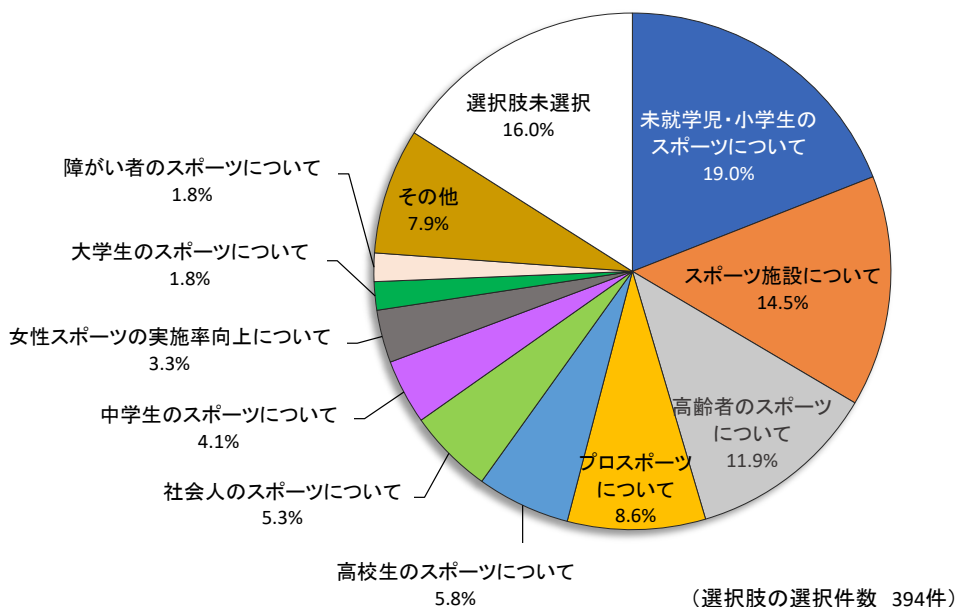
⇒ グラフは次頁に続きます



問 49 秋田市におけるスポーツ振興に関するご意見、ご要望などがございましたら、番号を選択の上、お書きください。(複数回答可。自由記述)

秋田市におけるスポーツ振興に関する意見、要望として、333 人の回答者から 394 件の意見が寄せられた。

最も多かったのは「未就学児・小学生のスポーツについて」で全体の 19.0%となっており、次いで「スポーツ施設について」(14.5%)が続き、以下は「高齢者のスポーツについて」(11.9%)、「プロスポーツについて」(8.6%)などの順となっている。



項目	件数	割合 (%)
未就学児・小学生のスポーツについて	75	19.0
スポーツ施設について	57	14.5
高齢者のスポーツについて	47	11.9
プロスポーツについて	34	8.6
高校生のスポーツについて	23	5.8
社会人のスポーツについて	21	5.3
中学生のスポーツについて	16	4.1
女性スポーツの実施率向上について	13	3.3
大学生のスポーツについて	7	1.8
障がい者のスポーツについて	7	1.8
その他	31	7.9
(選択肢未選択)	63	16.0
選択肢の選択件数 合計	394	



## ○ 内容別集計

寄せられた意見を内容ごとに細分化して集計した結果は、以下の通りである。

意見分類	件数	意見分類	件数
<b>未就学児・小学生のスポーツについて</b>	<b>79</b>	<b>高校生のスポーツについて</b>	<b>24</b>
指導者・指導方針について	21	指導者・指導方針について	6
スポーツイベントについて	13	スポーツを取り巻く環境について	4
教室等の場づくりについて	7	選手（チーム）の育成について	4
施設や設備について	7	スポーツイベントについて	1
保護者の負担について	5	活動時間について	1
情報発信について	4	施設や設備について	1
支援策・振興策について	3	支援策・振興策について	1
スポーツを取り巻く環境について	2	その他	6
活動時間について	1	<b>中学生のスポーツについて</b>	<b>16</b>
選手（チーム）の育成について	1	指導者・指導方針について	6
その他	15	スポーツを取り巻く環境について	3
<b>スポーツ施設について</b>	<b>61</b>	支援策・振興策について	2
施設整備について	23	保護者の負担について	1
既存施設・設備について	9	選手（チーム）の育成について	1
利用予約について	6	その他	3
プロスポーツ施設について	5	<b>女性スポーツの実施率向上について</b>	<b>13</b>
利用料金について	4	教室等の場づくりについて	6
情報発信について	4	施設や設備について	3
施設管理について	3	その他	4
その他	7	<b>大学生のスポーツについて</b>	<b>7</b>
<b>高齢者のスポーツについて</b>	<b>48</b>	施設や設備について	2
施設や設備について	16	スポーツイベントについて	1
教室等の場づくりについて	8	スポーツを取り巻く環境について	1
情報発信について	5	選手（チーム）の育成について	1
スポーツイベントについて	4	その他	2
支援策・振興策について	3	<b>障がい者のスポーツについて</b>	<b>7</b>
スポーツを取り巻く環境について	1	スポーツを取り巻く環境について	3
指導者・指導方針について	1	教室等の場づくりについて	1
その他	10	その他	3
<b>プロスポーツについて</b>	<b>36</b>	<b>その他</b>	<b>33</b>
スポーツイベントについて	12	情報発信について	5
施設や設備について	9	施設や設備について	3
支援策・振興策について	5	支援策・振興策について	3
情報発信について	2	スポーツイベントについて	2
その他	8	指導者・指導方針について	2
<b>社会人のスポーツについて</b>	<b>25</b>	スポーツを取り巻く環境について	1
スポーツイベントについて	10	教室等の場づくりについて	1
施設や設備について	6	選手（チーム）の育成について	1
教室等の場づくりについて	2	その他	15
情報発信について	2	<b>(選択肢未選択)</b>	<b>63</b>
支援策・振興策について	1	<b>意見総数</b>	<b>412</b>
その他	4		

※ 寄せられた意見が複数の内容（小分類）にかかわる場合は各小分類で件数をカウントしているため、前ページにおける選択肢の選択件数（394件）と、内容別集計における意見総数（412件）は一致しない。

## ○ 寄せられた意見からうかがえる課題（アンケートの設問順）

### 【未就学児・小学生のスポーツについて】

指導力不足や人材不足の観点から指導者の育成を求める意見が多くみられた一方、指導者の負担が大きいことを懸念する意見もみられた。また、子どもがスポーツ少年団に加入している場合に送迎や費用面などで保護者の負担が大きいことや、そうした状況が要因となって子どもが希望するスポーツ少年団に入れない場合があるとの指摘もあった。

### 【中学生のスポーツについて】

指導者の養成や外部コーチの活用など、指導力の強化を求める意見が多くみられた。

### 【高校生のスポーツについて】

中学校まで取り組んでいた部活動が高校にはないなど、スポーツの継続が出来ない場合があるとの意見がみられた。また、よりレベルの高い指導を受けるため、指導者の養成や外部コーチの活用などが必要との意見もあった。

【大学生のスポーツについて】…寄せられた意見からは、課題はみられなかった。

### 【社会人のスポーツについて】

気軽に参加・体験できるようなイベントや一般参加可能な大会の実施など、社会人が参加したくなるようなイベントの開催を求める意見が多くみられた。

### 【高齢者のスポーツについて】

屋内・屋外ともに、施設や設備の整備・改善を望む声が多くみられた。また、年齢や体の状況にあった軽運動や体操をする機会を望む意見がみられた。

### 【障がい者のスポーツについて】

参加しやすいような場の創出や、障がい者のスポーツを支援するためのボランティアの確保が必要との意見がみられた。

### 【プロスポーツについて】

スタジアムやアリーナの建設を求める意見や、プロスポーツをもっと盛り上げてほしいといった意見が多く見られた。

### 【女性スポーツの実施率向上について】

夜間でもジムなどの施設や屋外コースを安心して利用できるような配慮を求める意見がみられたほか、子育て中の女性が運動に取り組めるよう、託児付きや親子参加可能な場づくりを求める意見がみられた。

### 【スポーツ施設について】

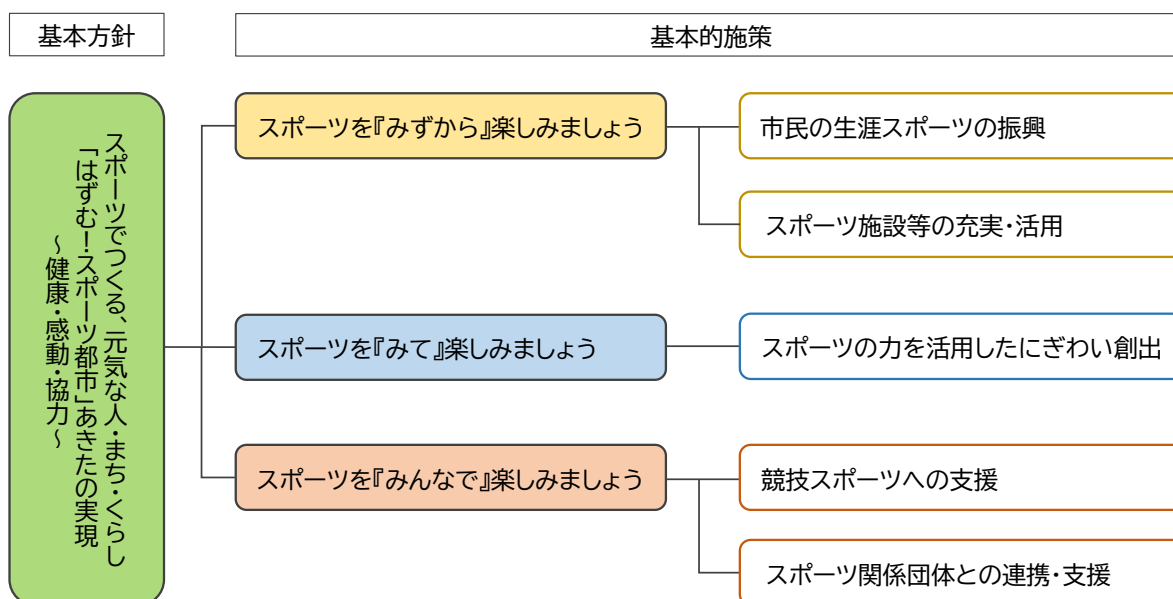
サッカー、フットサル、野球ができる施設の整備や、ウォーキングやランニング、サイクリングコースの整備を求める意見が多くみられ、現状における不足感がうかがえた。また、冬季間にも運動やスポーツができるよう配慮した施設を望む意見もあった。施設の利用予約に関しては、少数意見ながら、予約がとりにくい状況の改善を求める意見があった。

## 4 これまでの取組と課題

秋田市では、第3次秋田市スポーツ振興マスタープラン（計画期間：平成29年度～令和3年度。以下、「マスタープラン」と記載する。）に基づき、スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進に取り組んでいる。

ここでは、マスタープランの基本的施策にそってアンケート調査結果を整理し、現在の状況や成果を確認し、課題について整理する。

### 【マスタープランの施策体系】



#### (1) スポーツを『みずから』楽しむことができるか

##### アンケート調査結果より

運動やスポーツをすることが“好き”と答えた人の割合は70.5%と、前回調査（71.3%）から0.8ポイント低下したものの引き続き7割台と高く【問9】、また、この1年間に何らかの運動やスポーツをやった人の割合が58.9%と前回調査（56.6%）から2.3ポイントと幾分増加して6割近くとなっている【問11】ことから、運動やスポーツを好む人や実践している人が多い状況が維持されていることが窺える。

一方、この1年間に運動やスポーツをやっていない人（40.9%）の調査結果を見ると、運動やスポーツをやらなかった理由では、「機会がないから」（45.6%）と「時間がないから」（33.8%）の割合が「運動やスポーツが苦手だから」（20.6%）の割合を大きく上回って高くなっている【問17】。また、条件などが整えば今後運動やスポーツをやりたい人は51.0%と過半数を占め、この割合は前回調査（41.8%）から9.2ポイント上昇している【問18】。

また、施設に関しては、「屋内多目的運動場」や「トレーニング室」の不足感が高い【問24】ほか、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」や「交通の利

便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」【問 25】へのニーズが高くなっている。

#### 今後に向けて

スポーツを「みずから」楽しむ人を増やすためには、運動やスポーツをしていない人のうち、条件などが整えば今後運動やスポーツをやってみたいと考えている人が実際の行動に移せるよう、運動やスポーツをやらなかった理由の上位となっている「機会がない」や「時間がない」の改善に向けた取り組みや配慮が必要である。具体的には運動したいと考える人の多い時間帯に気軽に短時間で参加できるような機会を創出するとともにその周知に努めるなどの方策が考えられる。

また、現在スポーツをしている人の満足感を高めるうえでは、施設等に関するニーズを反映した施設等環境整備や施設・設備の改善が有効であると考えられる。

## (2) スポーツを『みて』楽しむことができているか

#### アンケート調査結果より

運動やスポーツを観ることが“好き”と答えた人の割合は80.3%と、前回調査(84.0%)から3.7ポイント低下したものの引き続き8割台と高い【問 10】。一方、この1年間にトップスポーツの試合を会場で観戦したことがある人の割合は13.4%と前回調査(11.7%)に比べて1.7ポイント上昇したものの引き続き1割台と低く【問 36】、運動やスポーツを観ることを好む人は多いながらも、会場に足を運んでトップスポーツを観る人は少ないといえる。

また、この1年間にトップスポーツクラブの試合を会場に行き観戦したことがない人(84.0%)の観戦しなかった理由をみると、「テレビなどで観戦するから」(30.3%)が3割台と、会場に足を運ばずとも別の方法でスポーツ観戦を楽しんでいるという意見も一定数みられたものの、「仕事や家事、学業が忙しいから」(37.5%)、「新型コロナウイルスなどに感染する可能性があるから」(28.7%)、「好きなチームや選手がいないから」(22.3%)といった理由についても回答割合が高くなっている【問 38】。

#### 今後に向けて

スポーツを「みて」楽しむ人を増やすためには、トップスポーツクラブの試合を会場に行き観戦しなかった理由の上位となっている「新型コロナウイルスなどに感染する可能性があるから」といった不安の解消や、市民にトップスポーツのチームや選手の魅力を知ってもらう取り組みを継続することが必要である。

また、テレビなどでの観戦を楽しんでいる人もいることから、チーム・選手とのつながりや会場との一体感を感じられるような仕掛けづくりによりテレビなどでの観戦者の満足度を高めたり、あるいは、会場に足を運んでもらえるよう会場で観戦することの魅力を発信することも有効であると考えられる。

### (3) スポーツを『みんなで』楽しむことができているか

#### アンケート調査結果より

過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがある人は4.5%と1割未満の極めて低い割合にとどまっております、この割合は前回調査(6.0%)から1.5ポイント低下している【問32】。参加したボランティアの内容では、「スポーツの審判・役員」(34.5%)が第1位、「スポーツの指導・コーチ」(32.8%)が第3位と、高い専門性を求められるものの割合が高くなっている。また、ボランティア活動を行ったことがない人のうち機会があれば行きたいと思っている人の割合は12.6%と前回調査(13.6%)から1.0ポイント低下している【問34】。

地域におけるスポーツ振興の推進を担うスポーツ推進委員については、配置していることを知っていた人の割合は10.9%と1割台にとどまり、また、この割合は前回調査(16.7%)から6.7ポイント低下している【問42】ことから、認知度は低いといえる。一方で、スポーツ推進委員にどのような活動をしてほしいかについては「教室・大会・イベントなどの催しについて」(39.8%)や「情報発信について」(38.8%)に関するニーズが高くなっている【問34】。

#### 今後に向けて

スポーツボランティアに携わる人はごく一部に限られており、参加したボランティアの種類をみると高い専門性が求められるボランティアへの参加者が多いことから、今後参加者が大幅に増加することは難しいと考えられる。一方で、スポーツボランティアには「スポーツを支える楽しみ」という一面もあることから、スポーツやスポーツボランティアの経験がなくても気軽に参加できるようなボランティアのメニューや機会があれば、新たな参加者も見込めるものと考えられる。

スポーツ推進委員については、認知度が低い一方で地域でのスポーツ振興の推進における役割には市民の期待も高いといえる。今後認知度を高める上では、ニーズの高い「教室・大会・イベントなどの催しの開催」や「情報発信」といった場面での活躍が有効であると考えられる。

# 資 料

# 秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査票

※本調査の設問に「この1年間」という表記があります。  
「この1年間」は、平成31年4月から現在までの期間とします。

## 1 あなたご自身について

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）（当てはまる番号1つに○）

- |          |          |         |        |         |         |
|----------|----------|---------|--------|---------|---------|
| 1. 保戸野   | 2. 明德    | 3. 築山   | 4. 旭北  | 5. 中通   | 6. 旭南   |
| 7. 牛島    | 8. 川尻    | 9. 旭川   | 10. 土崎 | 11. 港北  | 12. 土崎南 |
| 13. 高清水  | 14. 広面   | 15. 日新  | 16. 勝平 | 17. 太平  | 18. 外旭川 |
| 19. 飯島   | 20. 下新城  | 21. 上新城 | 22. 浜田 | 23. 豊岩  | 24. 仁井田 |
| 25. 四ツ小屋 | 26. 上北手  | 27. 下北手 | 28. 下浜 | 29. 金足西 | 30. 八橋  |
| 31. 東    | 32. 泉    | 33. 大住  | 34. 桜  | 35. 飯島南 | 36. 寺内  |
| 37. 御所野  | 38. 岩見三内 | 39. 河辺  | 40. 戸島 | 41. 雄和  |         |

問2 あなたの年齢（令和2年4月1日現在の年齢をお聞かせください。）（当てはまる番号1つに○）

- |           |            |           |           |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳  | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70歳以上 |           |

問3 あなたの性別（当てはまる番号1つに○）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 あなたの職業（当てはまる番号1つに○）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 自営業       | 2. 会社員       |
| 3. 農林水産業     | 4. パート・アルバイト |
| 5. 公務員       | 6. 学生        |
| 7. 専業主婦・専業主夫 | 8. 無職（7を除く）  |
| 9. その他（      | ）            |

## 2 健康について

問5 あなたは、ご自身の健康についてどのようにお考えですか？（当てはまる番号1つに○）

1. 健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど感じない
(1) 肉体的な疲労	1	2	3	4
(2) 精神的な疲労・ストレス	1	2	3	4
(3) 体力のおとろえ	1	2	3	4
(4) 運動不足	1	2	3	4
(5) 体重や体脂肪率の増加	1	2	3	4

問7 あなたは、健康を保つために心がけていることはありますか？（主なもの3つまでに○）

1. 運動やスポーツをする
2. 睡眠・休養を十分とる
3. 規則正しい生活をする
4. 定期的に健康診断を受ける
5. 栄養や食事に気をつける
6. たばこ・酒などのしこう品をひかえる
7. 趣味や自己啓発活動など余暇を充実させる
8. 特に何もやっていない
9. その他（ ）

問8 あなたの休日における1日の余暇時間（自由に使える時間）は通常どのくらいありますか？（当てはまる番号1つに○）

1. 8時間以上
2. 5時間以上8時間未満
3. 3時間以上5時間未満
4. 3時間未満



### 3 運動やスポーツについて

問9 あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか？（当てはまる番号1つに○）

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 好き         | 2. どちらかといえば好き |
| 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い         |

問10 あなたは、運動やスポーツを観ることが好きですか？（テレビやビデオなどの鑑賞を含む。）  
（当てはまる番号1つに○）

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 好き         | 2. どちらかといえば好き |
| 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い         |

問11 あなたは、この1年間何らかの運動やスポーツをやりましたか？  
（当てはまる番号1つに○） ※15分間以上の運動（散歩やラジオ体操などを含む。）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. はい ⇒ <u>問12へ</u> | 2. いいえ ⇒ <u>問17へ</u> |
|---------------------|----------------------|

<問12から問16までは、問11で「1 はい」に○をつけた方に伺います。>

問12 あなたは、どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをやっていますか？  
（主なもの3つまでに○）

- |              |               |                                 |
|--------------|---------------|---------------------------------|
| 1. 楽しい、好き    | 2. 運動不足の解消    | 3. 健康や体力の保持、増進                  |
| 4. ストレス解消    | 5. 美容、肥満予防、減量 | 6. 人格形成、精神鍛錬                    |
| 7. 友人、仲間との交流 | 8. 家族とのふれあい   | 9. 町内会や職場のつきあい                  |
| 10. 試合、競技会参加 | 11. 競技技術の向上   | 12. その他（                      ） |

問 13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについて伺います。

- (1) 実施した種目について、「スポーツ一覧」から選んで①種目番号・種目名に記入してください。  
 (主なもの3つまで)
- (2) どのくらい実施したかについて、②おおよその実施回数に1つ〇をつけてください。
- (3) どこで実施したかについて、③主な実施場所に1つ〇をつけてください。

①種目番号・種目名		② おおよその実施回数						③主な実施場所						
種目番号	種目名	週に5日以上	週に3日以上	週に1〜2日程度	月に1〜2日程度	年に5〜6日程度	年に1〜2日程度	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	学校体育施設	職場体育施設	公園や道路など	その他	
														1
例	6	ジョギング	1	2	③	4	5	6	1	②	3	4	5	6
	19	水泳	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

「スポーツ一覧」

1 軽い体操（ラジオ体操など）	2 有酸素運動（エアロビなど）	3 器具を使ったトレーニング
4 ダンス（社交・フォーク）	5 散歩、ウォーキング	6 ランニング・ジョギング
7トラック&フィールド陸上競技	8 バレーボール	9 バスケットボール
10 バドミントン	11 ハンドボール	12 卓球
13 テニス	14 ソフトテニス	15 ソフトボール
16 野球	17 ラグビー	18 サッカー（フットサル含む）
19 水泳	20 体操競技	21 ボクシング
22 レスリング	23 柔道	24 剣道
25 弓道	26 空手	27 ゴルフ
28 ボウリング	29 ゲートボール	30 アーチェリー
31 スキー・スノーボード	32 アイススケート	33 釣り
34 カヌー・カヤック	35 乗馬	36 登山
37 ミニテニス	38 バウンドテニス	39 ファミリーバドミントン
40 ユニカール	41 グラウンドゴルフ	42 ターゲットバードゴルフ
43 ビームライフル	44 スポーツ吹矢	45 フロアカーリング
46 BMX	47 スラックライン	48 スケートボード
49 ボッチャ	50 その他（ ）	

問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよそどの時間帯にやっていますか？

(1) 平日、(2) 休日のそれぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 平日（勤務や学業のある日）	(2) 休日（勤務や学業のない日）
1. 早朝（5:00～9:00）	1. 早朝（5:00～9:00）
2. 午前（9:00～12:00）	2. 午前（9:00～12:00）
3. 昼間（12:00～15:00）	3. 昼間（12:00～15:00）
4. 夕方（15:00～18:00）	4. 夕方（15:00～18:00）
5. 夜間（18:00～21:00）	5. 夜間（18:00～21:00）
6. 深夜（21:00以降）	6. 深夜（21:00以降）
7. 平日に運動やスポーツはしていない	7. 休日に運動やスポーツはしていない

問 15 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、スポーツの実施状況や頻度について変化はありましたか？（当てはまる番号1つに○）

1. あった ⇒ [ どんな変化がありましたか？（自由記述） ]
2. なかった

問 16 あなたは、今後の運動やスポーツについてどの程度やりたいですか？

（当てはまる番号1つに○）

1. 今以上にやりたい                      2. 今の程度でよい                      3. 今より少なくしたい

⇒ 問 16 をお答えになった方は問 22 へ

<問 17 からは、問 11 で「2 いいえ」に○をつけた方に伺います。>

問 17 この1年間運動やスポーツをやらなかった理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. おもしろくない、嫌いだから       | 2. 運動やスポーツが苦手だから                |
| 3. 疲れるから               | 4. 機会がないから                      |
| 5. 身近な場所に施設がないから       | 6. 施設の利用手続きが面倒だから               |
| 7. 使いたい時間に施設が空いていないから  | 8. 時間がないから                      |
| 9. お金がかかるから            | 10. 仲間がいないから                    |
| 11. 指導者がいないから          | 12. 気軽に参加できる行事がないから             |
| 13. 体が弱い、病気だから         | 14. 歳をとっているから                   |
| 15. 他に趣味や自己啓発活動をしているから | 16. その他（                      ） |

問 18 あなたは、条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたいですか？

（当てはまる番号1つに○）

1. やってみたい ⇒ 問 19 へ
2. やってみたいくない                      ] ⇒ 問 22 へ
3. わからない

<問 19 から問 21 は、問 18 で「1 やってみたい」に○をつけた方に伺います。>

問 19 今後やってみたい運動やスポーツは、主に誰とやりたいですか？（主なもの2つまでに○）

1. 一人で                      2. 家族と                      3. 友人、仲間と  
 4. 職場の人と                  5. クラブや同好会の人と      6. 近所や町内会の人と  
 7. その他（                      ）

問 20 今後やってみたい運動やスポーツは、おおよその時間帯にやりたいですか？

(1) 平日、(2) 休日のそれぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 平日（勤務や学業のある日）	(2) 休日（勤務や学業のない日）
1. 早朝（5:00～9:00）	1. 早朝（5:00～9:00）
2. 午前（9:00～12:00）	2. 午前（9:00～12:00）
3. 昼間（12:00～15:00）	3. 昼間（12:00～15:00）
4. 夕方（15:00～18:00）	4. 夕方（15:00～18:00）
5. 夜間（18:00～21:00）	5. 夜間（18:00～21:00）
6. 深夜（21:00以降）	6. 深夜（21:00以降）
7. 平日に運動やスポーツはしたくない	7. 休日に運動やスポーツはしたくない

問 21 今後やってみたい運動やスポーツについて伺います。

- (1) 今後やってみたい種目について、4 ページの「スポーツ一覧」から選んで①種目番号・種目名に記入してください。（主なもの3つまで）  
 (2) どのくらい実施したいかについて、②おおよその実施回数に1つ○をつけてください。  
 (3) どんな場所で実施したいかについて、③主な実施場所に1つ○をつけてください。

①種目番号・種目名		②おおよその実施回数						③主な実施場所						
種目番号	種目名	週に5日以上	週に3日以上	週に1～2日程度	月に1～2日程度	年に5～6日程度	年に1～2日程度	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	学校体育施設	職場体育施設	公園や道路など	その他	
														1
例	6	ジョギング	1	2	③	4	5	6	1	②	3	4	5	6
	19	水泳	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6







## 8 トップスポーツクラブについて

現在、本市では、トップスポーツクラブ\*であるラグビーのトップイーストリーグディビジョン1に在籍している秋田ノーザンブレッツR.F.C、サッカーのJ3に在籍しているブラウブリッツ秋田、バスケットボールのB1リーグに在籍している秋田ノーザンハピネッツなどを支援しています。

\*本調査で扱うトップスポーツクラブとは、Jリーグ（日本プロサッカーリーグ）やプロ野球（日本野球機構主催リーグ）などに属するプロスポーツチーム（クラブ）、「実業団」と呼ばれる企業組織に所属するスポーツクラブ、競技力の高い社会人クラブなどを想定しています。

問36 あなたは、この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがありますか？  
（当てはまる番号1つに○）

1. ある ⇒ 問37へ                      2. ない ⇒ 問38へ

<問36で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問37 あなたはこの1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしましたか？  
（観戦した回数を記入してください。）※観戦していない場合は0と記入。

1. 秋田ノーザンブレッツR.F.C（ラグビー）                      [            回]  
2. ブラウブリッツ秋田（サッカー）                                      [            回]  
3. 秋田ノーザンハピネッツ（バスケットボール）                      [            回]  
4. その他（最も観戦数の多いものを1つ：                                      ) [            回]

⇒ 問37をお答えになった方は問39へ

<問36で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

問38 観戦しなかった理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. スポーツに興味がないから                                      2. 入場料が高くお金がかかるから  
3. 会場が遠く移動に時間がかかるから                                      4. 好きなチームや選手がないから  
5. 仕事や家事、学業が忙しいから                                      6. テレビなどで観戦するから  
7. 新型コロナウイルスなどに感染する可能性があるから  
8. その他（                                      )

## 9 障がい者スポーツについて

問39 あなたは、障がい者スポーツにどのような競技・種目があるか知っていますか？  
（当てはまる番号1つに○）

1. だいたい知っている                      } ⇒ 問41へ  
2. 少し知っている                                      }  
3. 知らない                      ⇒ 問40へ

<問39で「3 知らない」に○を付けた方に伺います。>

問40 知らない理由は何ですか？（主なもの2つまでに○）

1. 興味がないから                                      2. 面白くなさそうだから  
3. 知っている選手がないから                                      4. 情報発信が少ないから（テレビや広報誌など）  
5. その他（                                      )









秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査 報告書

---

発行日 令和3年3月

発行・企画 秋田市観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

〒010-8560

秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-888-5611 FAX 018-888-5612

編集 株式会社 フィデア情報総研

---